

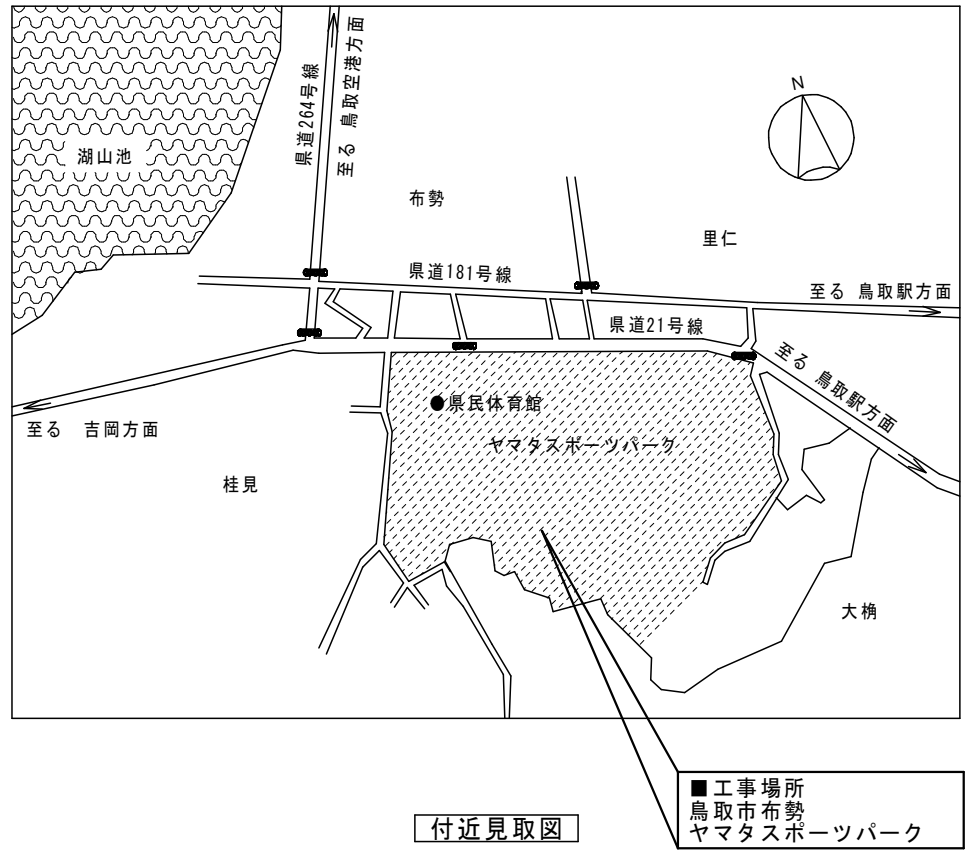
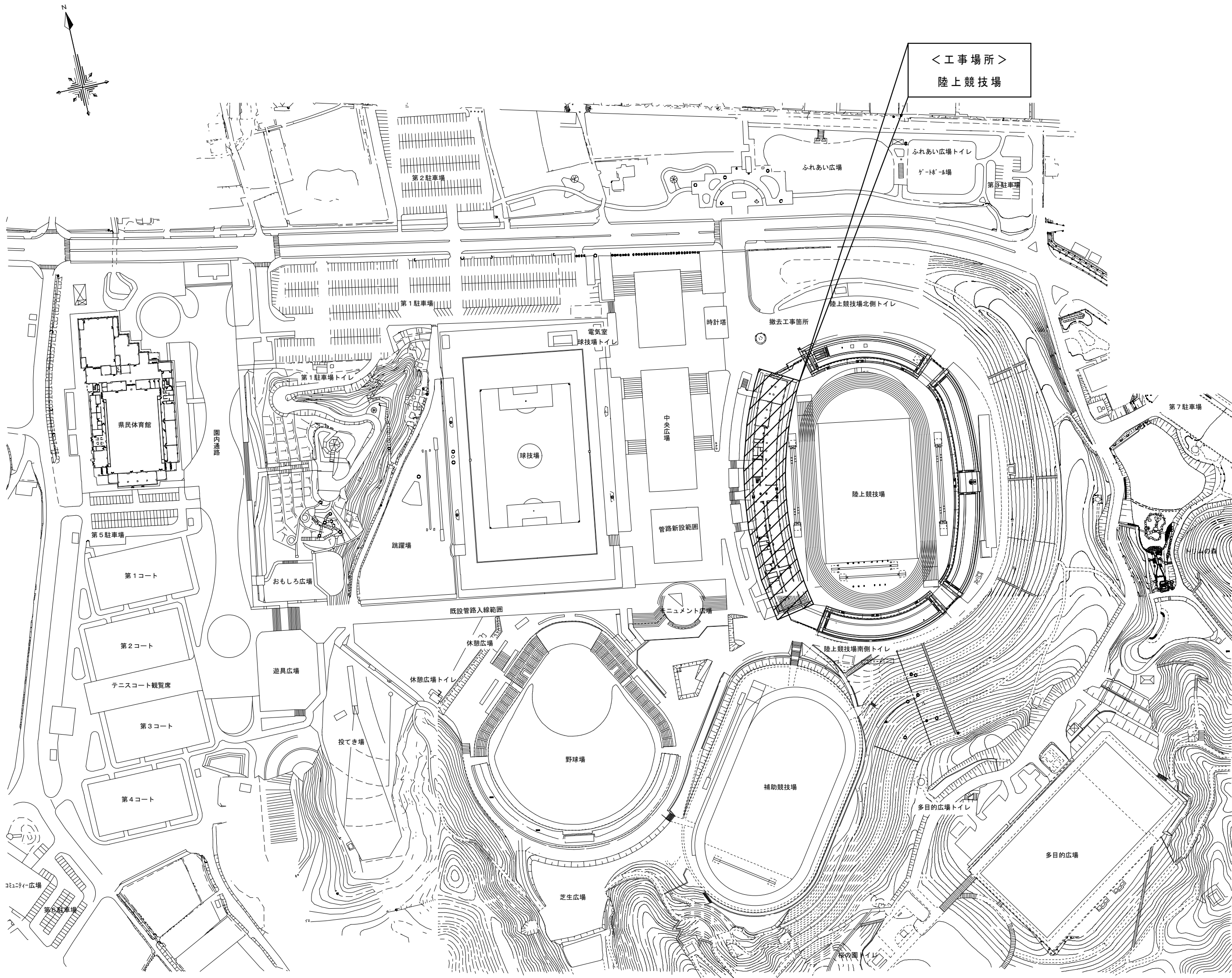
令和8年度 ヤマタスポーツパーク陸上競技場ロッカー室改修ほか工事

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺(A2)	図面番号	図面名称	縮尺(A2)
	【意匠図】			【電気設備図】	
A-01	表紙・図面リスト	—	E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	—
A-02	建築改修工事仕様書(1)	—	E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	—
A-03	建築改修工事仕様書(2)	—	E-03	電灯設備 洗面所・シャワー室・トイレ廻り 撤去図(改修前)	1:50
A-04	建築改修工事仕様書(3)	—	E-04	電灯設備 洗面所・シャワー室・トイレ廻り 改修図(改修後)	1:50
A-05	建築改修工事仕様書(4)	—	E-05	電灯・拡声・火災報知設備 男子ロッカー室 撤去図(改修前)	1:50
A-06	工事概要・付近見取図・配置図	1:2500	E-06	電灯・拡声・火災報知設備 男子ロッカー室 改修図(改修後)	1:50
A-07	仕上表・全体平面図	1:400,50	E-07	電灯・拡声・火災報知設備 女子ロッカー室 撤去図、改修図(改修前後)	1:50
A-08	洗面所・便所・シャワー室廻り 平面詳細図(改修前) 洗面所廻り 展開図・断面詳細図(改修前)	1:50	E-08	コンセント設備 トレーニング室 撤去図(改修前後)	1:50
A-09	洗面所・便所・シャワー室廻り 平面詳細図(改修後) 洗面所廻り 展開図・断面詳細図(改修後)	1:50	E-09	呼出表示設備 1階 改修図(改修後)	1:150
A-10	シャワー室 断面詳細図・天井伏図・展開図(改修前・改修後)	1:50,100			
A-11	女子ロッカー室 平面詳細図・展開図・天井伏図(改修前)	1:50,100		【機械設備図】	
A-12	女子ロッカー室 平面詳細図・展開図・天井伏図(改修後)	1:50,100	M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	—
A-13	男子ロッカー室 平面詳細図・展開図・天井伏図(改修前)	1:50,100	M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	—
A-14	男子ロッカー室 平面詳細図・展開図・天井伏図(改修後)	1:50,100	M-03	衛生器具設備 シャワー室・トイレ廻り 撤去図(改修前)	1:50
A-15	トレーニング室 平面詳細図・スロープ詳細図(改修前)	1:50,30	M-04	衛生器具設備 シャワー室・トイレ廻り 改修図(改修後)	1:50
A-16	トレーニング室 平面詳細図・スロープ詳細図(改修後)	1:50,30			
A-17	建具表(1)	1:50			
A-18	建具表(2)	1:50			
A-19	部分詳細図(1)	1:10			
A-20	部分詳細図(2)	1:10			
A-21	家具詳細図(1)	1:30			
A-22	家具詳細図(2)	1:20			
A-23	サイン配置図(改修前・改修後)	1:100,10			
A-24	サイン詳細図(改修後)	1:2,3,15			



	有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK 	DESIGN 	DRAW 	PROJECT NO	TITLE ヤマトスポーツパーク陸上競技場ロッカー室改修ほか工事	DRAWING NAME 建築改修工事仕様書（2）	SCALE ー	NO A-03
	(This row is blank in the original image)										



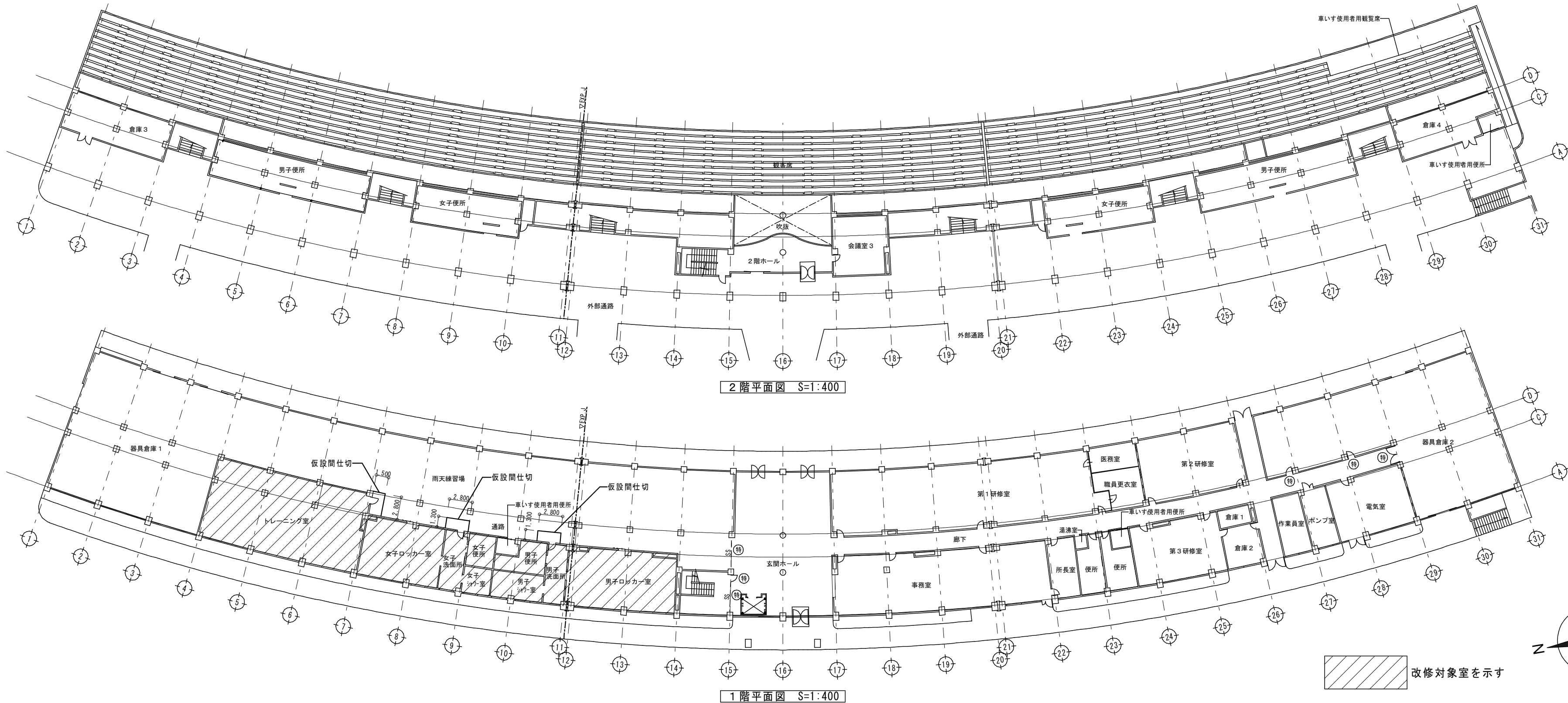
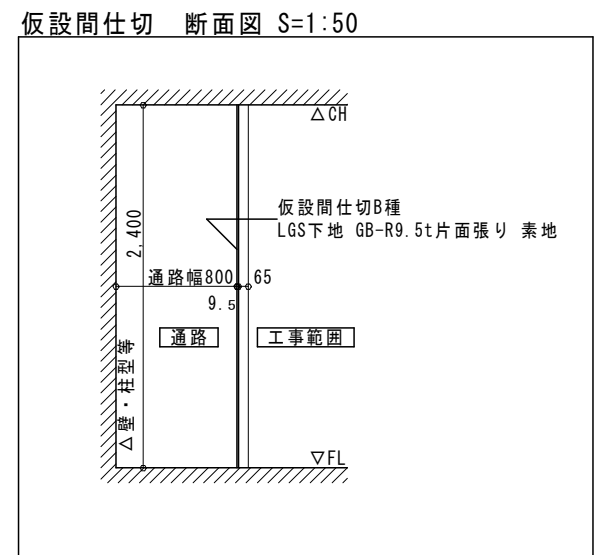
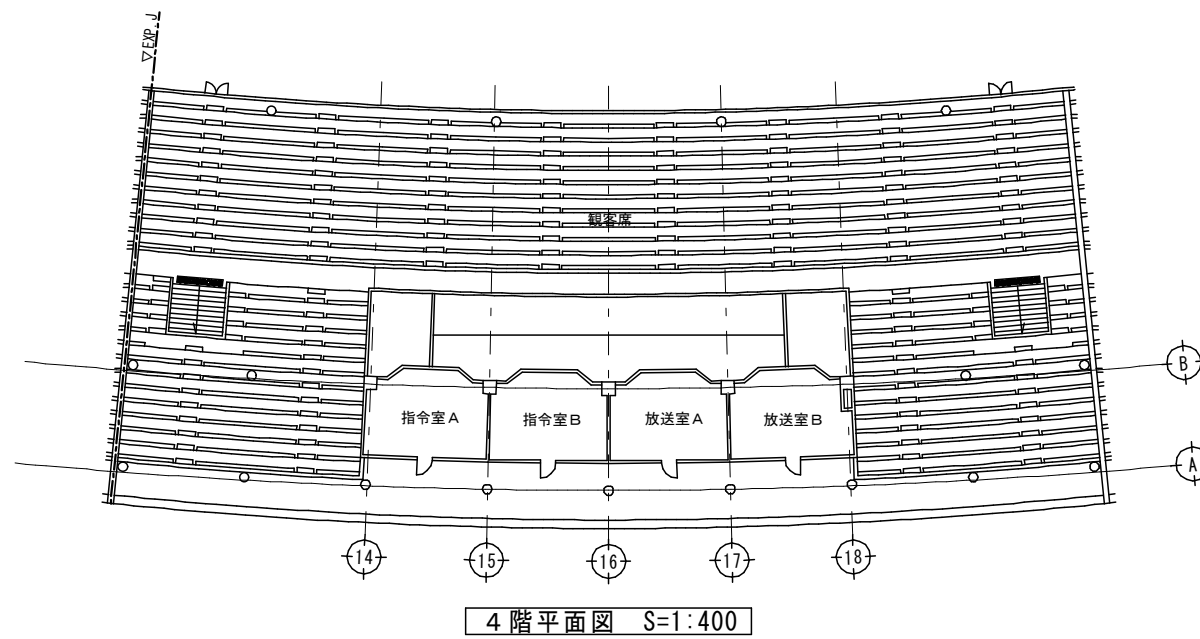
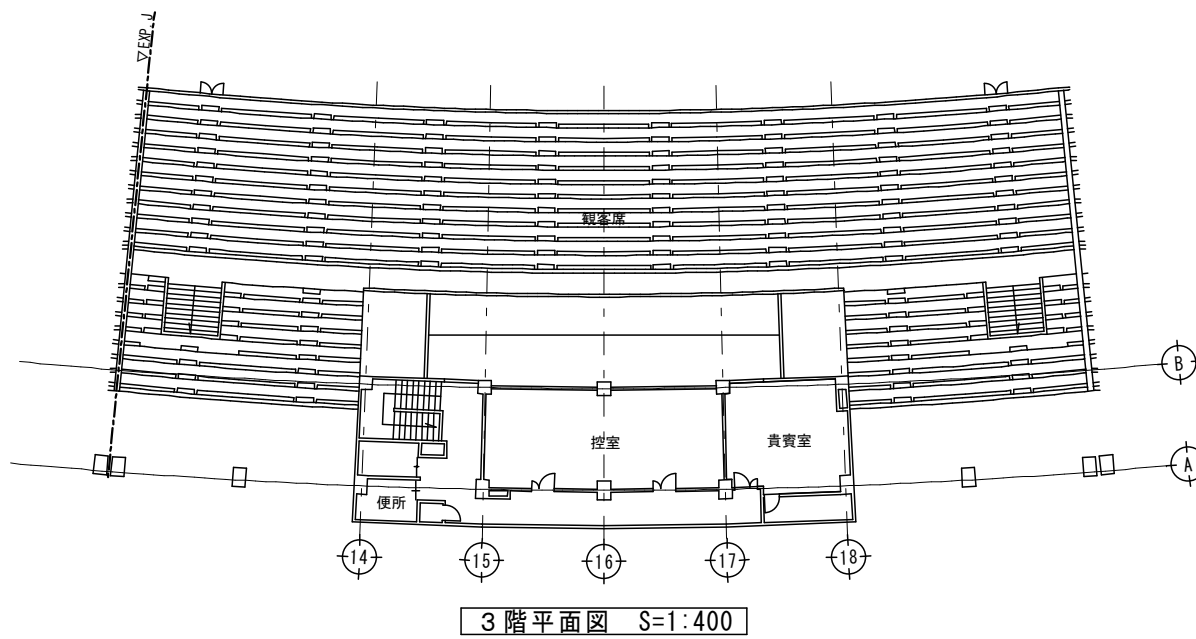
- 工事概要
陸上競技場 1階部分について、以下の改修を行う。
- ロッカー室（男女共）の内装、建具、家具を改修する。
 - シャワー室（男女共）の内装を改修し、車いす使用者用のシャワースペースを新設する。
 - 便所（男女共）の建具、トイレブースを改修する。
 - トレーニング室にスロープを新設する。
内部建具を改修、外部建具についてカバー工法による改修を行う。
 - 上記に伴う電気設備、機械設備の改修を行う。

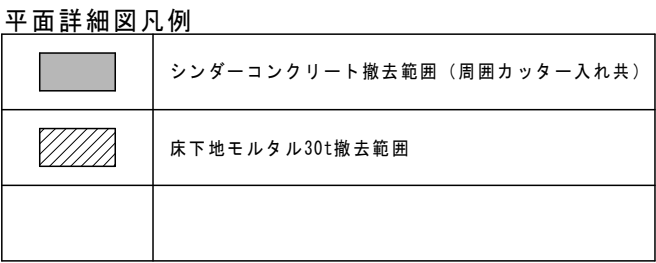


株式会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK	DESIGN	DRAW	PROJECT NO	TITLE ヤマタススポーツパーク陸上競技場ロッカー室改修ほか工事	DRAWING NAME 付近見取図・配置図・工事概要	SCALE 1:2500 A3印刷時70.7%縮小	NO A-06
------------	--------------------------	----------------------------------	-------	--------	------	------------	--------------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	------------

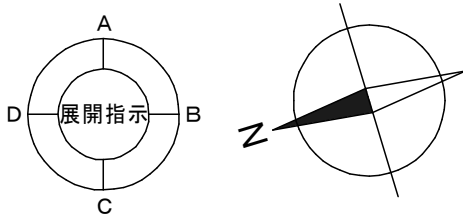
内部仕上表		※表記以外の部分的な改修は別図による							
階	室名（既存部分は旧室名）	床		巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
1階	男子ロッカー室 女子ロッカー室	既 存	モルタル下地 ビニル床シート2.0t(接着剤に石綿含有)	ビニル巾木H=100	モルタル下地 EP	LGS下地 PB9.0t EP	塩ビ廻縁	2.650	
		撤去・下地	床シート撤去・下地調整	撤去	下地調整	ボード撤去 LGS下地共（吊りボルト存置） / LGS下地新設	撤去		【撤去】スチールロッカー、木製ロッカー、貴重品入れ
		改修後	FS2.0t張り	ビニル巾木H=60	EP-G塗替（3分艶）	GB-D9.5t(910角)	塩ビ廻縁		【新設】コインロッカー、木製ロッカー、カーテンレール、カーテン
	男子シャワー室 女子シャワー室	既 存	モルタル下地 25角タイル	—	モルタル下地 100角タイル	LGS下地 FB4.0t(石綿含有) VP	塩ビ廻縁	2.400	
		撤去・下地	一部床タイル撤去 シンダー・コンクリート共	—	一部タイル撤去（一部RC壁共）、一部タイル面下地調整	一部ボード撤去 LGS下地共（吊りボルト存置） / LGS下地新設	一部撤去		【撤去】一部シャワープース、シャワープース扉
		改修後	一部シンダー・コンクリート復旧 もみれ塗り勾配調整 浴室用KS3.5t張り(防滑)	—	浴室用タイル化粧板3.0t張り（既存タイル面） 一部 LGS下地 下地繊維が入りセメント板12.5tの上 浴室用タイル化粧板3.0t張り	既存FB EP-G塗替 / 一部FB4.0t復旧 EP-G	一部塩ビ廻縁復旧		【新設】シャワープース扉、カーテンレール、シャワーカーテン
トレーニング室 (路込部分)	既 存	モルタル下地 ビニル床シート2.0t(接着剤に石綿含有)	ビニル巾木H=100	コンクリート打直し仕上	LGS下地 FB4.0t素地 一部直天井	塩ビ廻縁	2.900		
	撤去・下地	床シート撤去 下地モルタル共・下地調整	撤去	—	—	—		【撤去】スロープ	
	改修後	FS2.0t張り	ビニル巾木H=100	既存のまま	既存のまま	既存のまま		【新設】スロープ	

＜ホルムアルデヒド及びVOC放散量等級＞ 各材料の放散量等級は下記以上とする。	
合板等	本工事に使用する合板等は全てF☆☆☆☆品とする。
接着剤等	本工事に使用する接着剤は全てF☆☆☆☆品とする。
塗料等	本工事に使用する塗料は全てF☆☆☆☆品とする。
壁装材料（クロス）	本工事に使用する壁装材料は全てF☆☆☆☆品とする。
クロス貼り施工職	本工事に使用するクロス貼り施工職は全てんふ系施工職F☆☆☆☆品とする。
石膏ボード	告示対象外品
＜使用材料略記号＞ 以降の図面においても適用する	
GB-R	石膏ボード
GB-D	化粧石膏ボード
FB	フレキシブルボード
FS	複層ビニル床シート
KS	クッションフロア（※浴室用は防滑仕様とすること）
E P	合成樹脂エマルジョンペイント塗り
E P-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り
S O P	合成樹脂調合ペイント塗り





㊦	紙巻器シングル（設備図参照）
㊧	木製棚板D=300程度
㊨	SUS棚板D=100程度
㊩	SUS手すり L=800程度（設備図参照）
㊪	SUSﾊﾞｲﾌﾞ 棚 D=200程度
㊫	シャワーユニット（設備図参照）



斜縁部100角タイル撤去

周囲カッター入れ共

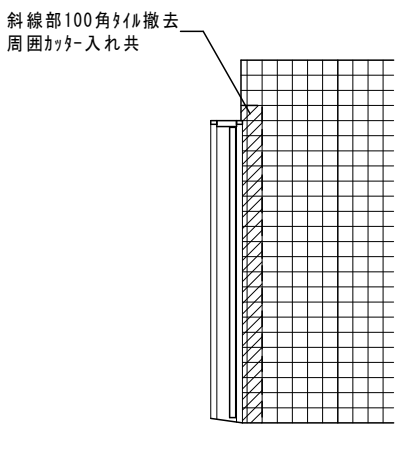
木製建具撤去 (枠共)

1,930

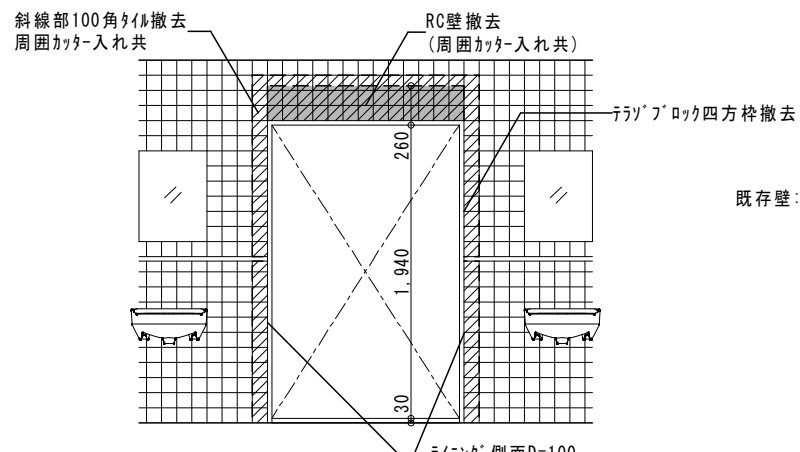
30

図1

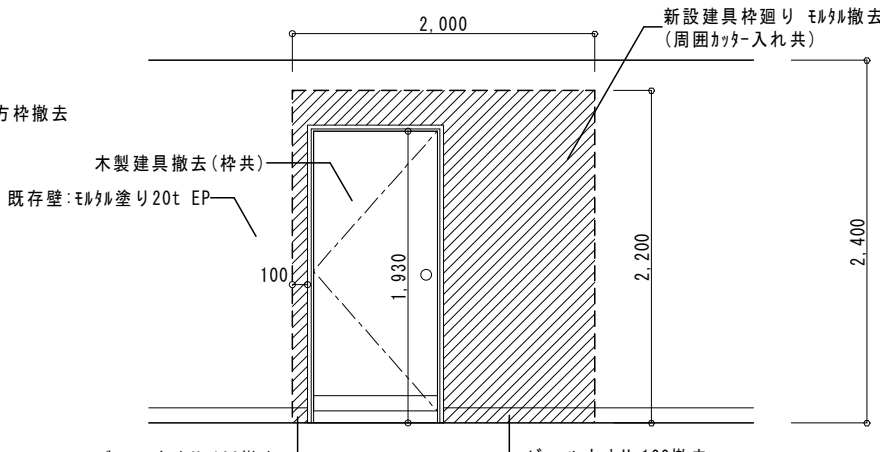
女子洗面所 A 面



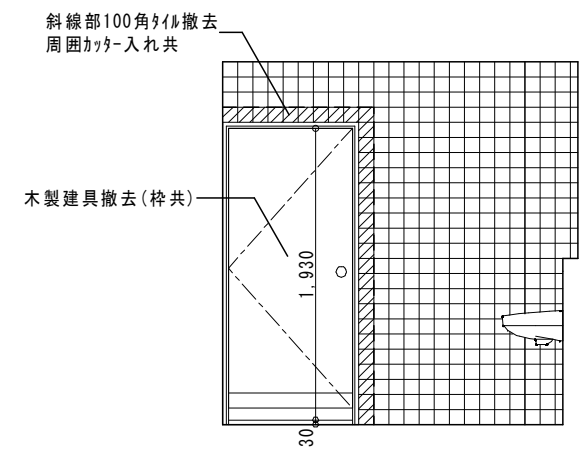
女子洗面所 B面（通路側）



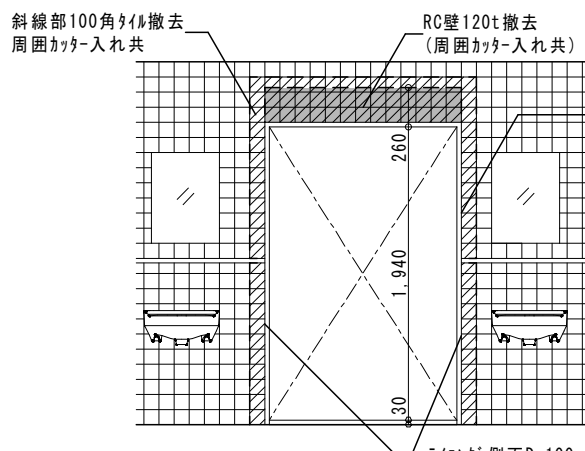
女子洗面所 D面（ロッカー室側）



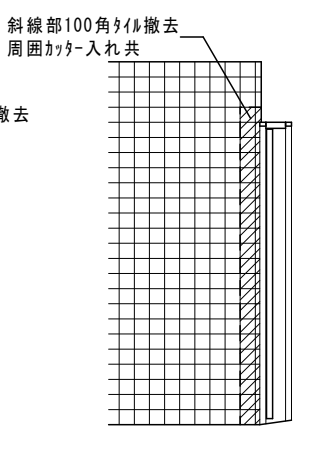
通路 C面 (女子洗面所・男子洗面所出入口共通)



男子洗面所 A面

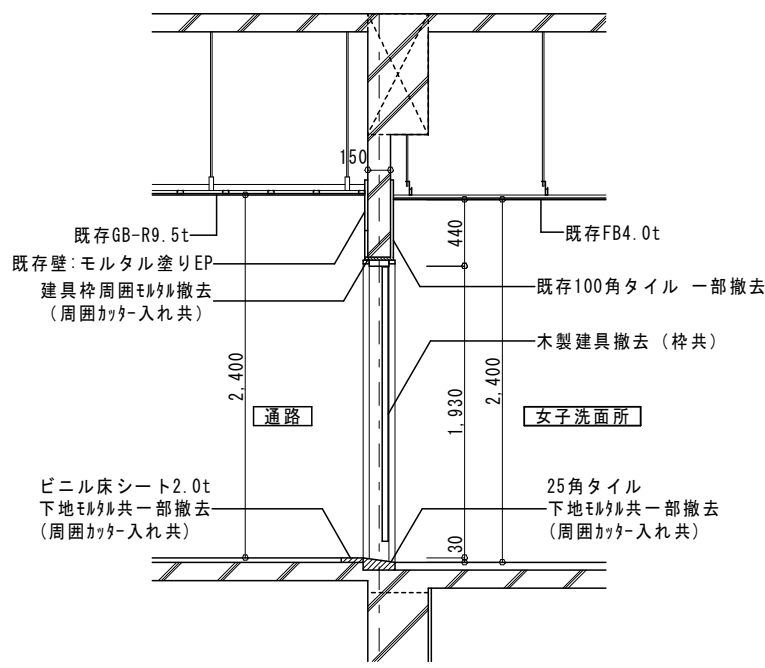


男子洗面所 B面（ロッカー室側）



男子洗面所 D面（通路側）

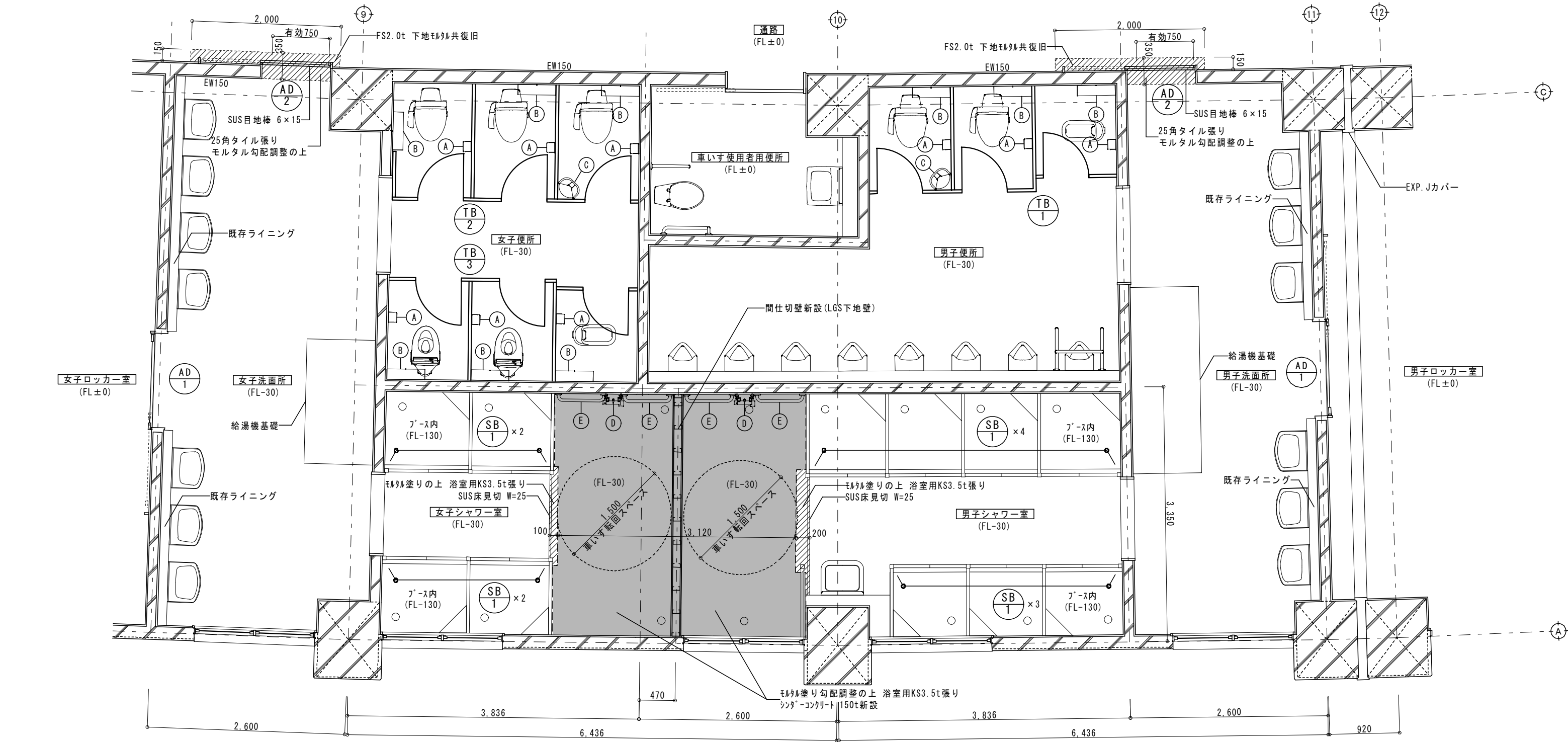
男子洗面所・女子洗面所 展開図（改修前） S=1:50



洗面所出入口 断面詳細図 (改修前) S=1:50

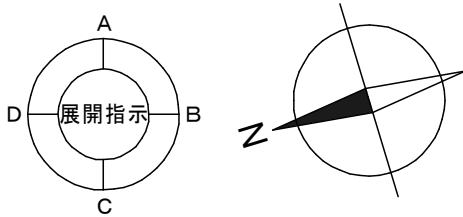
- 注記
・建具枠周囲は耐力壁（EW150）のため、損傷しないように注意して施工すること。
・男子洗面所出入口も本図と同様とする。



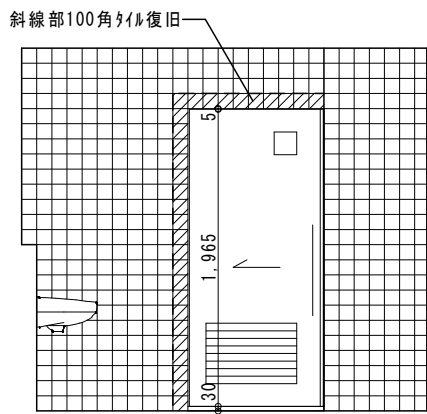


平面詳細図凡例	
	シンダーコンクリート150t復旧範囲
	床下地モルタル30t復旧範囲
	改修対象建具 (建具表を参照)

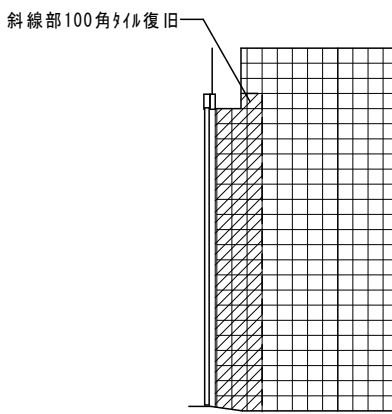
便所・シャワー室 新設品 (詳細は設備図面による)	
A	紙巻器シングル
B	SUS棚板
C	ベビーチェア
D	シャワーユニット
E	SUS手すり



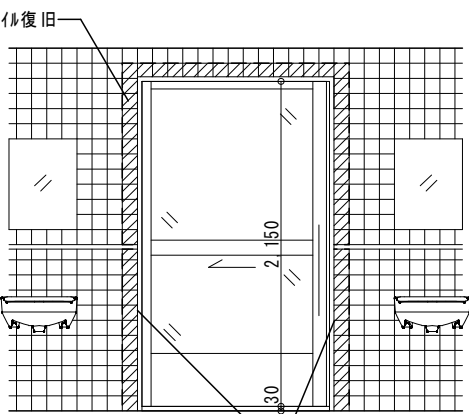
洗面所・シャワー室・トイレ廻り 平面詳細図 (改修後) S=1:50



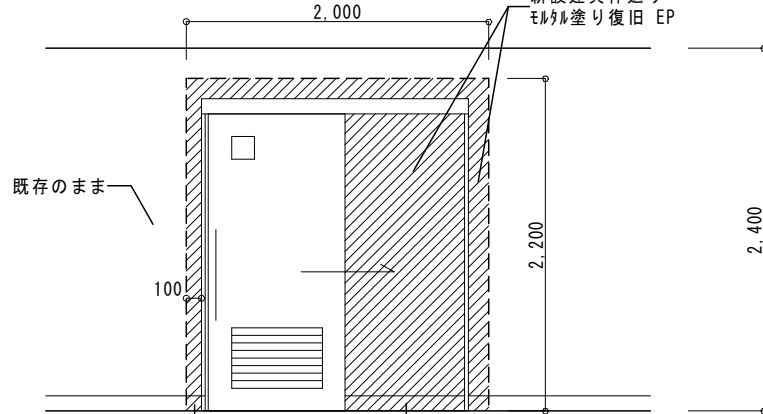
女子洗面所 A面



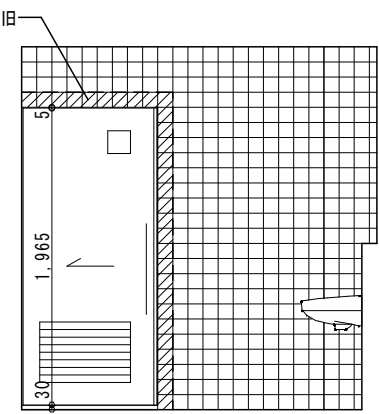
女子洗面所 B面 (通路側)



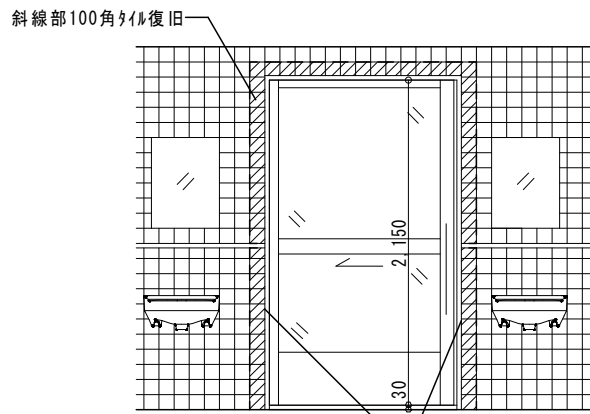
女子洗面所 D面 (ロッカー室側)



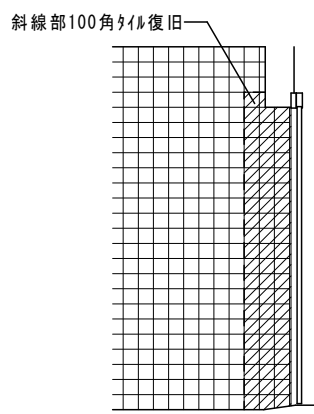
通路 C面 (女子洗面所・男子洗面所出入口共通)



男子洗面所 A面

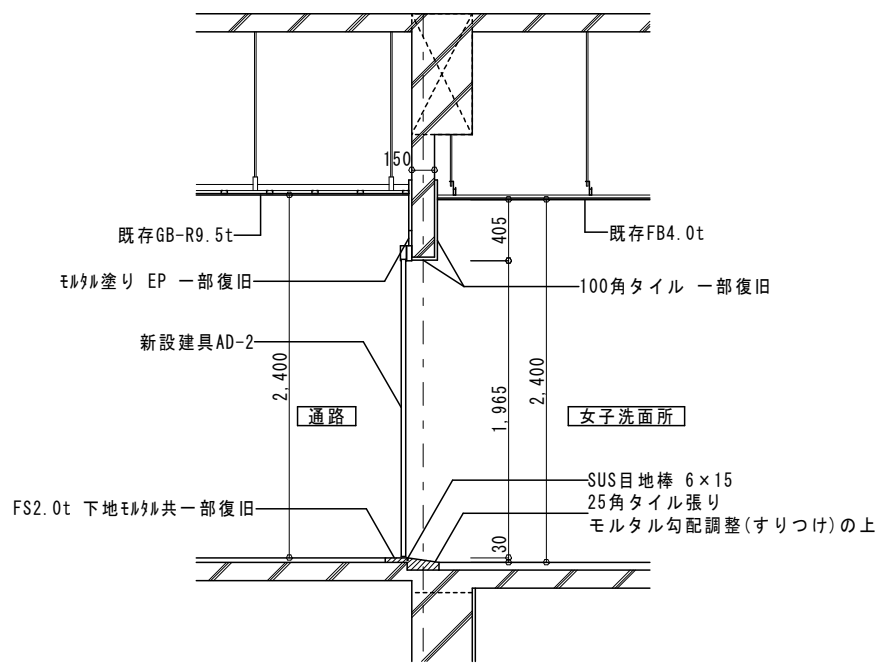


男子洗面所 B面 (ロッカー室側)



男子洗面所 D面 (通路側)

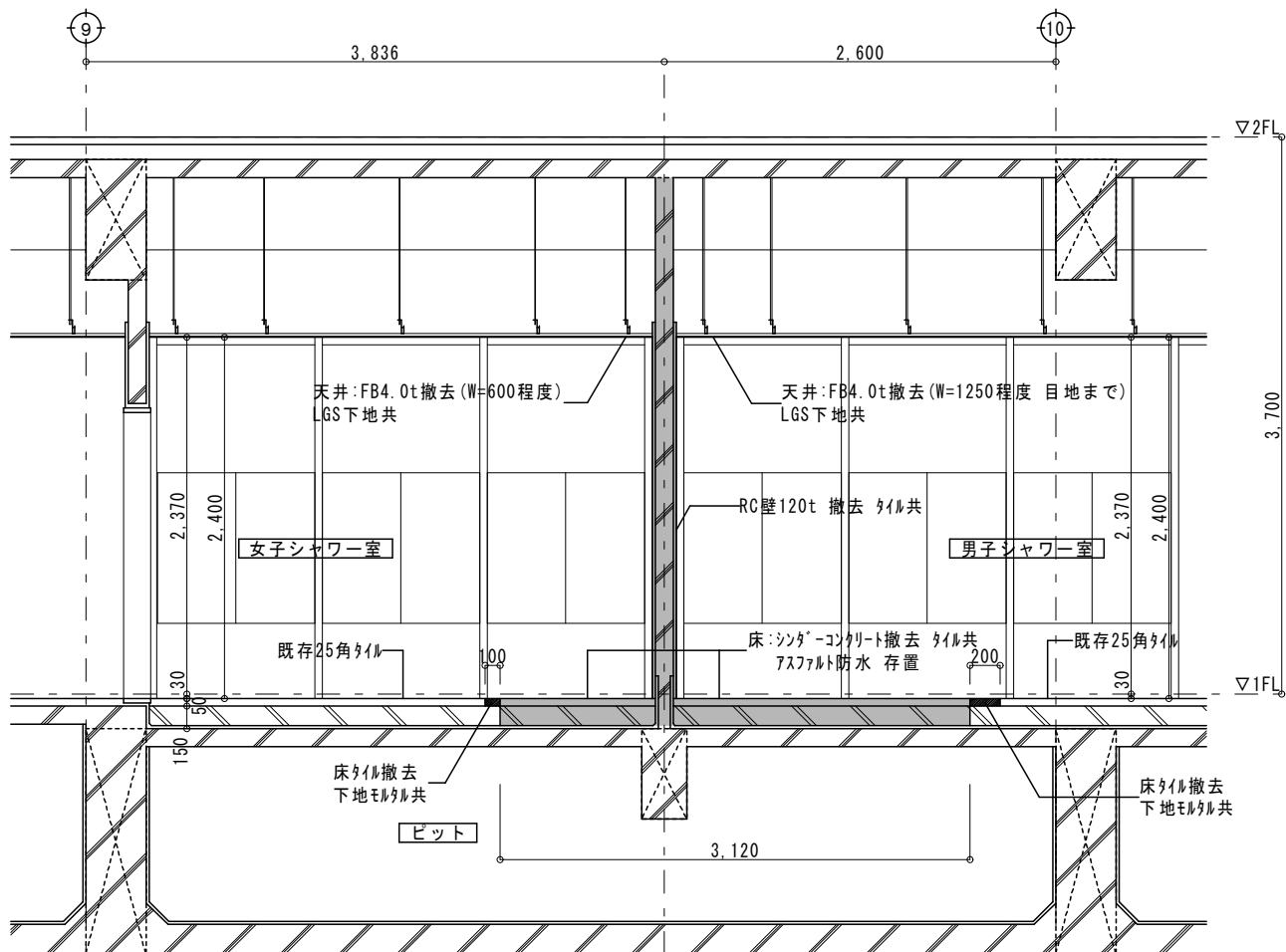
男子洗面所・女子洗面所 展開図 (改修後) S=1:50



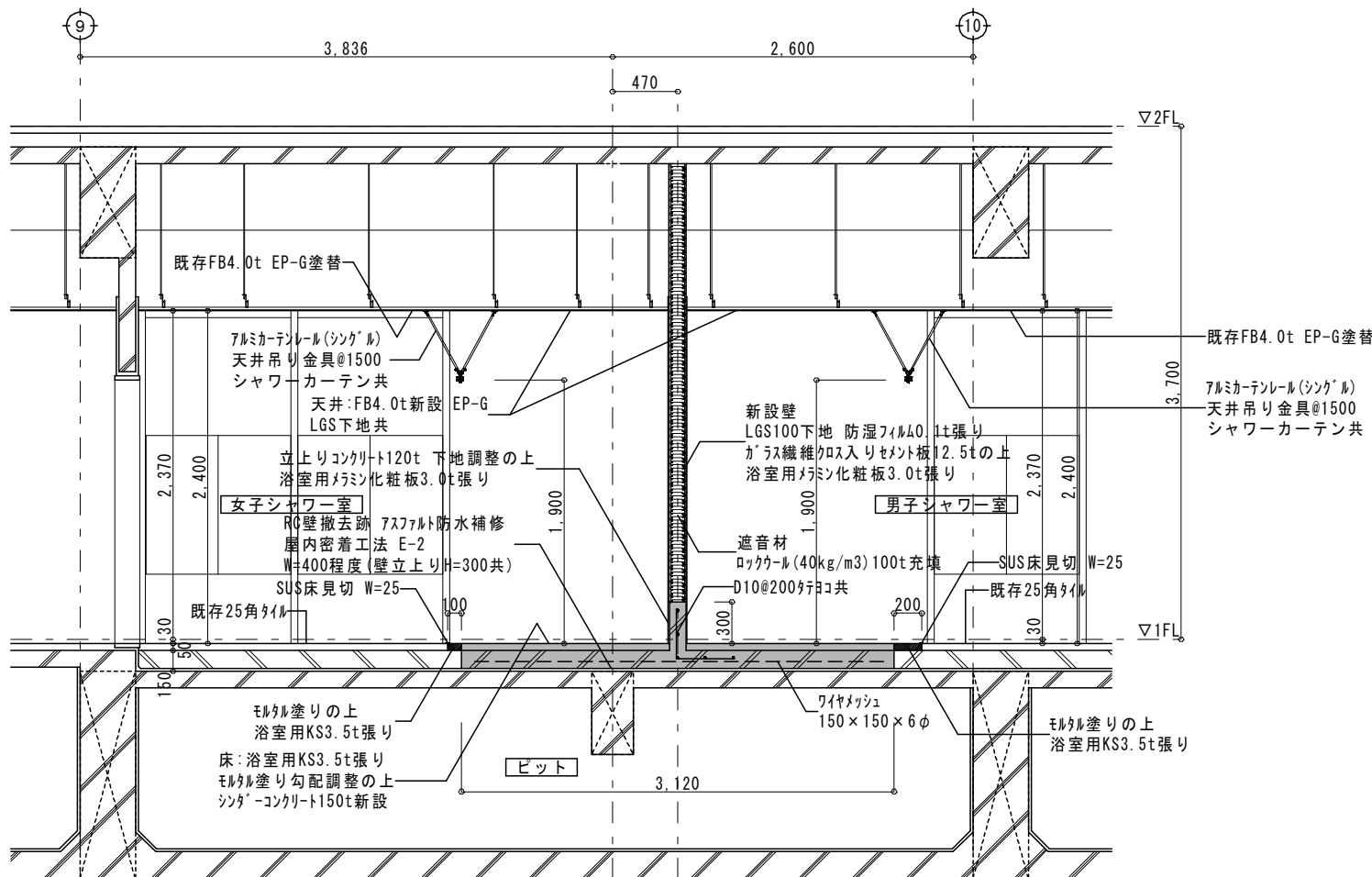
女子洗面所出入口 断面詳細図 (改修後) S=1:50

■注記
・建具枠周囲は耐力壁 (EW150) のため、損傷しないように注意して施工すること。
・男子洗面所出入口も本図と同様とする。

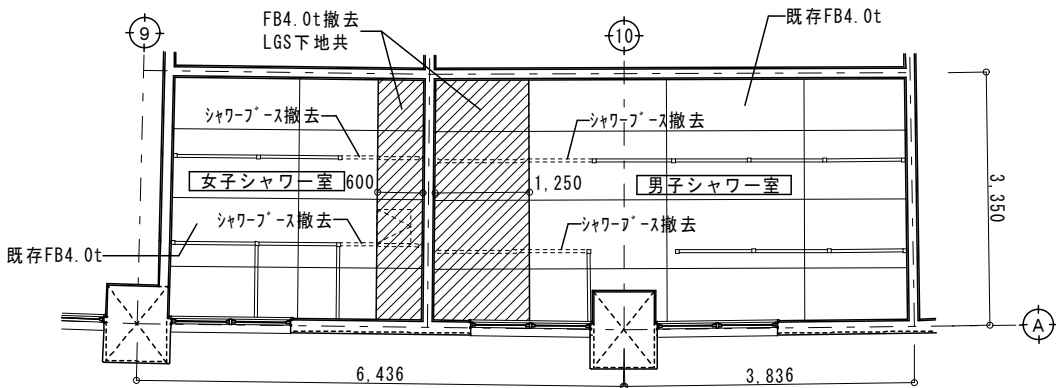




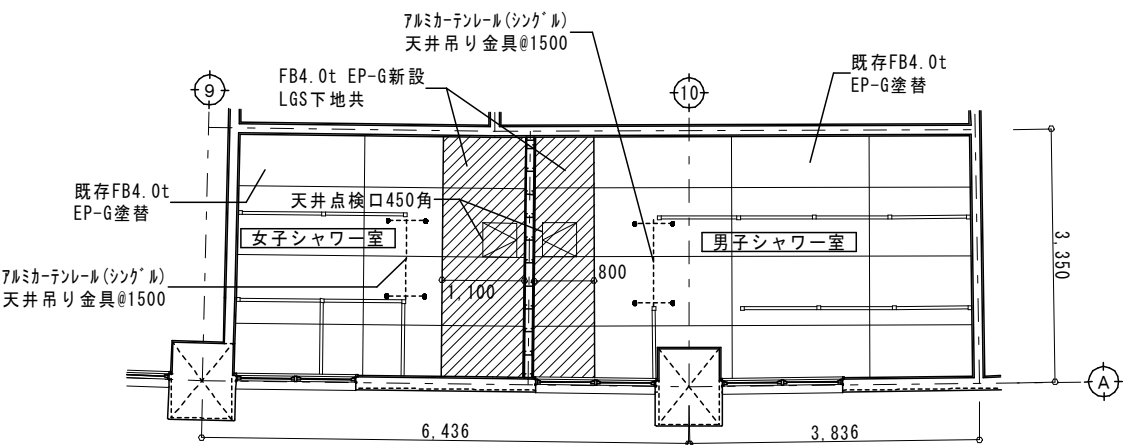
シャワー室 断面詳細図（改修前） S=1:50



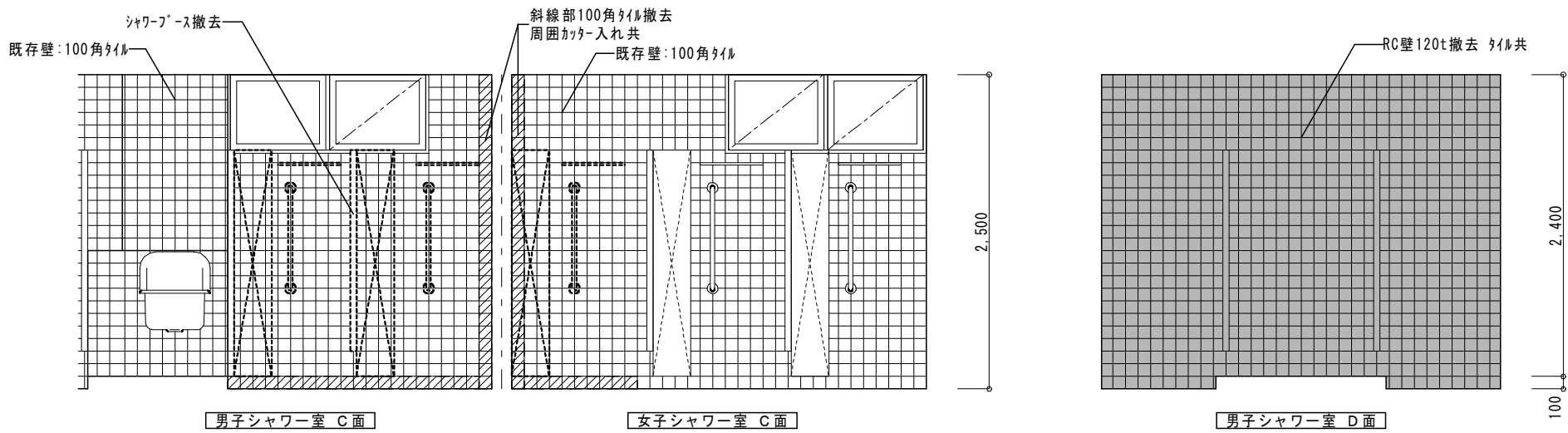
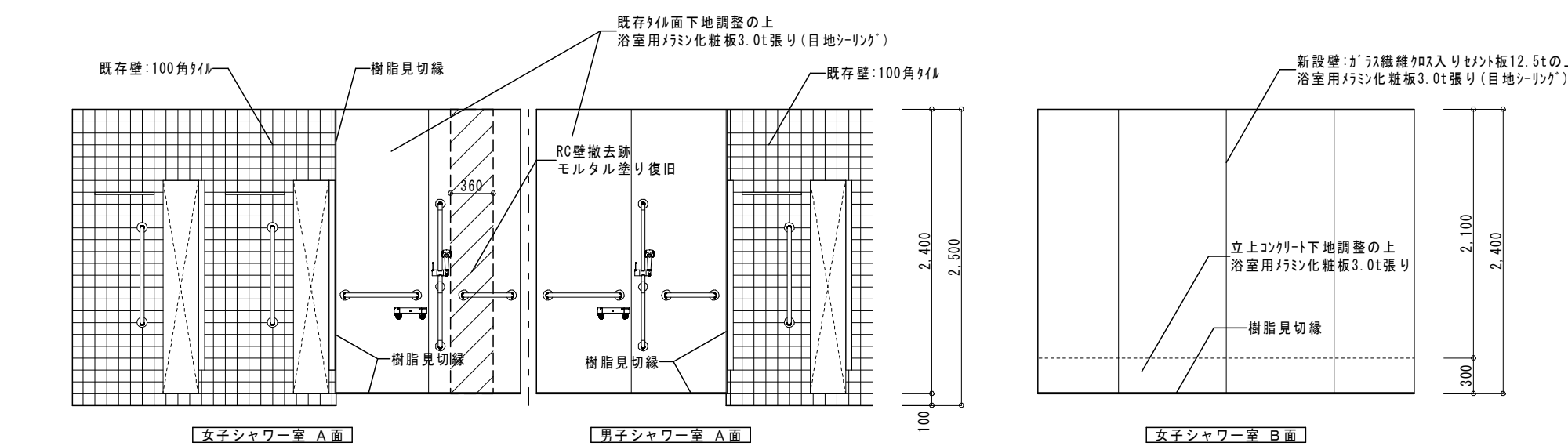
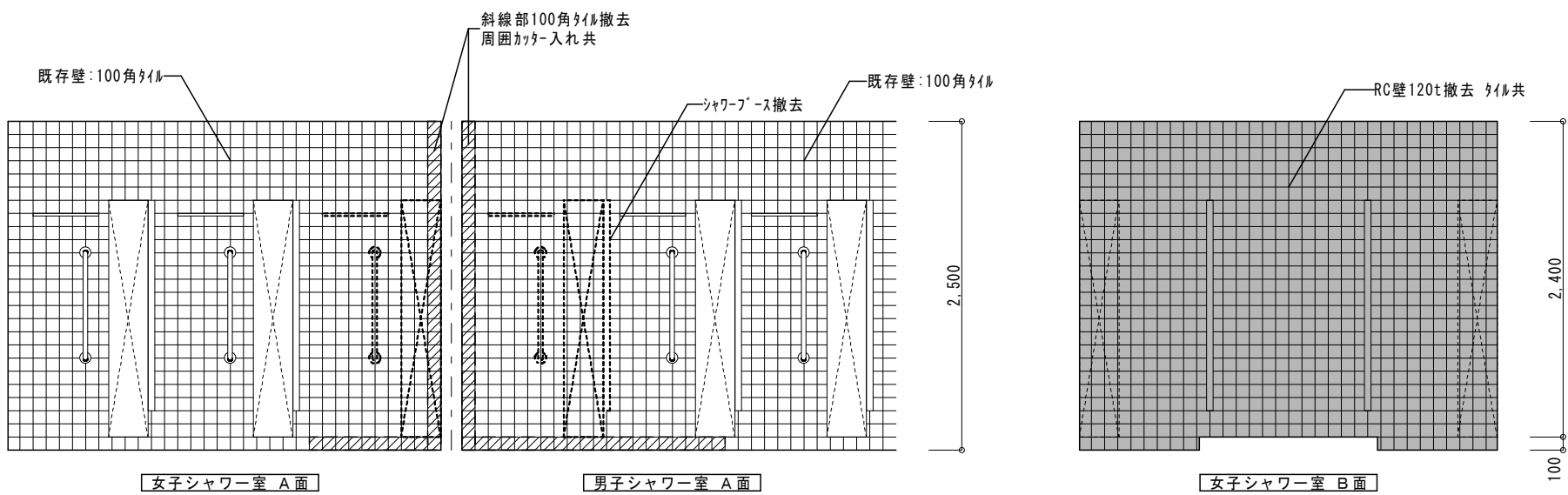
シャワー室 断面詳細図（改修後） S=1:50



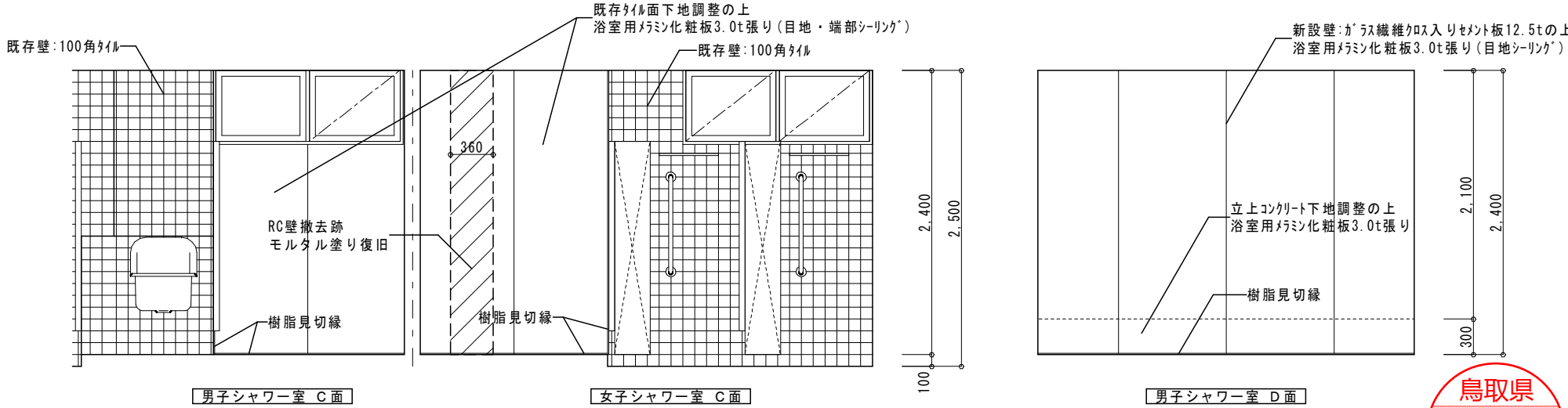
シャワー室 天井伏図（改修前） S=1:100



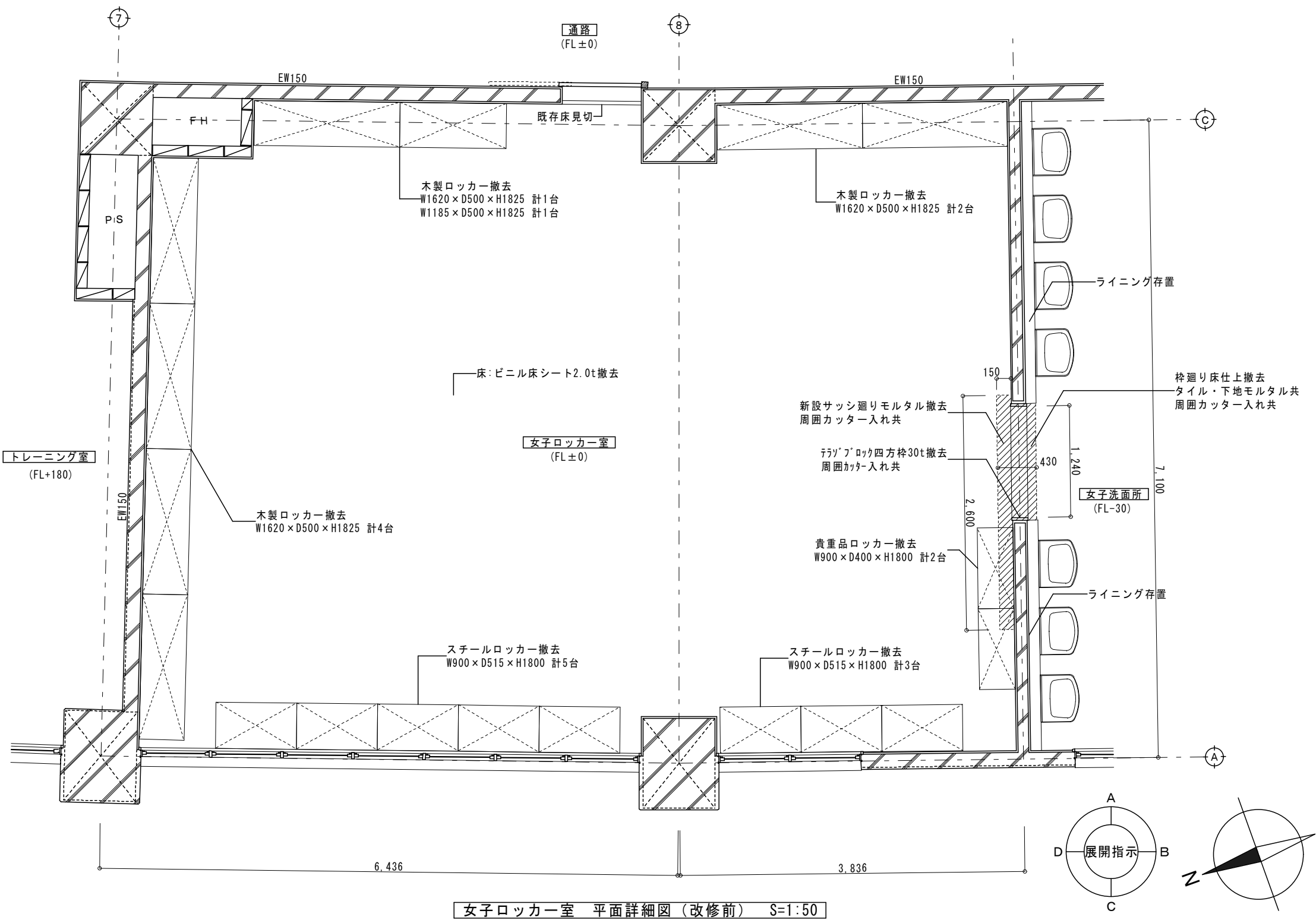
シャワー室 天井伏図（改修後） S=1:100



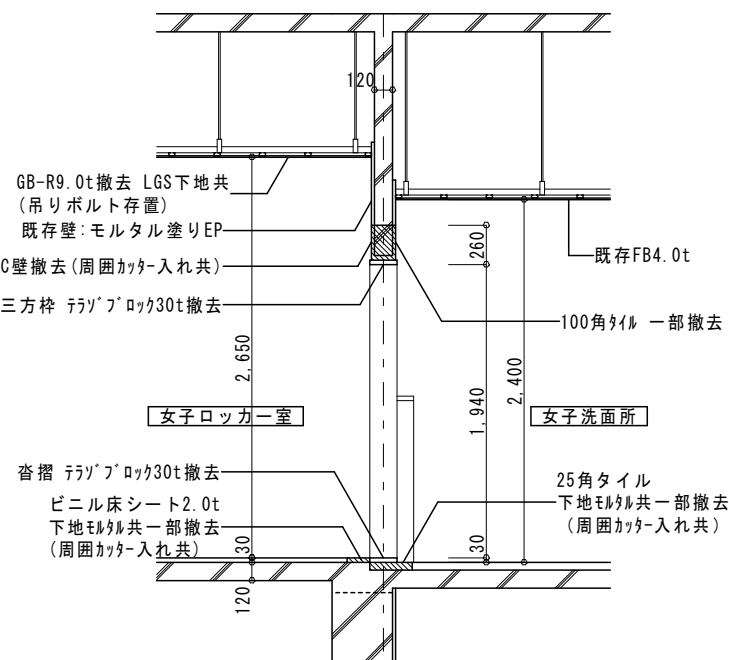
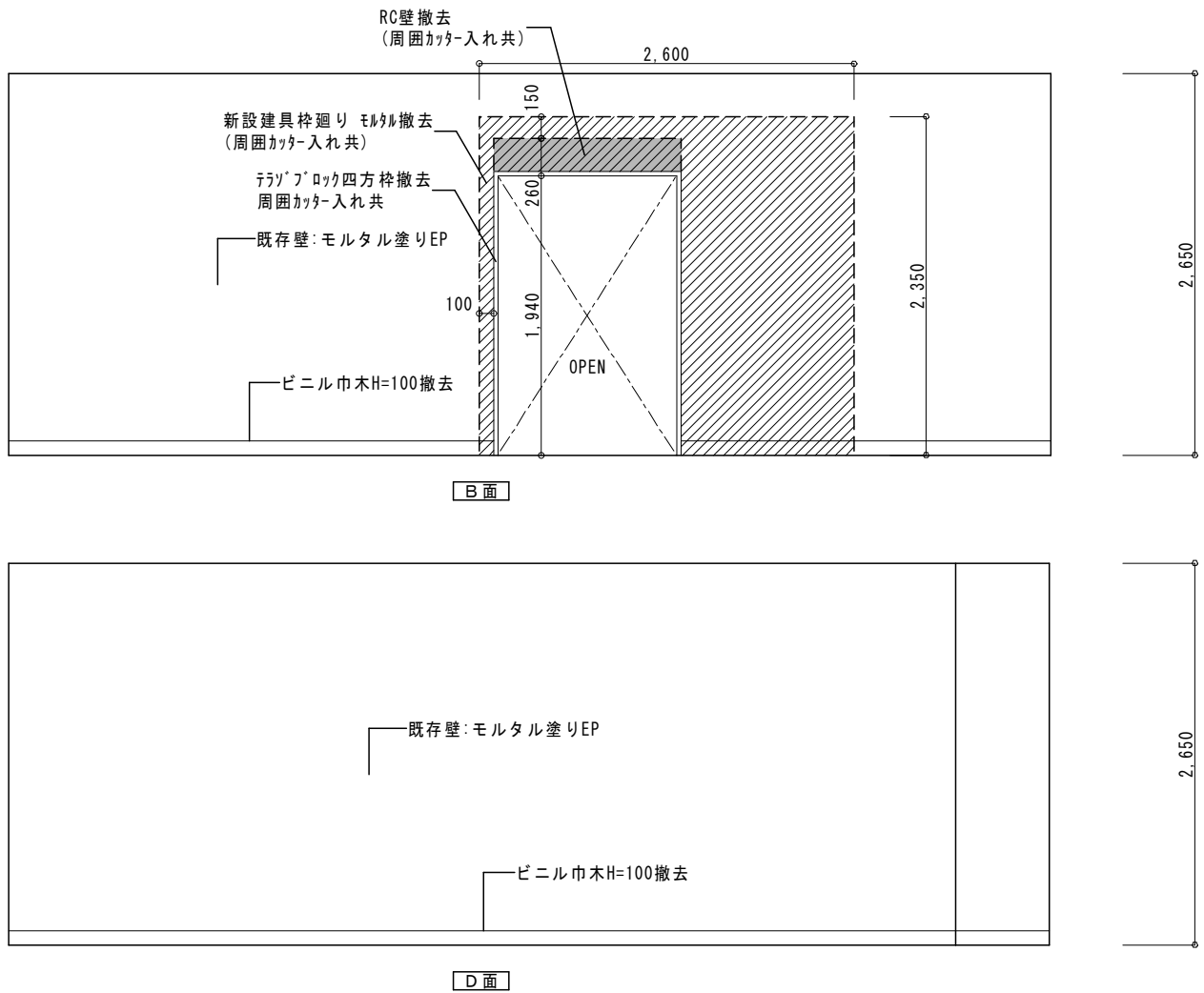
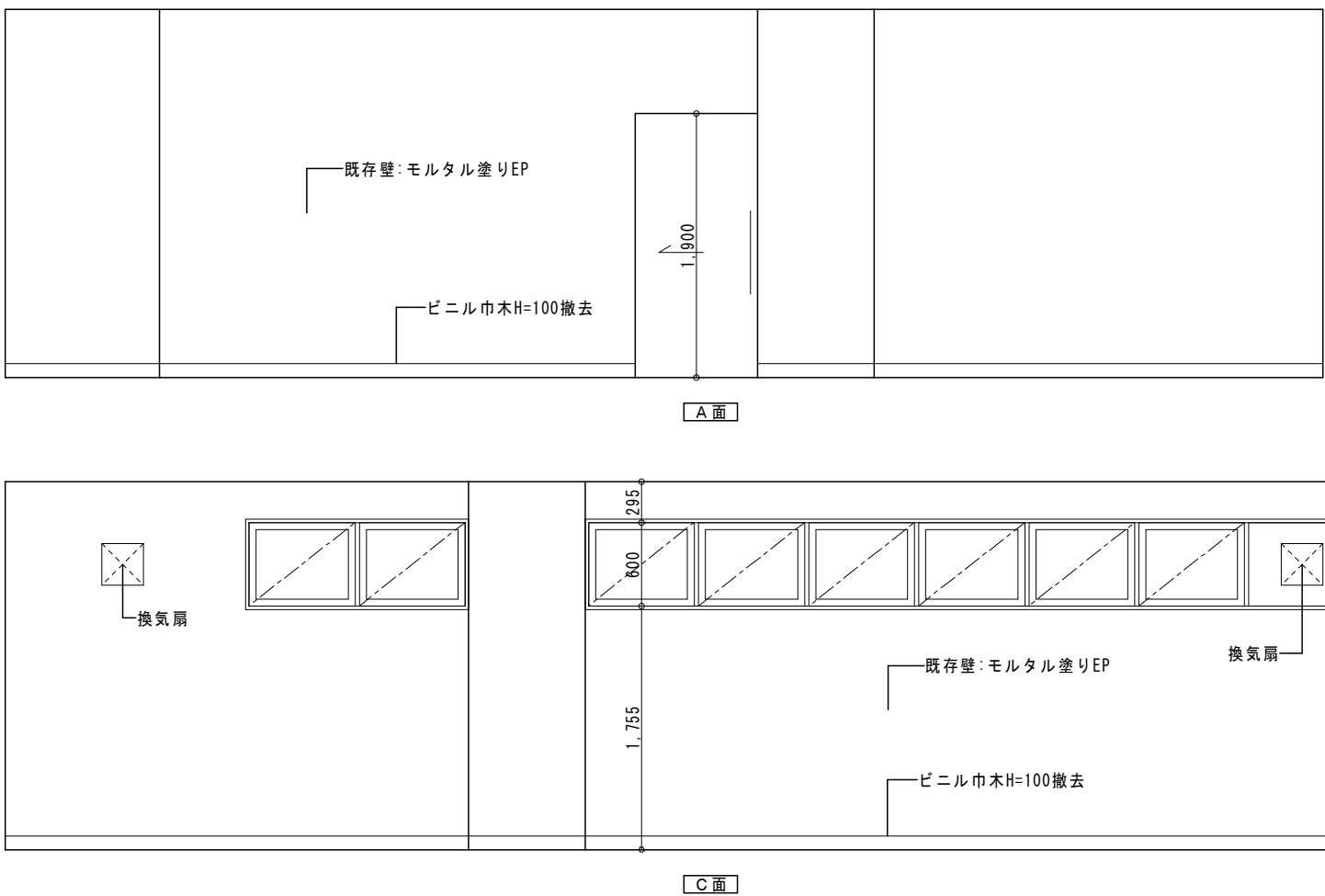
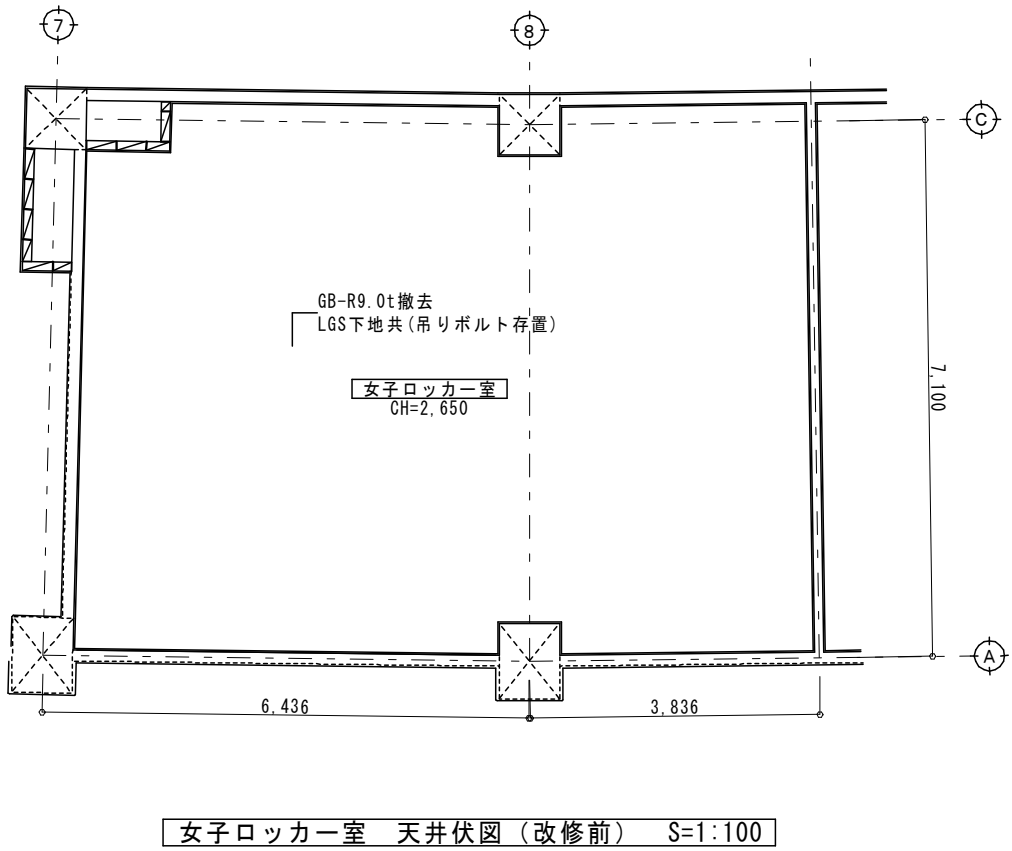
シャワー室 展開図（改修前） S=1:50



シャワー室 展開図（改修後） S=1:50

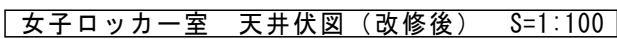
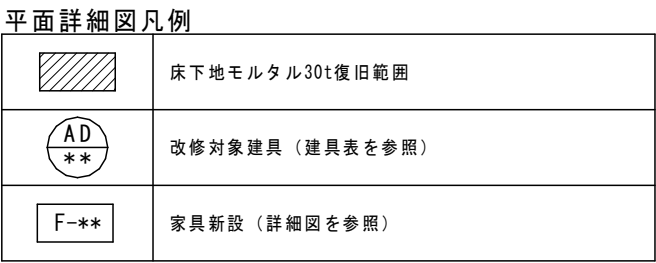


平面詳細図凡例	
	床下地モルタル30t撤去範囲

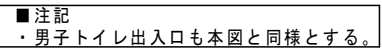
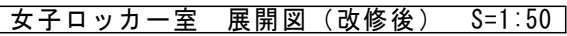


女子ロッカー室 展開図 (改修前) S=1:50

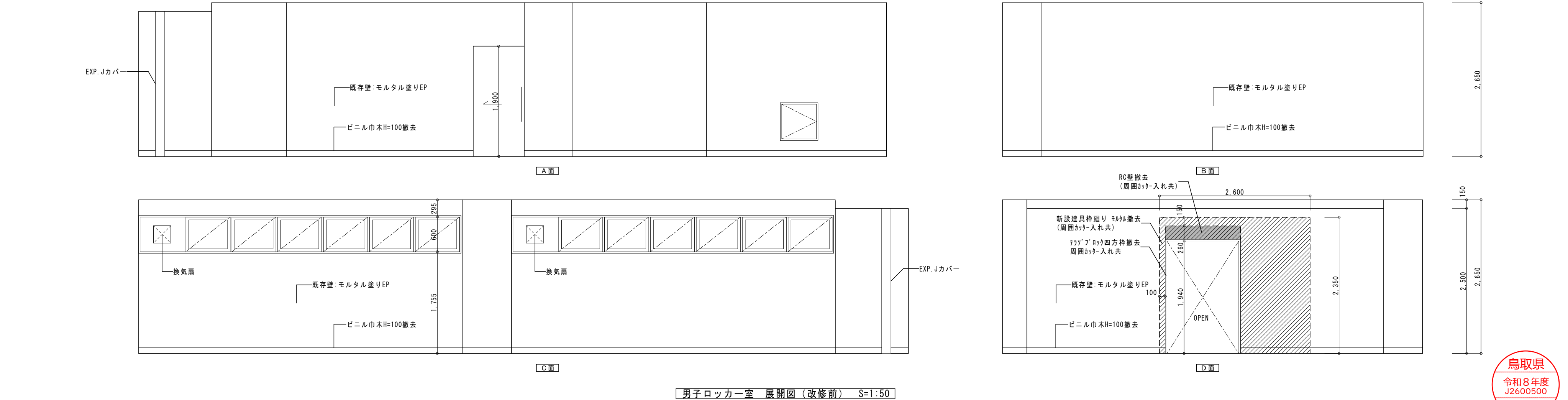
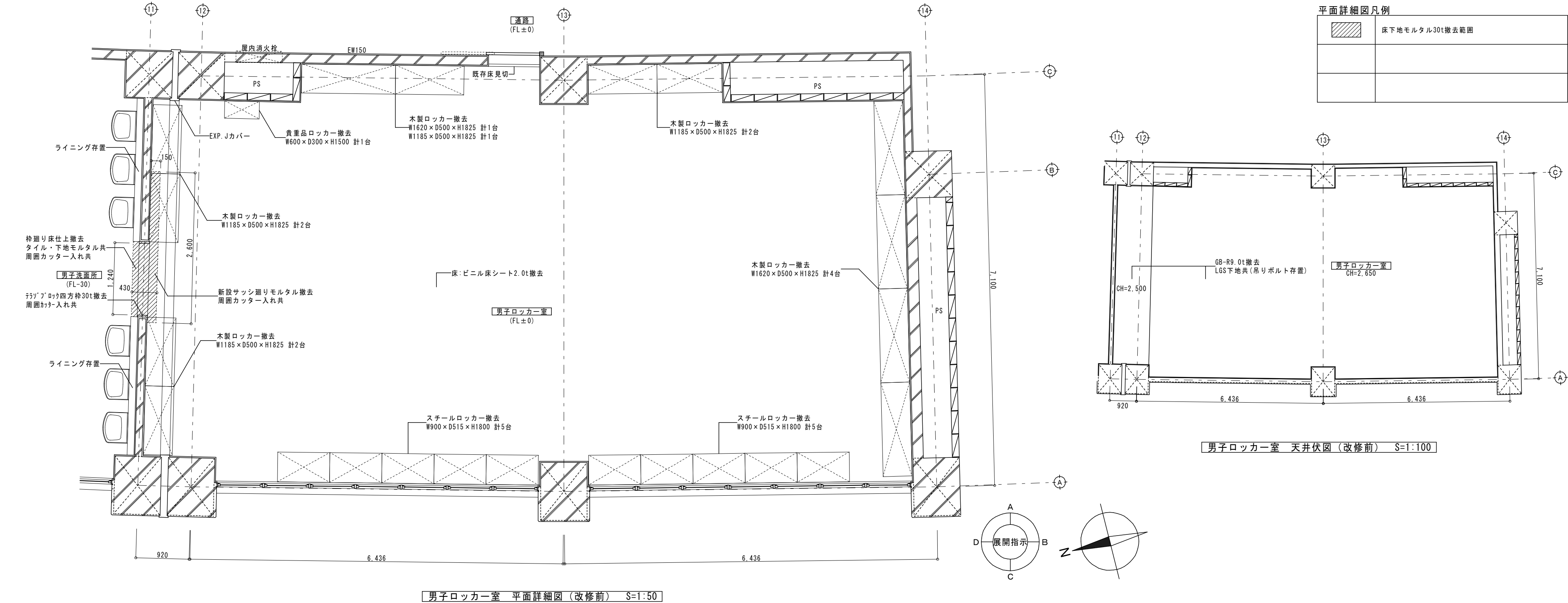
女子ロッカー室・女子トイレ出入口 断面詳細図 (改修前) S=1:50

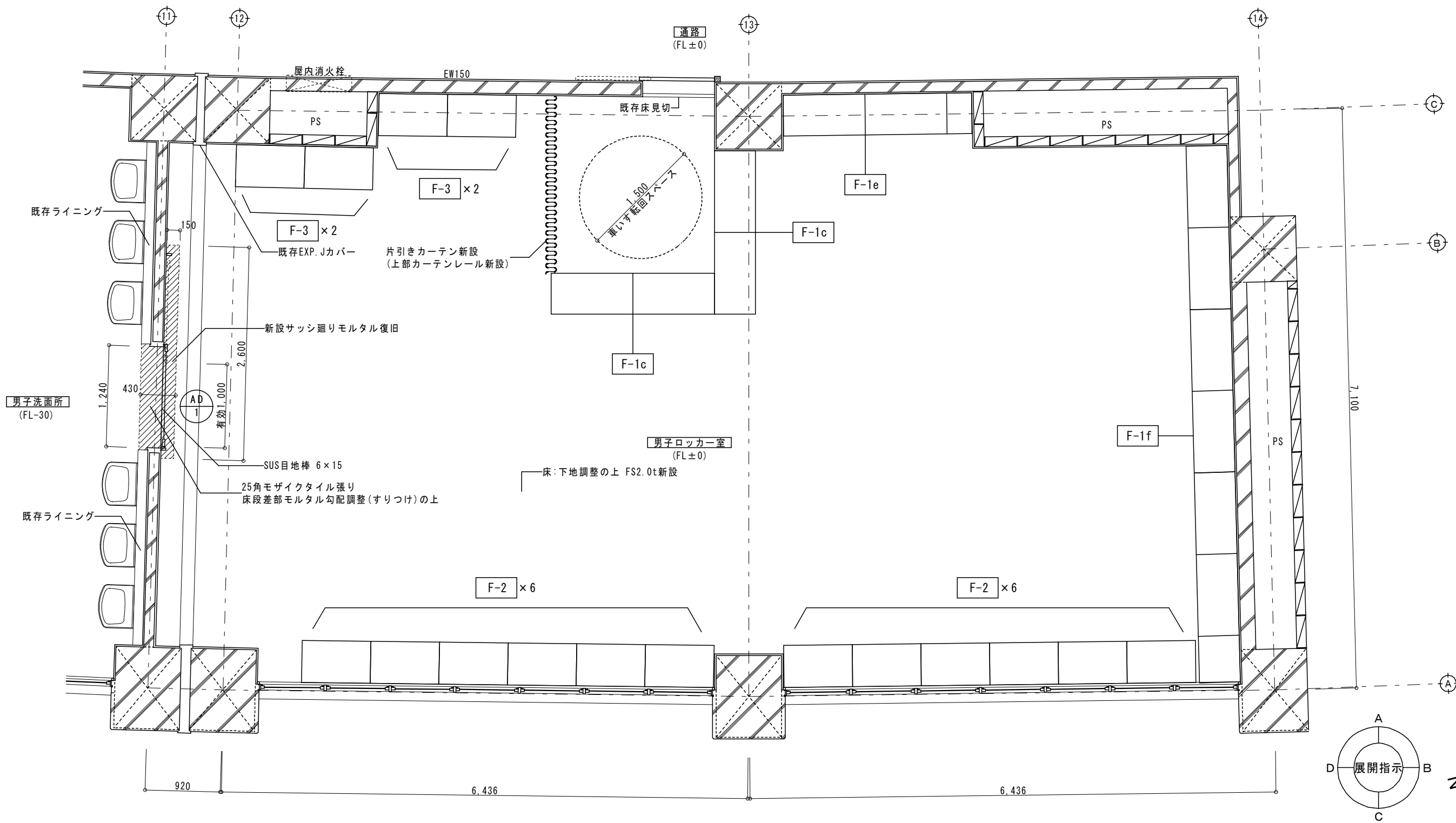


・天井開口補強、天井点検口は空気調和設備の施工者と位置を十分に調整し、監督職員の承認の上で施工すること。

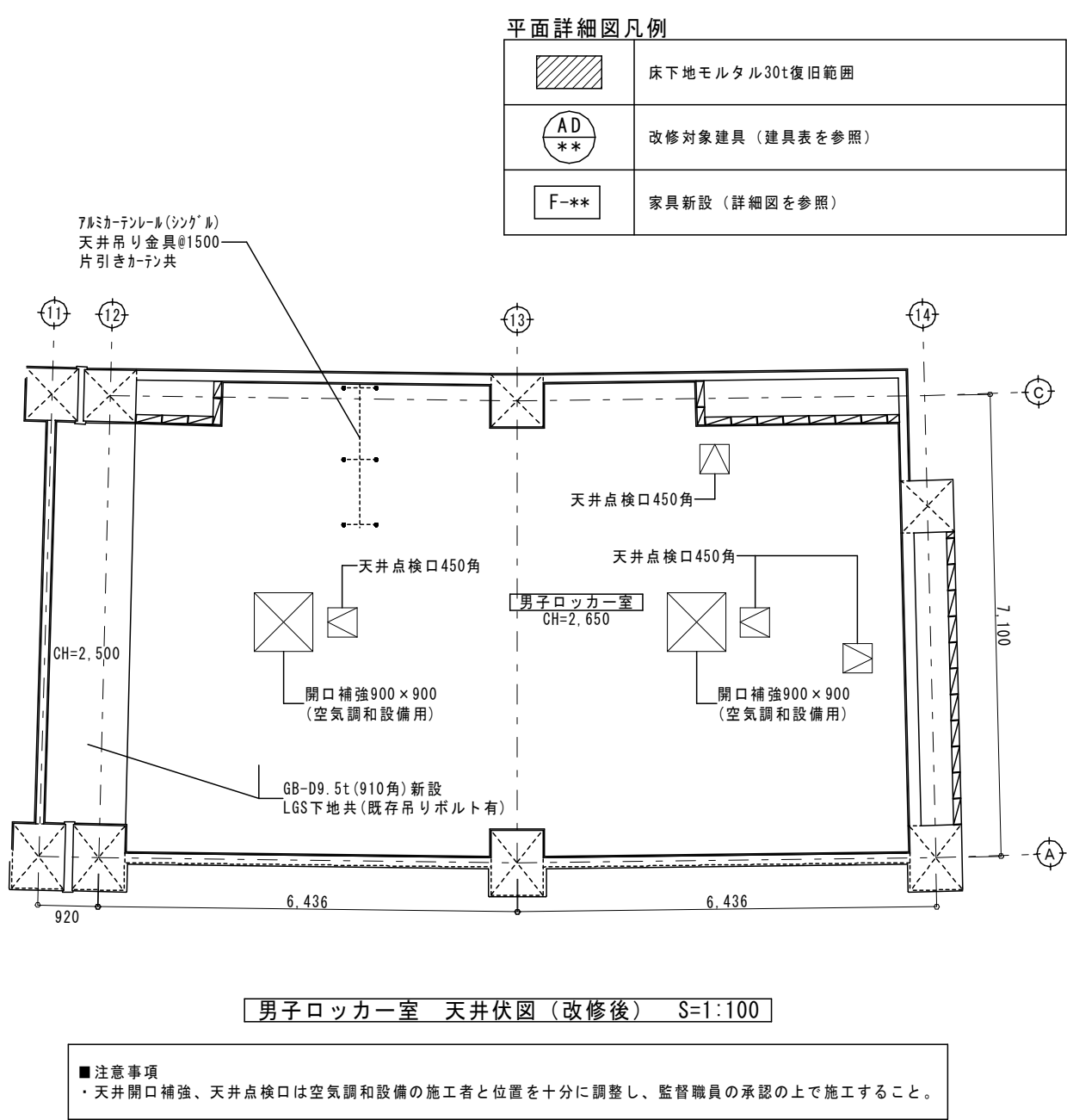


女子ロッカー室・女子トイレ出入口 断面詳細図（改修後） S=1:50



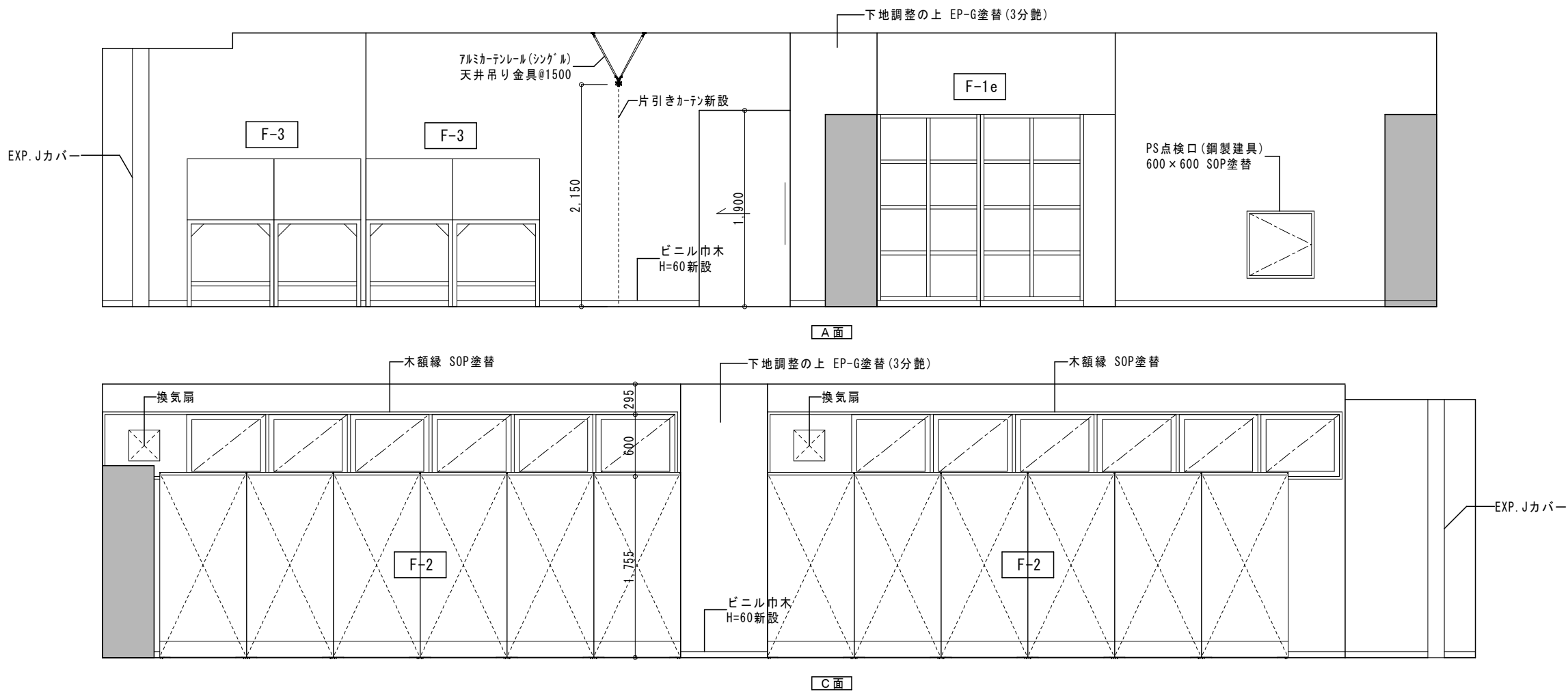


男子ロッカー室 平面詳細図 (改修後) S=1:50

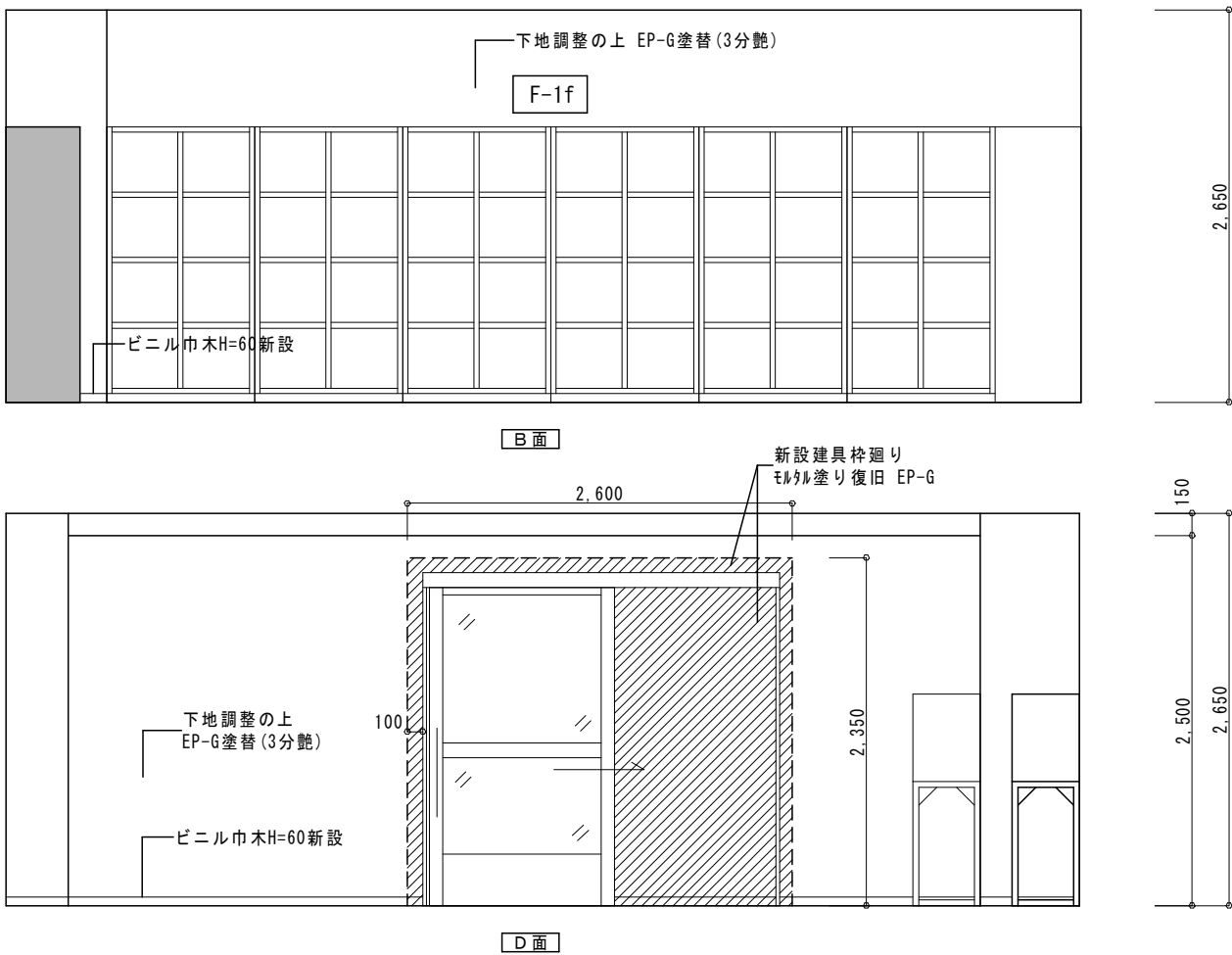


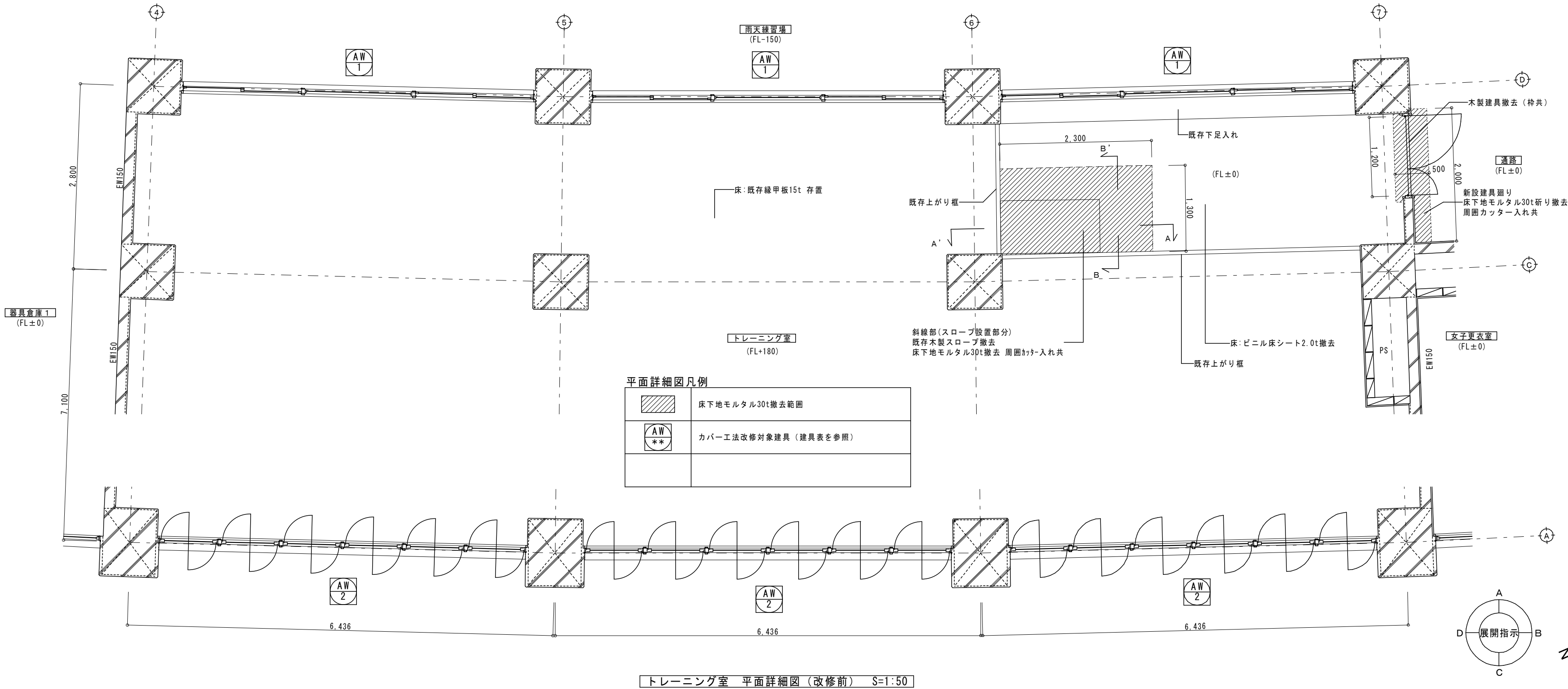
男子ロッカー室 天井伏図 (改修後) S=1:100

■注意事項
・天井開口補強、天井点検口は空調設備の施工者と位置を十分に調整し、監督職員の承認の上で施工すること。

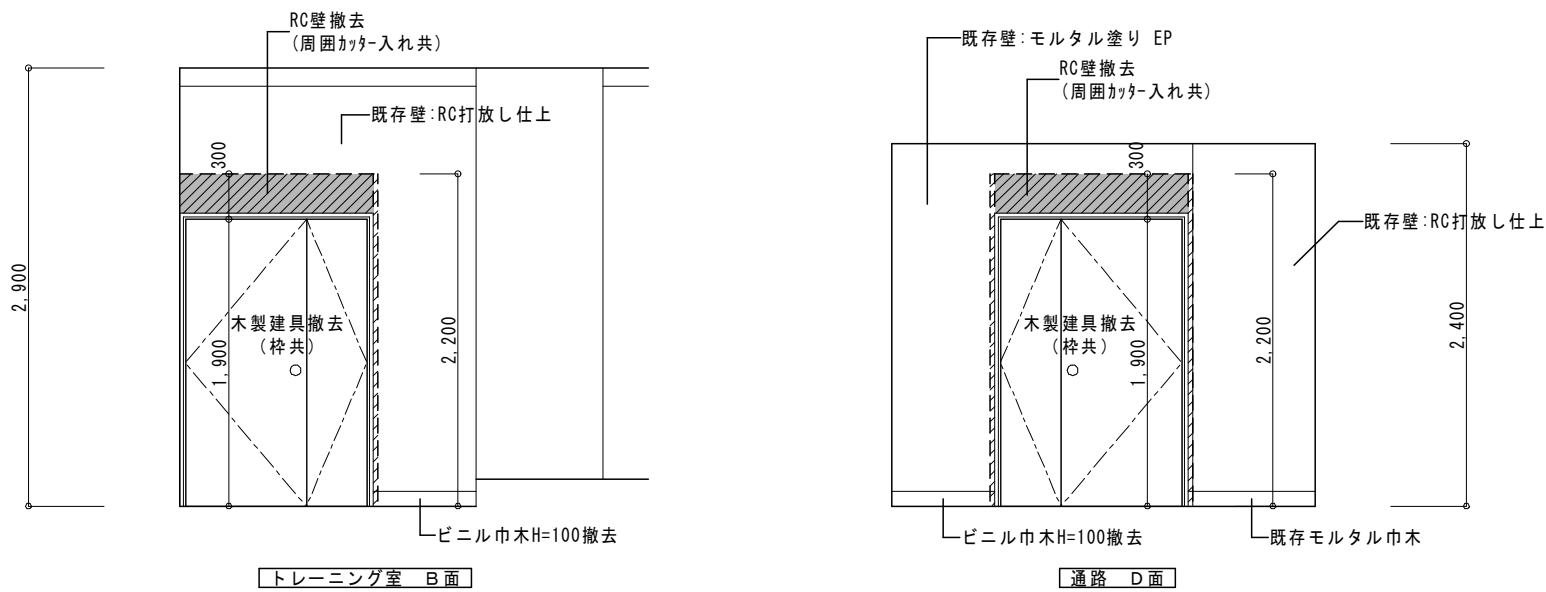


男子ロッカー室 展開図 (改修前) S=1:50

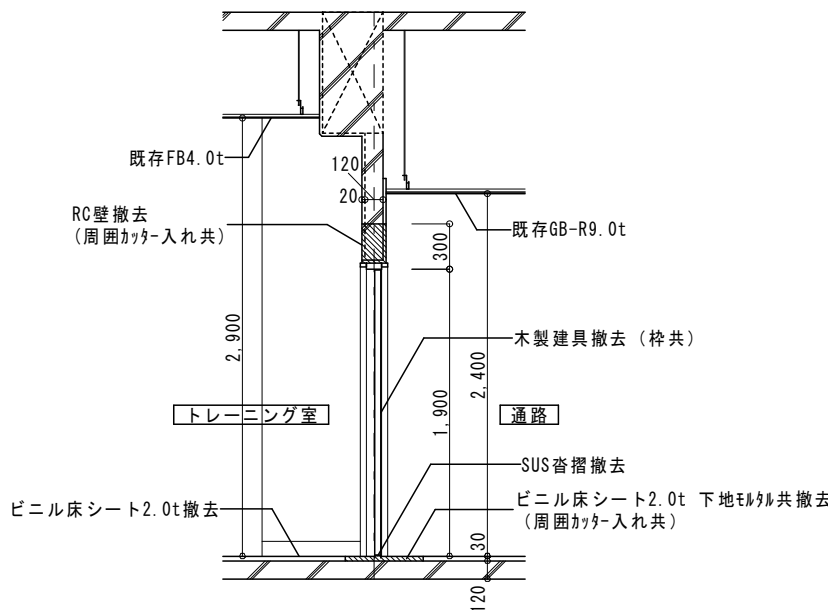




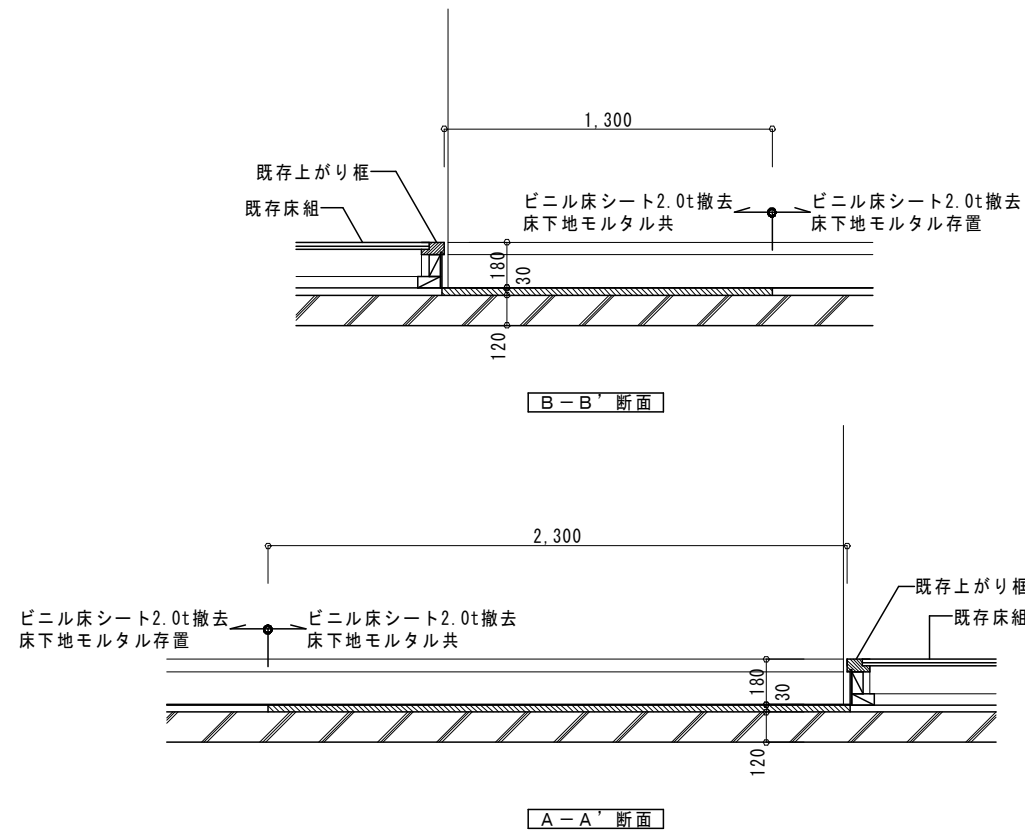
トレーニング室 平面詳細図 (改修前) S=1:50



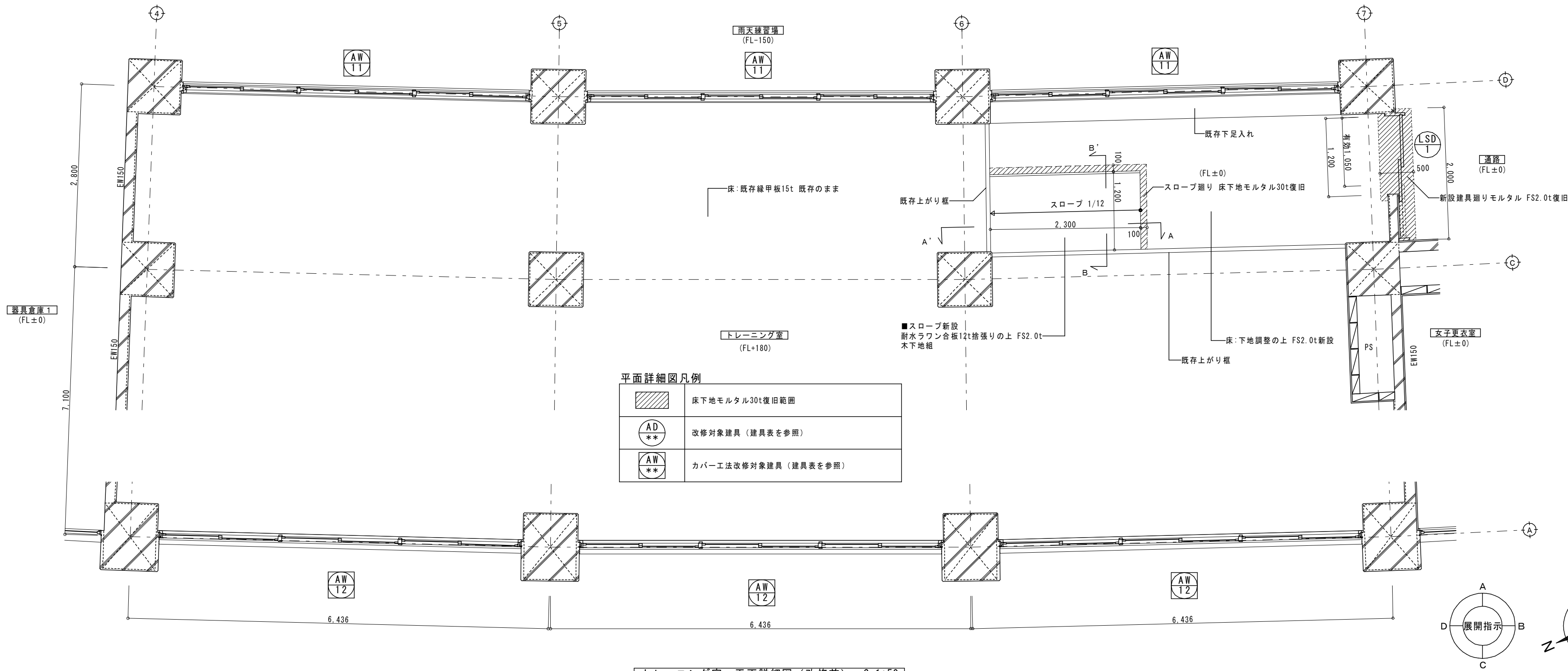
トレーニング室・通路 展開図 (改修前) S=1:50



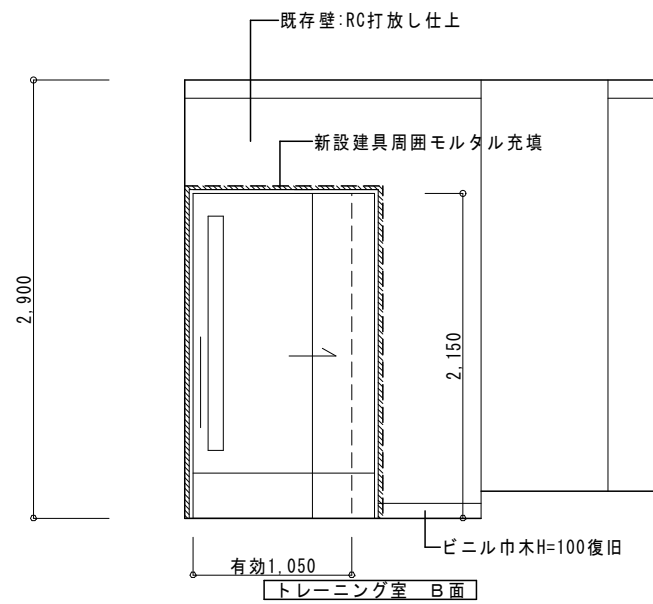
トレーニング室出入口 断面詳細図 (改修前) S=1:50



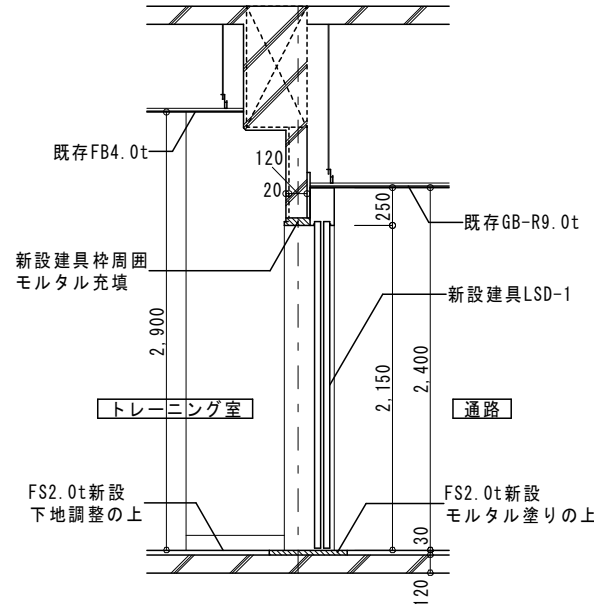
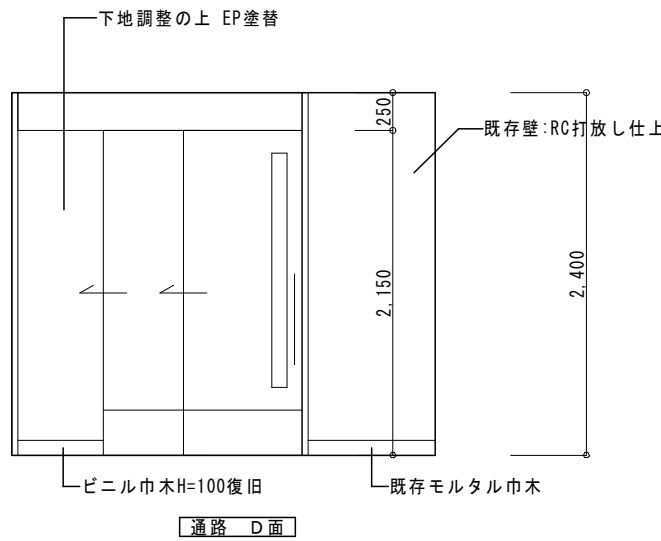
スロープ 断面詳細図 (改修前) S=1:30



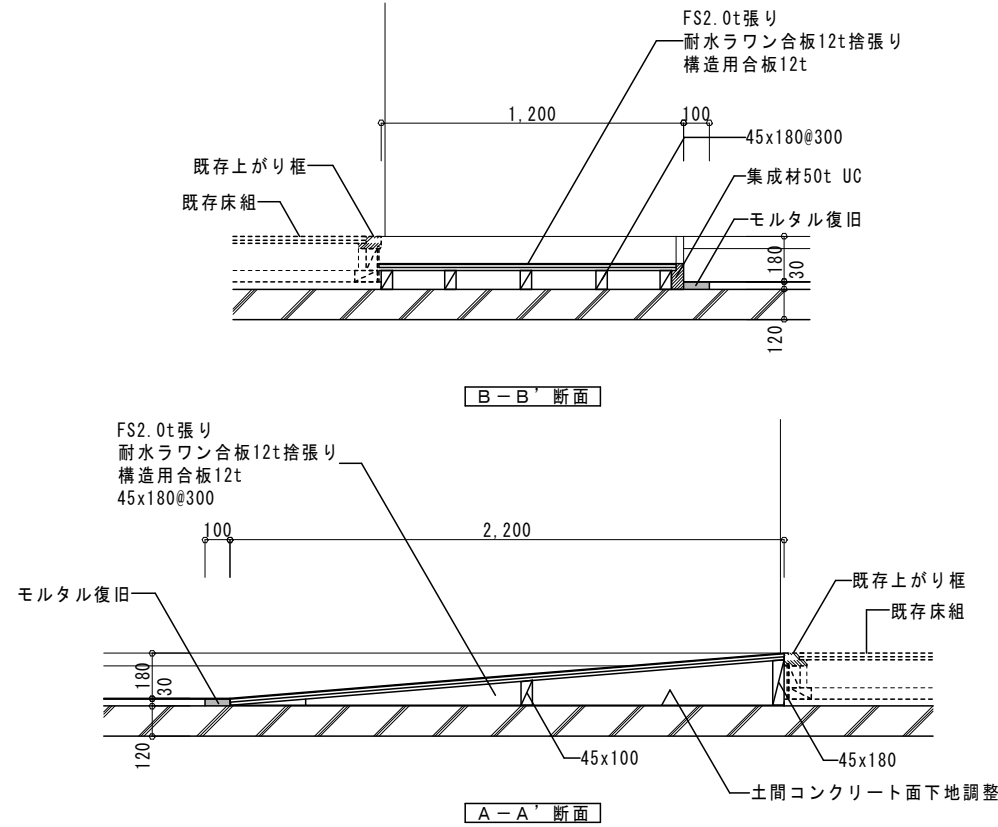
トレーニング室 平面詳細図 (改修前) S=1:50



トレーニング室・通路 展開図 (改修後) S=1:50



トレーニング室出入口 断面詳細図 (改修後) S=1:50

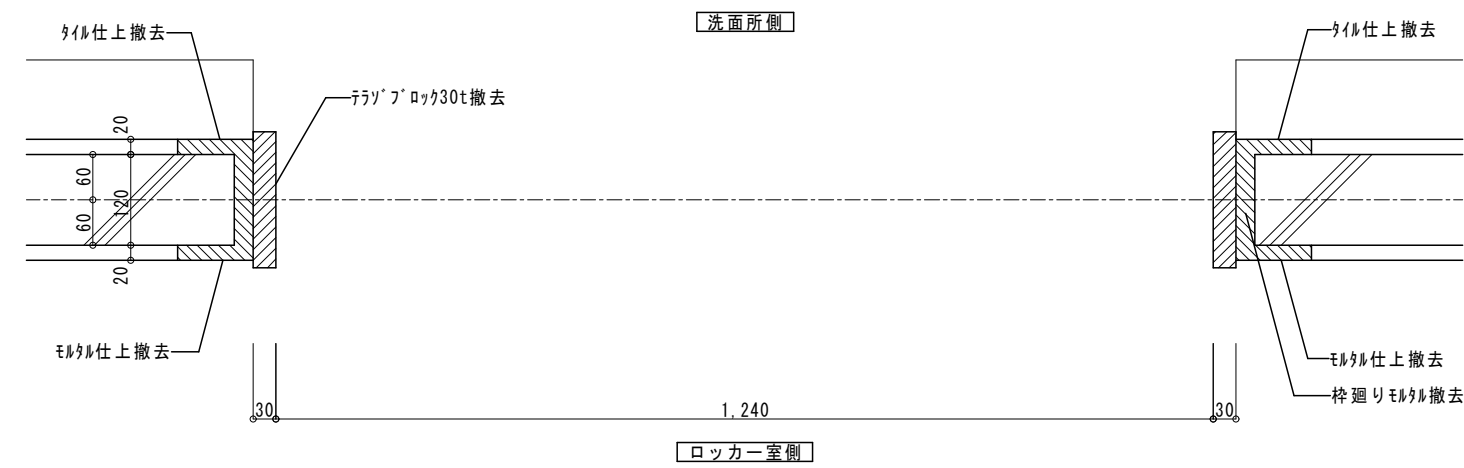


スロープ 断面詳細図 (改修後) S=1:30

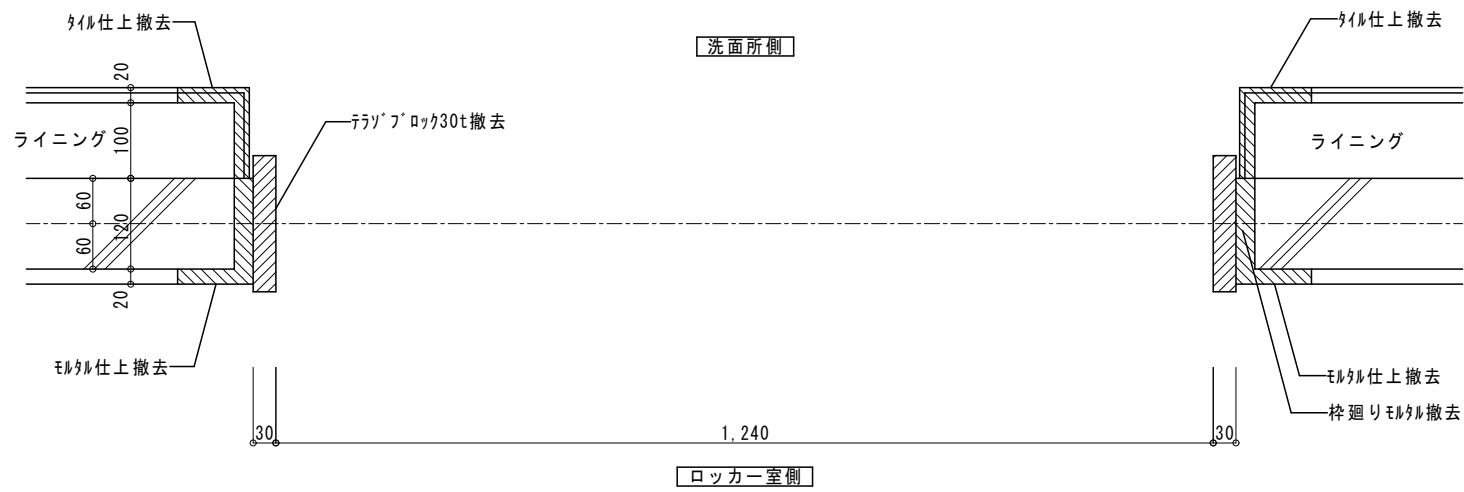
符号・数量	AD1 片引きハンガードア2箇所	AD2 片引きハンガードア2箇所			
姿 図					
型式・見込	RC枠（外付）・235	RC枠（外付）フラッシュ戸・38			
材質・仕上	アルミ・BC-2	アルミ・BC-2			
ガ ラ ス	型板強化ガラス4mm	型板ガラス4mm			
建具金物	SUS把手/ガイドローラー/指はさみ防止ゴム	SUS把手/シリコン錠(室内側 空錠)/ガイドローラー/指はさみ防止ゴム			
	アルミ額縁/SUSキックPL(H=300)/他付属金物一式	他付属金物一式			
備 考		有効寸法を可能な限り広くとれるように調整すること			
符号・数量	AW1 【撤去】引違い窓 + FIX窓 + 引違い窓	AW11 【カバー新設】引違い窓（3連窓）3箇所			
改修前		改修後			
型式・見込	RC枠・70	ALC枠（カバー工法）・100			
材質・仕上	アルミ	アルミ・BB-2			
ガ ラ ス	FL3 撤去	強化ガラス4mm + 乾燥空気層6mm + 透明ガラス4mm			
建具金物	撤去	クレセント/網戸/アルミ化粧カバー（水切り取り合い・額縁取り合い）			
		他付属金物一式			
備 考	枠存置/障子・方立撤去	実測の上で寸法を調整すること			
符号・数量	AW2 【撤去】縦軸回転窓（6連窓）	AW12 【カバー新設】引違い窓 + ランマ外倒し窓（3連窓）3箇所			
改修前		改修後			
	・トレーニング室 令126条の2 排煙設備の検討:0.861×0.305×6×3か所=4.72㎡≥3.89㎡・・・OK ※既存建物竣工図より	・トレーニング室 令126条の2 排煙設備の検討:1.7×0.3×3×3か所=4.59㎡≥3.89㎡・・・OK 開口部寸法は小数点第2位を切り捨て、不利側で計算。 排煙有効寸法はR7国営995号により、天井高さ2.6m超として計算。 ・排煙オペレーターの操作部分はFL+1,500mm以下に設けること。			
型式・見込	RC枠・70	ALC枠（カバー工法）・100			
材質・仕上	アルミ	アルミ・BB-2			
ガ ラ ス	PW6.8 撤去	強化ガラス4mm + 乾燥空気層6mm + 透明ガラス4mm（ランマ共）			
建具金物	撤去	クレセント/網戸/排煙オペレーター/アルミ化粧カバー（水切り取り合い・額縁取り合い）			
		他付属金物一式			
備 考	枠存置/障子・方立撤去	実測の上で寸法を調整すること			

符号・数量	LSD 1 2重引きハンガードア（自閉式）1箇所				
姿 図					
型式・見込	軽量鋼製フラッシュ戸・枠見込330 扉厚40				
材質・仕上	扉:化粧鋼板 枠:溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP				
ガラス	強化ガラス5mm				
建具金物	SUS引棒/シンカ-錠(室内側 空錠)/エンドストップ-/SUSキックPL(H=300)				
備考	指はさみ防止ゴム/他付属金物一式				
符号・数量	SB 1 自由開き戸（シャワーブースドア）11箇所	TB 1 トイレブース1箇所	TB 2 トイレブース1箇所	TB 3 トイレブース1箇所	
姿 図					
型式・見込	フラッシュ(発泡樹脂芯材)・40				
材質・仕上	高圧メラミン化粧板				
ガラス	-				
建具金物	SUS自由丁番				
備考	他付属金物一式				
備考	既存ブースに合わせて寸法を調整すること				
符号・数量					
姿 図					
型式・見込		フラッシュ(ペーパーハニカムコア)・40	フラッシュ(ペーパーハニカムコア)・40	フラッシュ(ペーパーハニカムコア)・40	
材質・仕上		高圧メラミン化粧板(アルミエッジ)	高圧メラミン化粧板(アルミエッジ)	高圧メラミン化粧板(アルミエッジ)	
ガラス					
建具金物		グレ-ティエンジ-/表示付スライ-ラッチ/スライク/サ-ト/非常解戸当り	グレ-ティエンジ-/表示付スライ-ラッチ/スライク/サ-ト/非常解戸当り	グレ-ティエンジ-/表示付スライ-ラッチ/スライク/サ-ト/非常解戸当り	
備考		帽子掛け戸当り	帽子掛け戸当り	帽子掛け戸当り	
備考		ベビーチェア・紙巻器下地補強	ベビーチェア・紙巻器下地補強	紙巻器下地補強	

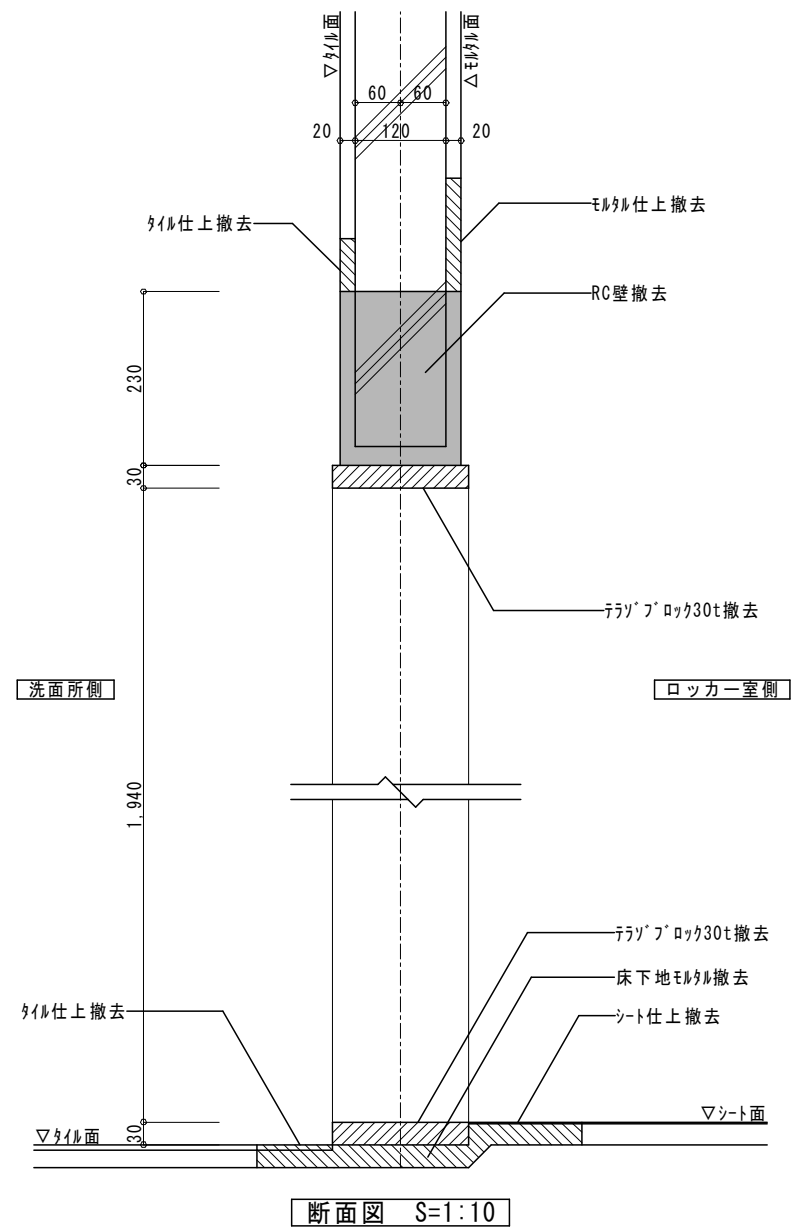
AD-1部分詳細図（改修前）



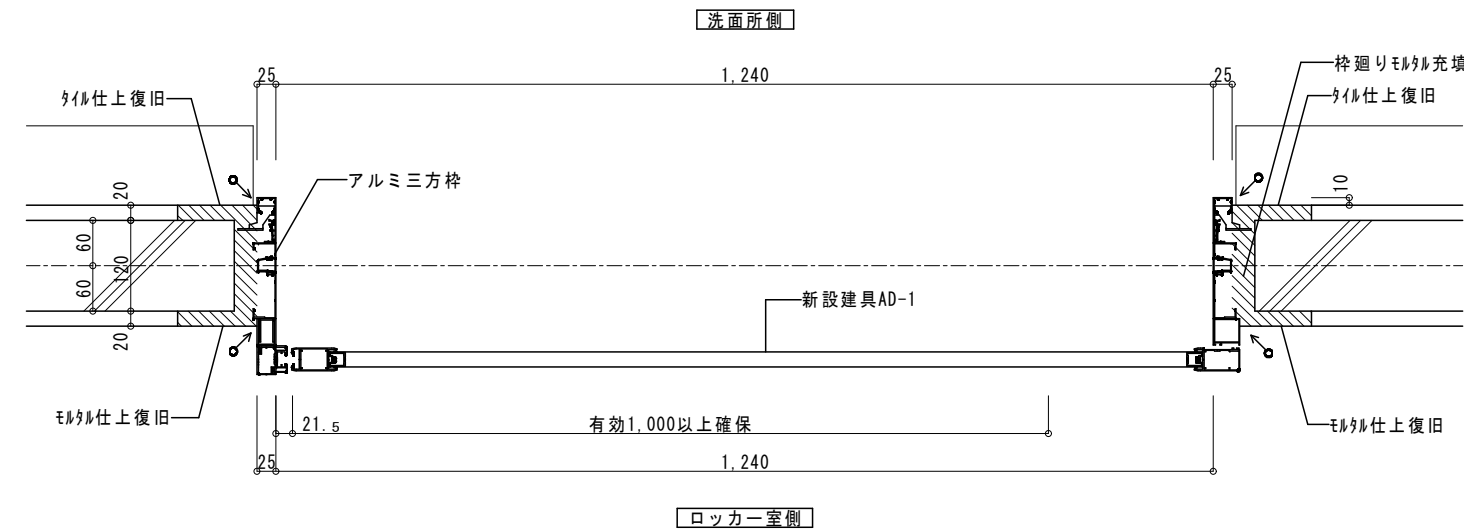
平面図（上部） S=1:10



平面図（下部） S=1:10



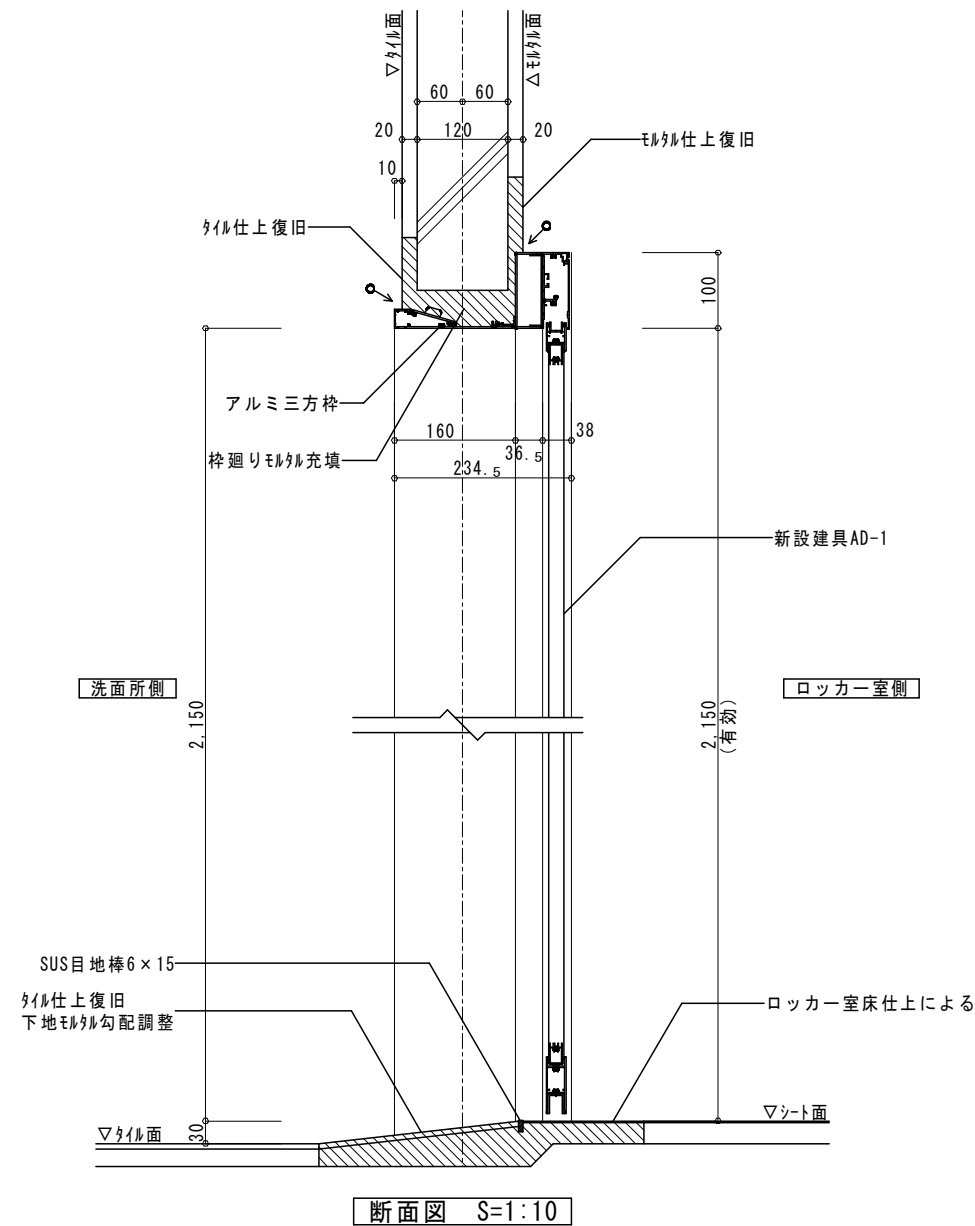
AD-1部分詳細図（改修後）



平面図（上部） S=1:10



平面図（下部） S=1:10

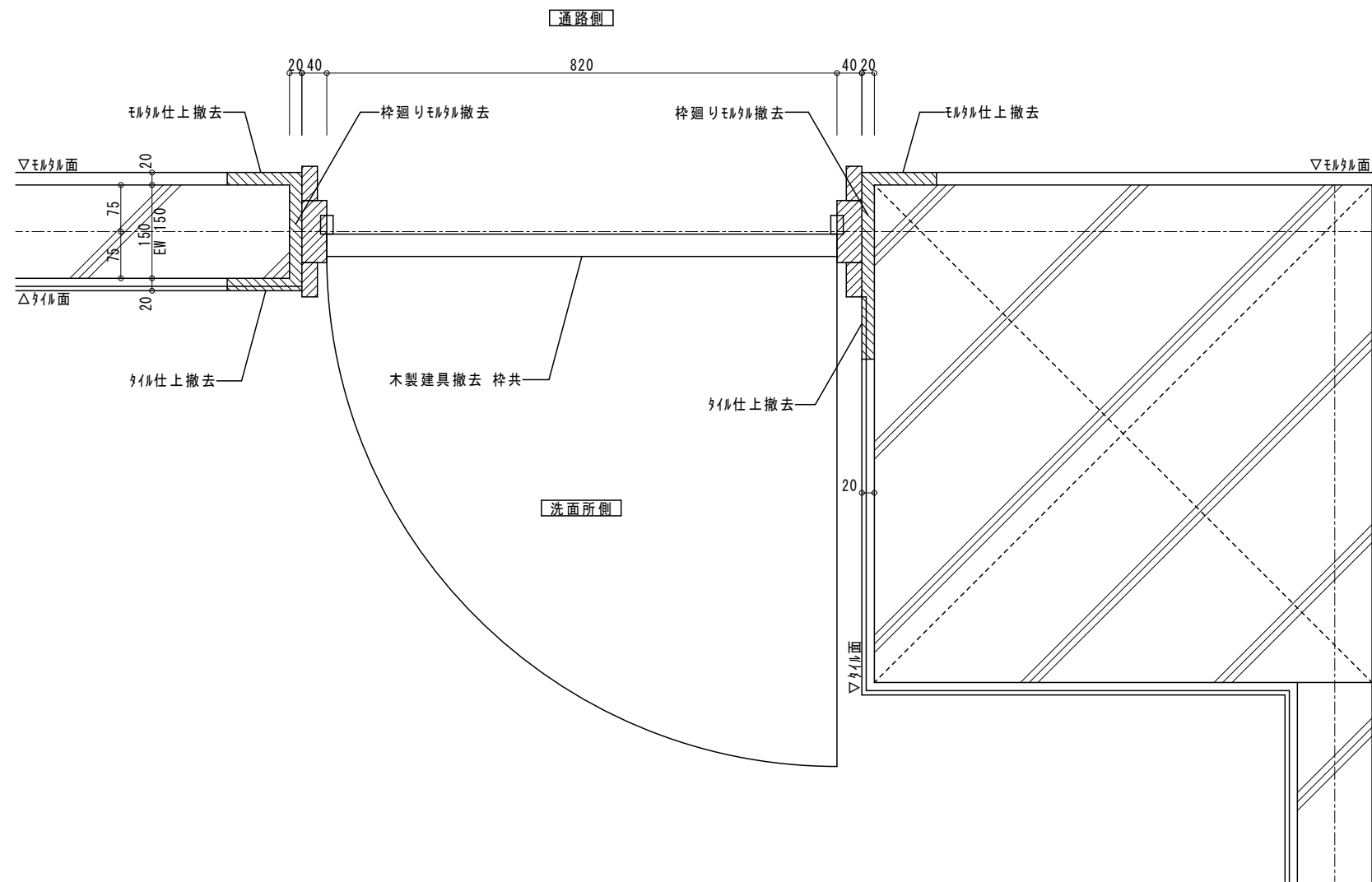


凡例

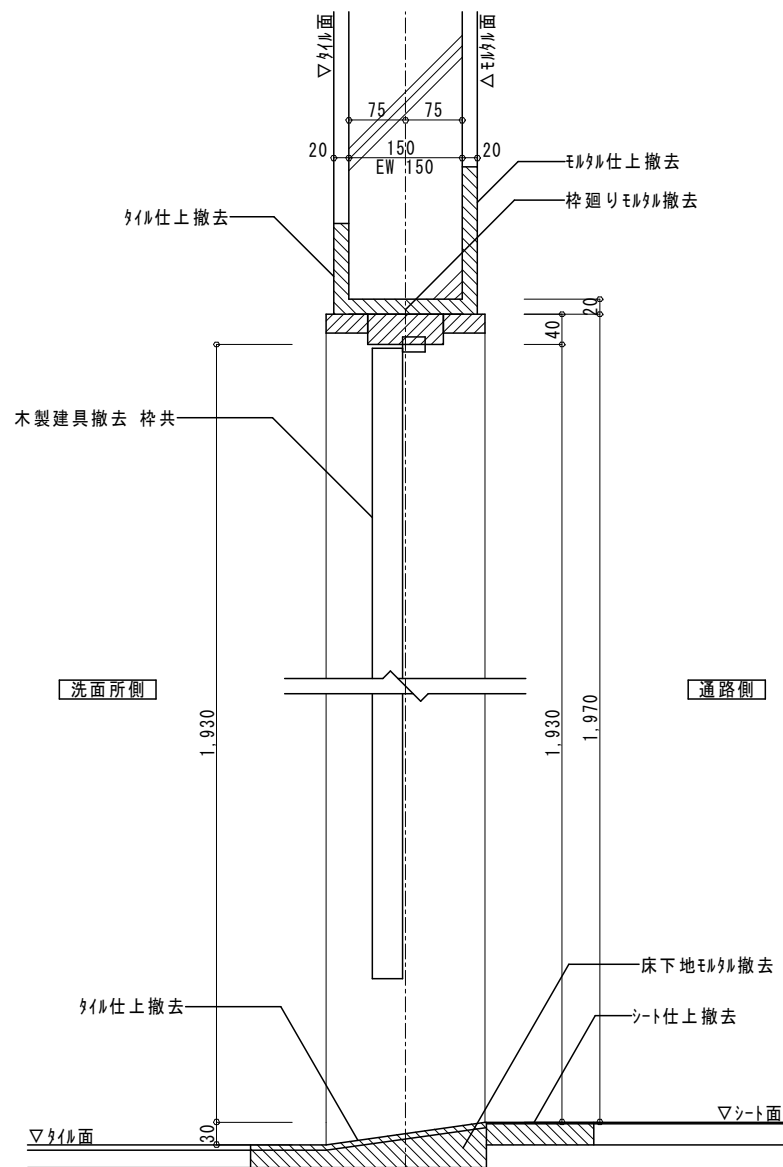
○→ シーリング 10×10を



AD-2部分詳細図（改修前）

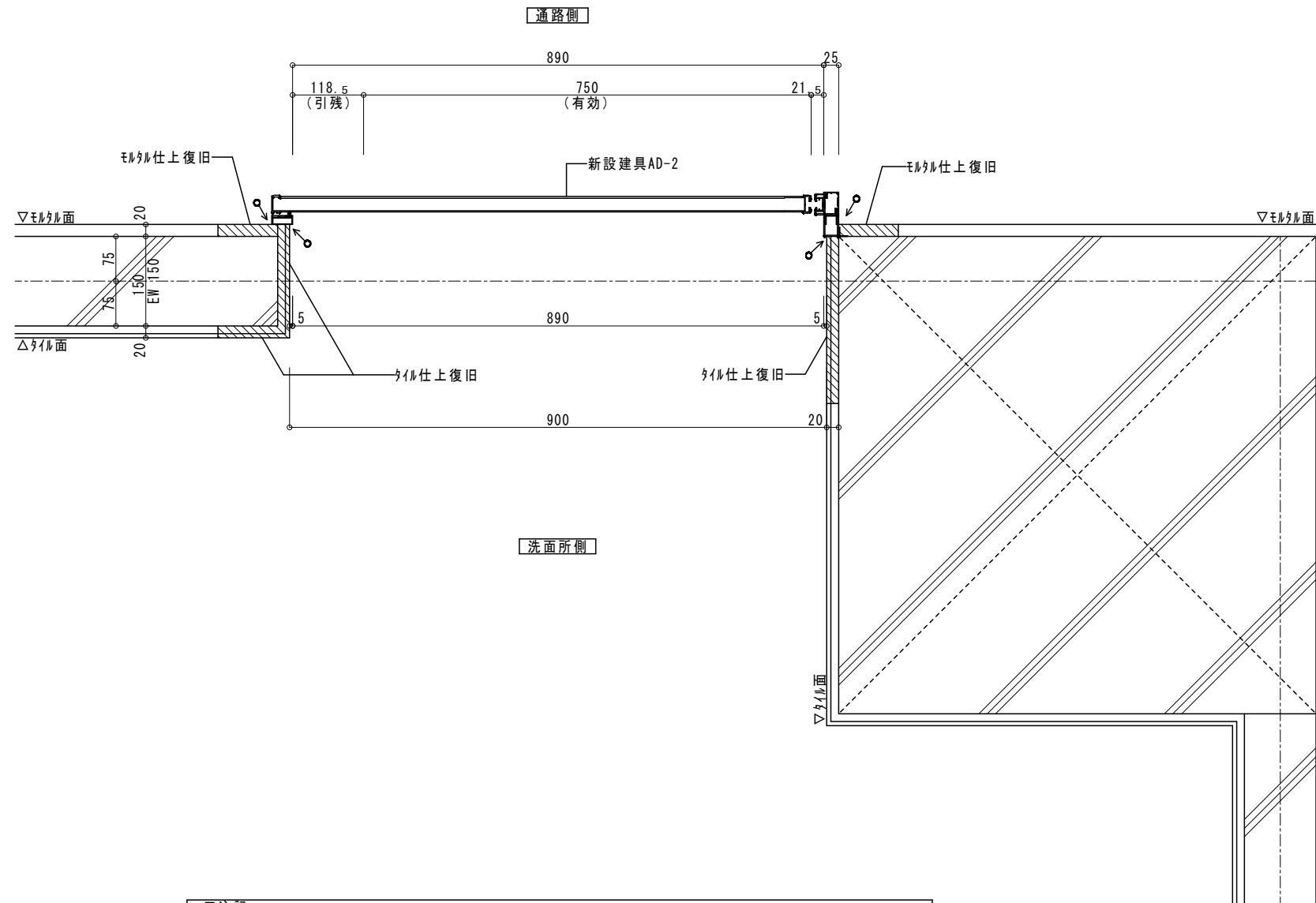


平面図 S=1:10



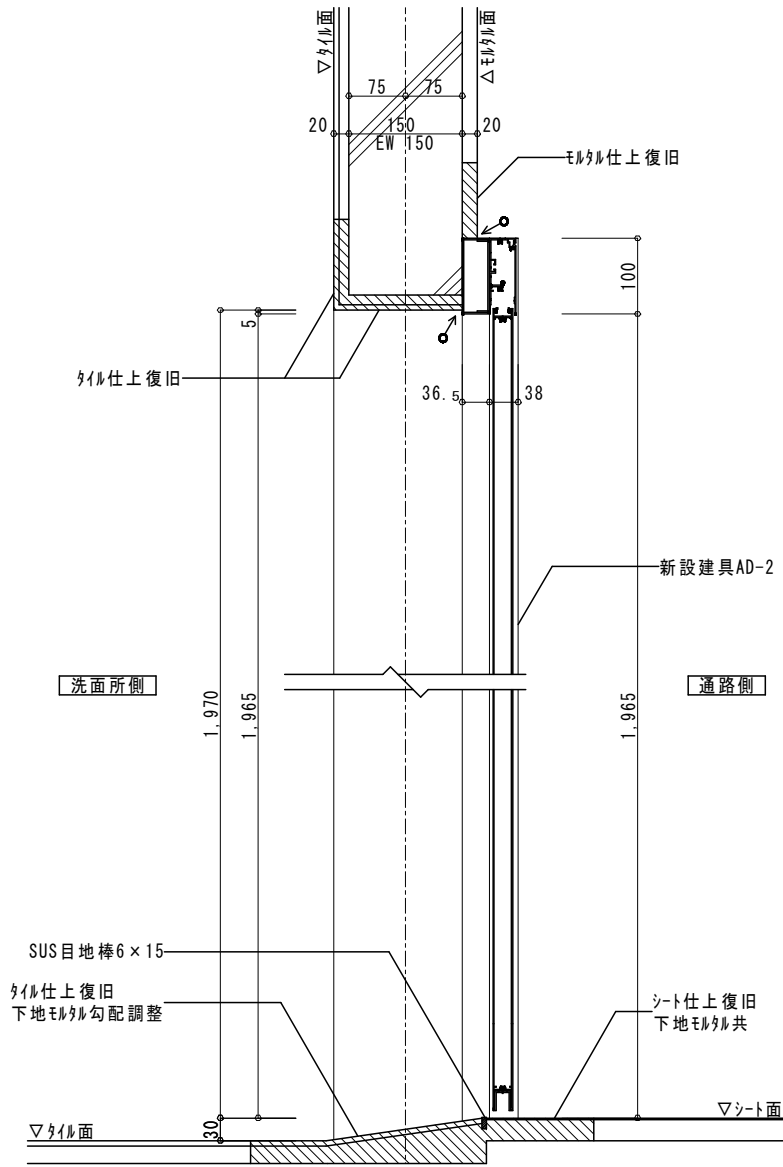
断面図 S=1:10

AD-2部分詳細図（改修後）



■注記
・建具枠周囲は耐力壁（EW150）のため、損傷しないように注意して施工すること。
・既存建具枠撤去時に壁仕上の厚さを調査し、有効開口寸法ができる限り大きくするよう調整すること。

平面図 S=1:10



断面図 S=1:10

凡例

○→ シーリング 10×10を指示



F-1

木製ロッカー

計9ヶ所

女子ロッカー室・男子ロッカー室

F-1a：1か所

平面図 S=1:30

≒560

≒6,560

2,000

1,000

1,000

2,000

2,000

F I X

446

正面姿図 S=1:30

F-1b：1か所
F-1e：1か所

※（ ）寸法はF-1eを示す

平面図 S=1:30

2,500 (≒2,300)

2,000

1,000

1,000

500 (≒300)

446

正面姿図 S=1:30

F-1c：4か所

平面図 S=1:30

4,000

2,000

1,000

1,000

2,000

446

正面姿図 S=1:30

F-1d：1か所

平面図 S=1:30

≒3,220

2,500

1,000

1,500

≒720

446

452

F I X

正面姿図 S=1:30

F-1f：1か所

平面図 S=1:30

≒6,510

6,000

2,000

2,000

1,000

2,000

1,000

≒510

446

正面姿図 S=1:30

集計表

	室名	W寸法	数量
F-1a	女子ロッカー室	≒6560	1
F-1b	女子ロッカー室	2500	1
F-1c	女子ロッカー室	4000	2
	男子ロッカー室	4000	2
F-1d	男子ロッカー室	≒3220	1
F-1e	男子ロッカー室	≒2300	1
F-1f	男子ロッカー室	≒6510	1

■注記
・壁や他の家具との間に隙間が極力生じないよう、
現地実測の上で幅寸法を調整すること。

本体 県産杉三層クロスラミナパネル36t
両面化粧材使用 UC塗り(三分つや)

化粧背板 杉無垢フローリング15t
UC塗り(三分つや)

背板 ポリ合板4.0t

台輪 ポリ合板4.0t

A断面図 S=1:30

背板 ポリ合板4.0t

B断面図 S=1:30

有限会社 保木本設計

一級建築士事務所
鳥取県知事登録第883号

一級建築士登録 第139287号
管理建築士 保木本 啓一

CHECK DESIGN DRAW

PROJECT NO

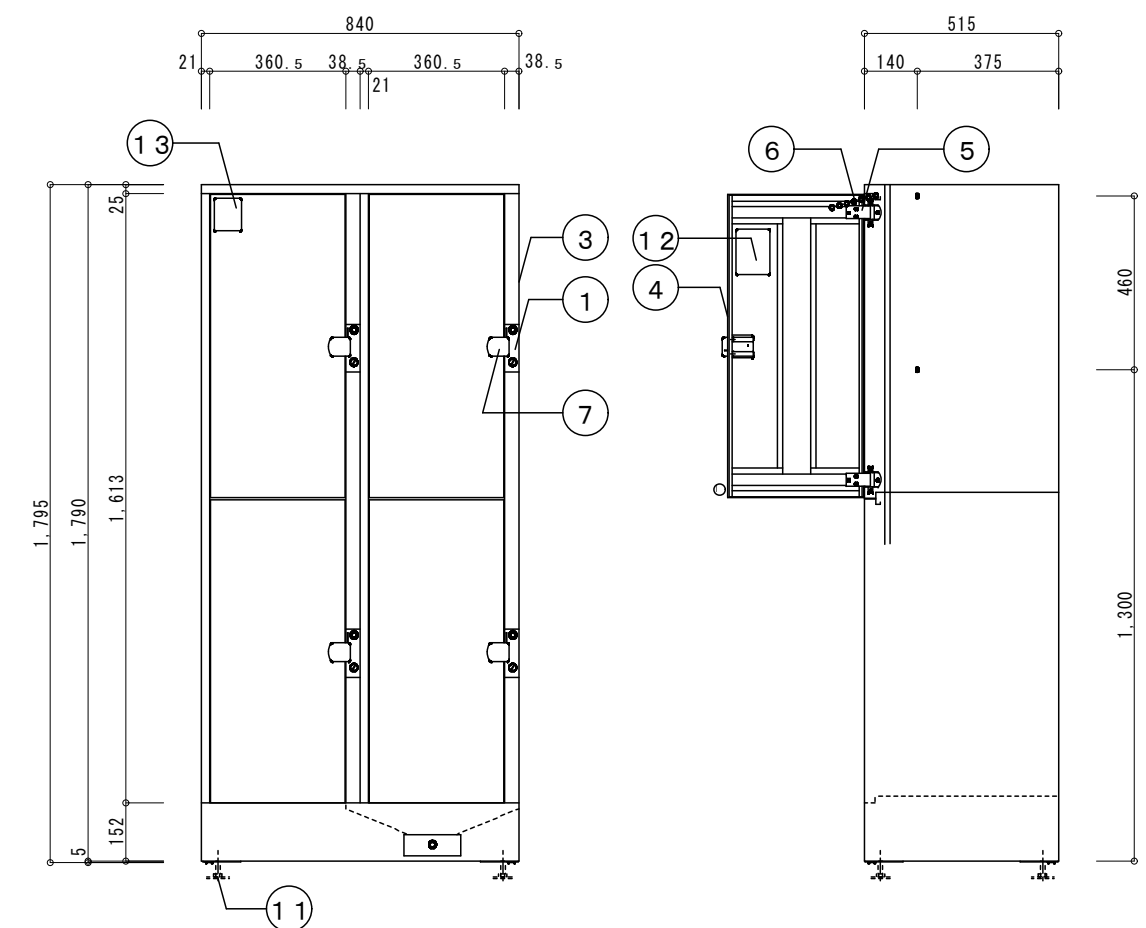
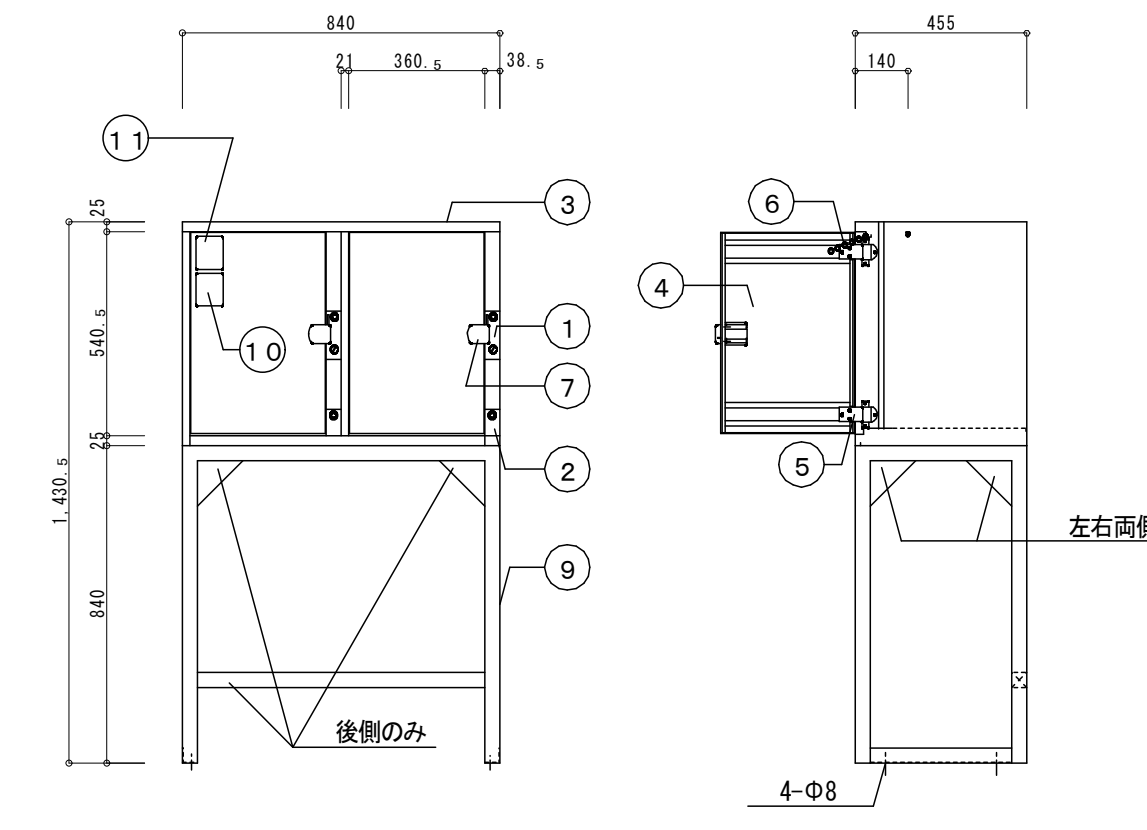
TITLE
ヤマタススポーツパーク陸上競技場ロッカー室改修ほか工事

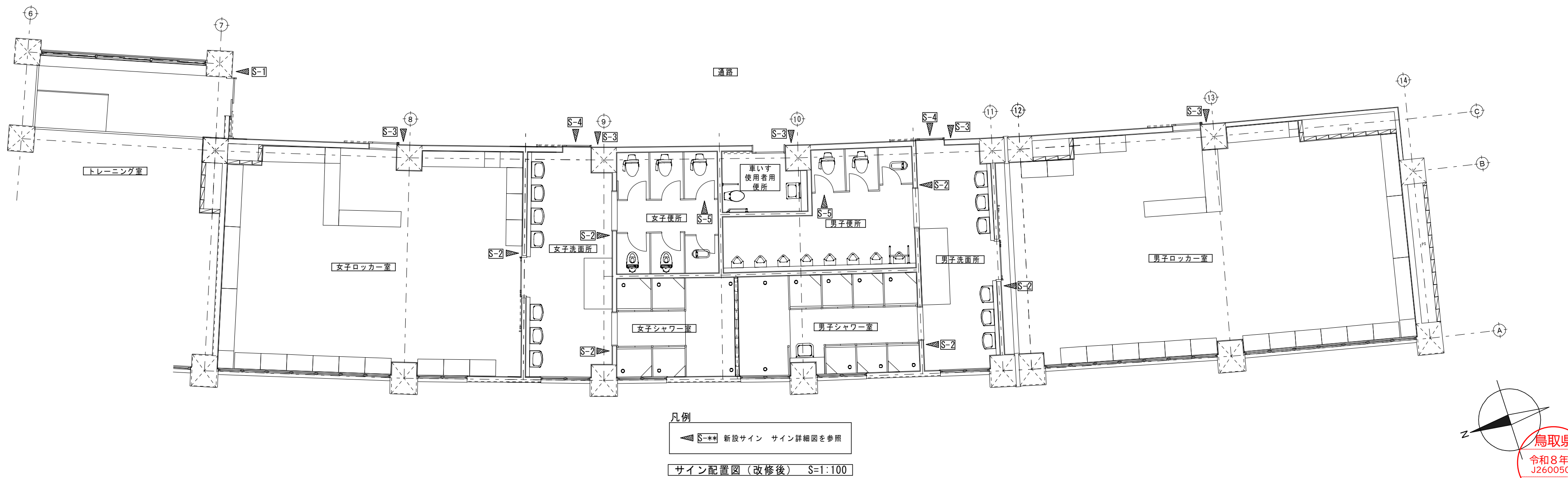
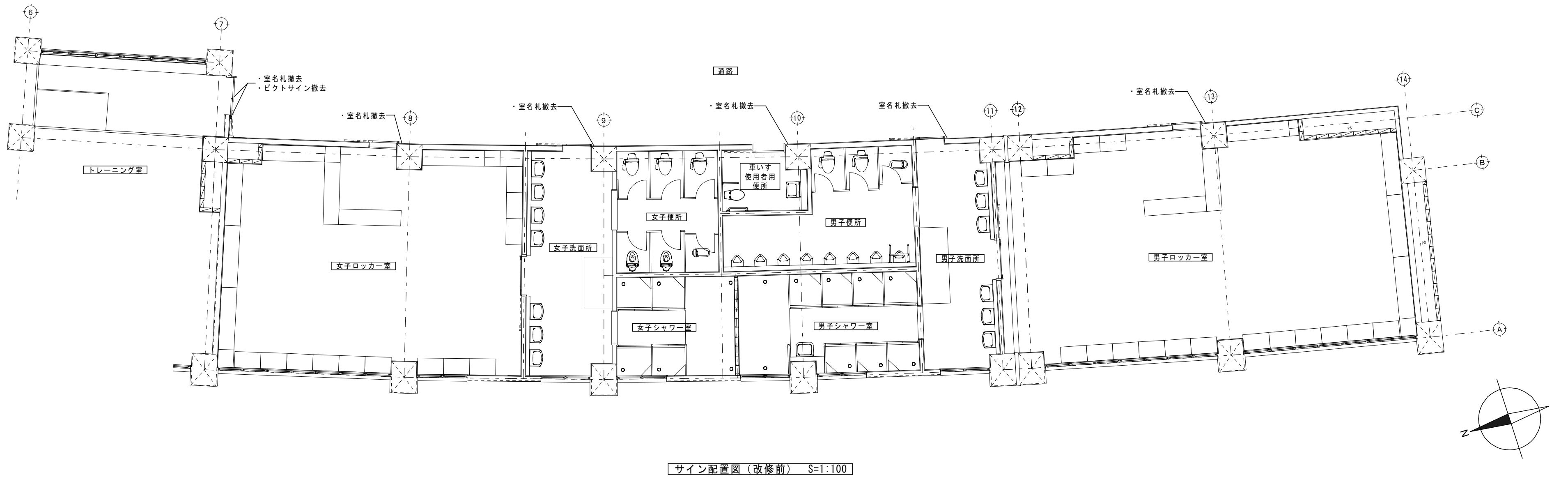
DRAWING NAME
家具詳細図（1）

SCALE
1:30
A3印刷時70.7%縮小

NO
A-21

鳥取県
令和8年度
J2600500
東部建築住宅
事務所

F-2	コインロッカー	計 2 1ヶ所	女子ロッカー室・男子ロッカー室		F-3	コインロッカー（車椅子利用者用）	計 7ヶ所	女子ロッカー室・男子ロッカー室		
集計表					集計表					
室 名		数量			室 名		数量			
女子ロッカー室		9			女子ロッカー室		3			
男子ロッカー室		1 2			男子ロッカー室		4			
										
正面姿図 S=1:20					正面姿図 S=1:20					
側面姿図 S=1:20					側面姿図 S=1:20					
符号				部 品 名 称	材 料		数量	備考		
1				ケーシング	SUS, 他		4			
2										
3				ロッカー本体	SPCC, SECC t0.7~t1.0		1	指定色塗装		
4				扉	SPCC, SECC t 1.0他		4	木目調 塩ビ シート貼り		
5				蝶番	SPCC t1.6他		8	メッキ		
6				ドアチェーン	SUS		4			
7				把手	ABS相当		4			
8										
9										
10										
11				アジャスターボルト	SS及びSPCC		4	メッキ		
12				閉じ込め防止ステッカー	フィルム		4			
13				転倒防止ステッカー 2	フィルム		1			
■注記										
・施錠はコインリターン式(100円硬貨使用)とすること。										
・手に触れる部位にはシャープエッジ等除去すること。										
・間口寸法（ヒンジ高さ・横仕切り棚奥行きより（扉含まず））										
W345×D484×H775（上段） H772(下段)										
・⑪部品はオプションとする。										
符号				部 品 名 称	材 料	表面処理	数量	備考		
1				ケーシング	SUS, 他		2			
2				コインボックス	SUS, 他		2			
3				ロッカー本体	SPCC, SECC t0.7~t1.0		1	指定色塗装		
4				扉	SPCC, SECC t 1.0他		2	木目調 塩ビ シート貼り		
5				蝶番(ストッブタイプ)	SPCC t1.6他		4	メッキ		
6				ドアチェーン	SUS		2			
7				把手	ABS相当		2			
8										
9				ラック	スチール 角パイプ		1	指定色塗装		
10				頭上注意ステッカー	フィルム		1			
11				転倒防止ステッカー 2	フィルム		1			
■注記										
・施錠はコインリターン式(100円硬貨使用)とすること。										
・手に触れる部位にはシャープエッジ等除去すること。										



S-1	平付型ピクトサイン（大）	1 か所	S-2	平付型ピクトサイン（小）	6 か所	S-3	側面型ピクトサイン	5 か所
平面図 S=1:2 正面姿図 S=1:3 断面図 S=1:2 フレーム：アルミ型材 アルマイト仕上 ベース：アルミ型材 アルマイト仕上 表示基盤：アルミ型材 アルマイト仕上 UV印刷（ピクト 白色）			平面図 S=1:2 正面姿図 S=1:3 断面図 S=1:2 フレーム：アルミ型材 アルマイト仕上 ベース：アルミ型材 アルマイト仕上 表示基盤：アルミ型材 アルマイト仕上 UV印刷（ピクト 白色）			平面図 S=1:2 正面姿図 S=1:3 取付ビス位置 フレーム：アルミ型材 アルマイト仕上 ベース：アルミ型材 アルマイト仕上 表示基盤：アルミ型材 アルマイト仕上 UV印刷（ピクト 白色）		
S-4	建具サイン	2 か所	S-5	個室サイン	2 か所	■サイン特記仕様 [1]使用材料 a. 木材：VOC商品（ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応） b. アルミ：JIS-H4100 A-6063 S-T5（アルミ押出型材） c. アクリル：JIS-K-6718-1（キャスト板）、JIS-K-6718-2（押出板） d. ステンレス：JIS-G4305 SUS304、HL仕上 [2]フォント a. 書体については、丸ゴシックは「BIZ UD 新丸ゴ」、角ゴシックは「BIZ UD 新ゴM」を基準とする。 ※ただし、監督職員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。 [3]ピクトグラム a. 図柄については、原稿を作成し監督職員の承認を受けること。 [4]ユニバーサルデザイン a. ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。 b. 多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているCUD賛助会員による製作を推奨する。 [5]取付位置・方法 a. 取付位置については、視認性を考慮し監督職員と協議の上決定する。 b. 取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。 c. 障害者用サインについては、鳥取県福祉のまちづくり条例に基づき、監督職員と協議の上決定する。 [6]その他 a. 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。 又、室名札脱着の際には スライドロック機構、専用吸盤などを利用し 商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様を推奨する。 b. サイン計画については、当施設他工事と十分に調整協議をすること。 c. コントラストに配慮し、視認性の向上を図ること。		
正面姿図 S=1:15			正面姿図 S=1:2					
有限会社 保木本設計			一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号 一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一 CHECK DESIGN DRAW PROJECT NO TITLE ヤマタスポーツパーク陸上競技場ロッカー室改修ほか工事 DRAWING NAME サイン詳細図（改修後） SCALE 1:2,3,15 A3印刷時70.7%縮小 NO A-24					



電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所

鳥取市布勢

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	陸上競技場	RC一部S造	3	7,658.38	(1) 項 イ	改修
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	
6					() 項	

3 工事種目

(● 印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	6	備考
● 電 灯 設 備	○							
● 動 力 設 備								
● 電 熱 設 備								
● 雷 保 護 設 備								
● 受 変 電 設 備								
● 電 力 貯 蔵 設 備								
● 発 電 設 備								
● 構内情報通信網設備								
● 構内交換設備								
● 情報表示設備								
● 映像・音響設備	通							
● 拡声設備	信	○						
● 誘導支援設備	情							
● テレビ共同受信設備	報							
● 監視カメラ設備	設							
● 駐車場管制設備								
● 防犯・入退室管理設備								
● 火災報知設備		○						
● 中央監視制御設備								
● 医療関係設備								
● 構内配電線路								
● 構内通信線路								
● テレビ電波障害防除設備								
● 機械設備工事								
● 建築工事								

4 設備概要

(本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

● の付いたものを適用する。

	項 目	特 記 事 項
電 灯 設 備	● 電 気 方 式 ● 非 常 用 照 明 器 具 ● 誘 導 灯	幹線 ● 単相3線式100／200V ● 直流2線式100V 分岐 ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 直流2線式100V 光源 ● LED ● 蛍光灯 ● 白熱灯 ● 電 源 ● 電池内蔵形 ● 電源別置形 ● 避難口 ● 階段通路 ● 廊下通路 ● 室内通路
動 力 設 備	● 電 気 方 式	幹線 ● 三相3線式200V ● 単相2線式200V ● 単相3線式100／200V 分岐 ● 三相3線式200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V)
雷保護設備	● 受 雷 部 ● 避 雷 導 線 ● 接 地 極	● 突針 ● 棟上け導体 ● その他金属体 () ● 建築構造体利用 ● 引下げ導線 ● 建築構造体利用 ● 接地極埋設
受 変 電 設 備	● 電 気 方 式 ● 契 約 電 力 ● 設 備 方 式 ● 機 器 類	高圧 三相3線式 6. 6kV 低圧 ● 三相3線式200V ● 単相3線式100／200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) 改修工事 既存設備 ● kW 新営工事 ● 100kW未満 ● 100kW以上500kW未満 ● 500kW以上 ● 屋内形 ● 屋外形 ● キュービクル式配電盤 (● PF形 ● CB-1形 ● CB-2形) ● 高圧スイッチギア、変圧器盤 (CB-3形) 変圧器 三相 kVA、単相 kVA ● 油入 ● モールド 主遮断器 ● 限流ヒューズ ● VCB

II. 特記仕様

1 一般事項

(1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち●印の付いたものによる。
● 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和7年版) (以下、「標準仕様書」という。)
● 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和7年版) (以下、「改修標準仕様書」という。)
● 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (令和7年版) (以下、「標準図」という。)
(2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針 (令和7年版) 」 (以下「監理指針」という。) を適用する。
(3) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

(1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は ● の付いたものを適用する。
● の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。 ● と ⊗ の付いた場合は共に適用する。
(3) 一般共通事項のうち (1. 2. 4. 8. 9. 11. 12. 13. 14. 15. 35) 項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。

	項 目	特 記 事 項
一 般 共 通 事 項	1 官 公 署 そ の 他 へ の 手 続 2 電 気 保 安 技 術 者 ● 電 気 工 事 士 4 工 事 安 全 計 画 書 等 ● 発 生 材 の 分 析 及 び 処 理	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査に必要な資機材、労務を提供する。 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、電気主任技術者の業務を補佐する監督職員の指示に従い、当該現場における電気工作物の保安業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、事業用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● PCB使用機器 ● アスベスト含有設備資機材 (●)) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り

⑥ 機 材 等

⑦ 機 材 の 品 質 ・ 性 能 証 明

8 施 工 図 等

9 完 成 写 真 等

⑩ 完 成 図 等

11 他 工 事 と の 取 合 い

12 工 事 用 電 力 ・ 水 ・ そ の 他

13 表 示 板

14 足 場

本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。
また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ. 機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。
なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
使用する機材がⅢ. 機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 令和5年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。

区 分	分類・規格	撮影箇所	部 数	電子データの提出
工 事 写 真	カラー	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	※ 要 ● 不要
完 成 写 真	カラー	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	※ 要 ● 不要

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区 分	名 称	部 数
※ 完成図原図	完成図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ	※ 2部 ● 部
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 ● 施工図 ● 施工図 (縮小版)	※ 2部 ● 部
※ 完成図書	※ 完成図 (縮小版) ※保証書 (写し) ※ A 4版市販ファイル ※ 主要機器図 ※ 官公署届出書類 (写し) ※ A 4版黒表紙製本 ※ 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 A 4版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1 部
※ 官公署届出書類		1 部
※ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。		

他 工 事 と の 取 合 い		電気設備	機械設備	建 築
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補 強 スリーブ・箱入	● ●	※ ●	● ●
● 鉄骨造の開口及び補強		● ●	※ ●	● ●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (くぎ処理共)		※ ●	● ●	● ●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※ ●	● ●	● ●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠 補 強	※ ● ●	※ ● ●	● ●
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		● ●	● ●	※ ●
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切 り 込 み 補 強	※ ● ●	※ ● ●	● ●
● 自動閉閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		● ●	※ ●	● ●
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット (蓋を含む)		● ●	※ ●	● ●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ●	※ ●	● ●
● 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線		● ●	※ ●	● ●
● テレビアンテナ	基 礎 アンカーボルト	● ● ●	※ ● ●	● ● ●
● 天井点検口		● ● ●	※ ● ●	● ● ●
● 自立型制御盤の基礎		※ ● ●	● ● ●	● ● ●
● 機器類のコンクリート基礎	屋 内 ・ 屋 外 設 置 屋 上 設 置	※ ● ●	● ● ●	● ● ●

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一緒に表示する。)

※ 工事表示板

● お願ひ表示板

1. 200

900

1. 600

1. 200

建 築 工 事 中

工事名 ○○○○○○新築工事
構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○兩建
延べ面積○○○㎡
工事期間 令和○年○月から○年○月まで
設計者 ○○○○○○設計
監理者 ○○環境建築局建築住宅課
○○○○○設計
施工者 ○○○○○○建設
連絡先電話番号 ○○-○○○○
夜間 ○○-○○○○
現場責任者 ○○ ○○
鳥取県○○総合事務所環境建築局
建築住宅課 ○○担当
連絡先 ○○-○○○○

地色 白
地色 白
地色 白
地色 白
地色 白

御通行中の皆様へ

令和○○年○月工事完成予定
簡単なバス、又は立面図を掲載する
(拡大カラーコピーを張り付けてもよい)
事業の目的
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
現在の進捗率○○%
事業協力をお願い
工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしく申し上げます。
施工者 ○○○○○○建設
連絡先 TEL ○○-○○○○
発注者 鳥取県
連絡先 鳥取県○○総合事務所環境建築局
建築住宅課 ○○担当
TEL ○○-○○○○

地色 白
地色 白
地色 白
地色 白
地色 白

記入要領

1. 書体は角ゴシックとする。
2. お願ひ表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの第11条(手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準)における2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先吊り据え置き方式により行う。

令和8年4月改定版

有限会社 保木本設計

一級建築士事務所
鳥取県知事登録第883号

一級建築士登録 第139287号
管理建築士 保木本 啓一

CHECK DESIGN DRAW PROJECT NO TITLE
ヤマトスポーツパーク陸上競技場ロッカー室改修ほか工事

DRAWING NAME
電気設備工事特記仕様書(1)

SCALE
1: NS
A3印刷時70. 7%縮小

NO
E-01

(山根設計 山根貴志)

一般共通事項	15 工事用仮設物	構内につくことが ※ できる ● できない
	16 土工事	埋め戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()
	① 電線類	建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積 本工事ででは環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 屋外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ[めっき付着量 300g/㎡以上]とする。 塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室 () ● 波付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。
	⑬ 電線本数・管路等	① 金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製 シール等を貼付し、用途を表示する。 ステンレス製ブルボックスの塗装 ※ 無(素地仕上) ● 有(指定色仕上) 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度
	19 屋外露出配管の仕上げ	
	20 露出配管の塗装(付属品含む)	
	21 波付硬質合成樹脂管(FEP)	
	⑭ フラッシュプレートの材質	
	23 カバープレートの表示	
	24 ブルボックスの塗装	
25 耐震施工		
26 接地極		上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 水槽類には燃料小出槽を含む 重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●) 2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」((一財)日本建築センター)を参考にする。 接地極の材料は次にによる。
27 屋上、屋側の支持金物等	28 結露防止	
	⑱ アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等
29 映像音響設備		
30 情報表示設備		
31 映像音響設備		
32 映像音響設備		
33 映像音響設備		
34 映像音響設備		
35 映像音響設備		
36 映像音響設備		
37 映像音響設備		
38 映像音響設備		
39 映像音響設備		
40 映像音響設備		
41 映像音響設備		
42 映像音響設備		
43 映像音響設備		
44 映像音響設備		
45 映像音響設備		
46 映像音響設備		
47 映像音響設備		
48 映像音響設備		
49 映像音響設備		
50 映像音響設備		
51 映像音響設備		
52 映像音響設備		
53 映像音響設備		
54 映像音響設備		
55 映像音響設備		
56 映像音響設備		
57 映像音響設備		
58 映像音響設備		
59 映像音響設備		
60 映像音響設備		
61 映像音響設備		
62 映像音響設備		
63 映像音響設備		
64 映像音響設備		
65 映像音響設備		
66 映像音響設備		
67 映像音響設備		
68 映像音響設備		
69 映像音響設備		
70 映像音響設備		
71 映像音響設備		
72 映像音響設備		
73 映像音響設備		
74 映像音響設備		
75 映像音響設備		
76 映像音響設備		
77 映像音響設備		
78 映像音響設備		
79 映像音響設備		
80 映像音響設備		
81 映像音響設備		
82 映像音響設備		
83 映像音響設備		
84 映像音響設備		
85 映像音響設備		
86 映像音響設備		
87 映像音響設備		
88 映像音響設備		
89 映像音響設備		
90 映像音響設備		
91 映像音響設備		
92 映像音響設備		
93 映像音響設備		
94 映像音響設備		
95 映像音響設備		
96 映像音響設備		
97 映像音響設備		

改修前

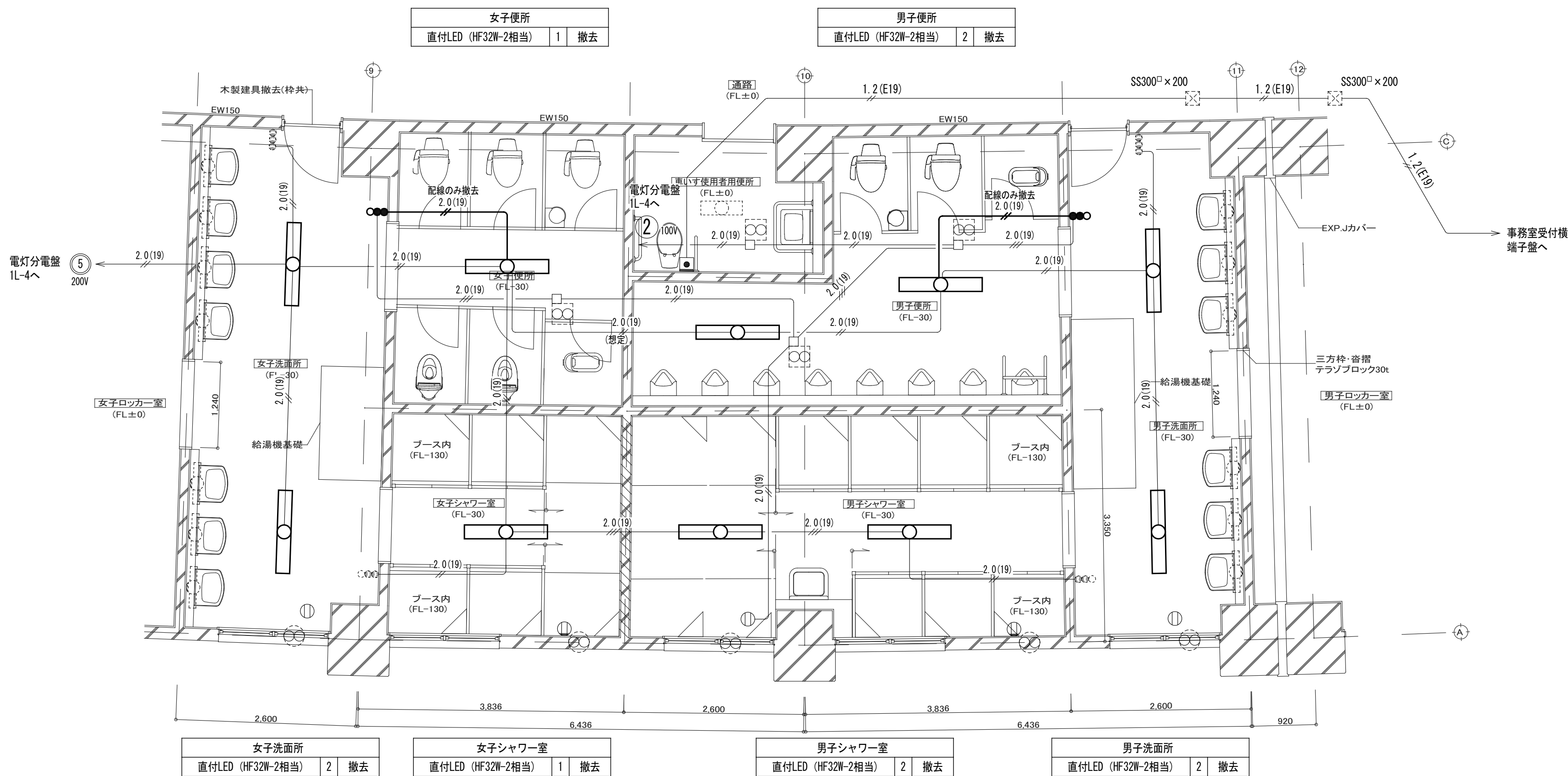
【特記事項】

1. 図中太線を本工事(改修前:撤去)とし、細線は既設のままとする。
2. 施工の際は、事前に既設状況を確認すること。
3. 図示なき機器及び配線等ある場合は、監督員と協議の上、工事に支障がないよう施工すること。

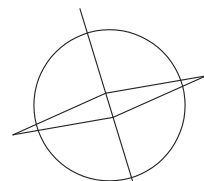
図中、特記なき配管及び配線は下記による。		
	EM-EEF1. 6-2C	(天井隠ぺい配線)
F3	EM-EEF1. 6-3C	(天井隠ぺい配線)
F5	EM-EEF1. 6-2C+1. 6-3C	(天井隠ぺい配線)
F6	EM-EEF1. 6-3C×2	(天井隠ぺい配線)
1. 6 (E19)	IE1. 6×3 (既設E19)	(天井隠ぺい配線)
1. 2 (E19)	IV1. 2×2 (E19)	(天井隠ぺい配線)
1. 2 (E19)	IV1. 2×2 (E19)	(天井隠ぺい配線)
2. 0 (E19)	IV2. 0×4 (E19)	(天井隠ぺい配線)
2. 0 (E19)	IV2. 0×3 (E19)	(天井隠ぺい配線)
H (E19)	HTV1. 2×3 (E19)	(天井隠ぺい配線)
HP3C	EM-HP1. 2-3C	(天井隠ぺい配線)
AE4C	EM-AE0. 9-4C	(天井隠ぺい配線)

凡 例

記号	名称	仕様	記号	名称	仕様
	電灯分電盤	屋内埋込形		埋込スピーカ	SCdHi-3V ₀ -M
	照明器具	図示参照		アッテネータ	3W
	照明器具	図示参照		非常用押ボタン	
	照明器具	既設		差動式感知器	スポット型 2種
	埋込スイッチ	1P15A×1		総合盤	P型1級 消火栓組込
	確認表示灯			ブルボックス	図示による
	熱線式自動スイッチ	自動・連続・切 換気扇連動 2回路		アウトレットボックス	浅型 中四角 D44
	熱線人感センサー	親器 8A 広角検知形 (200V)		換気扇	
	熱線人感センサー	子器 広角検知形			
	熱線人感センサー	子機 広角検知形 換気扇連動用 (100V)			
	埋込コンセント	2P15A×1			
	埋込コンセント	2P20A×2 200V			



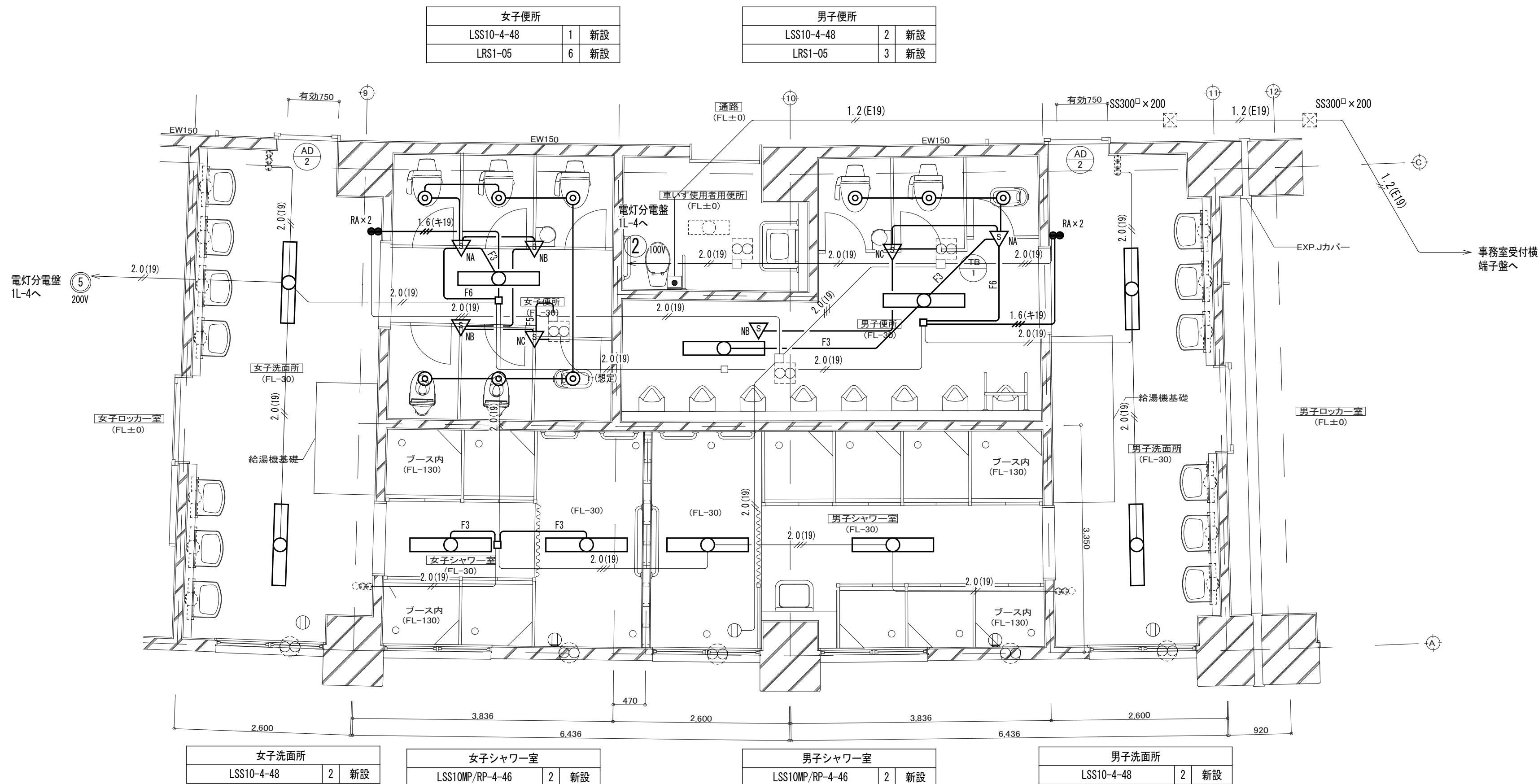
電灯設備 洗面所・シャワー室・トイレ廻り 撤去図(改修前) S=1.50



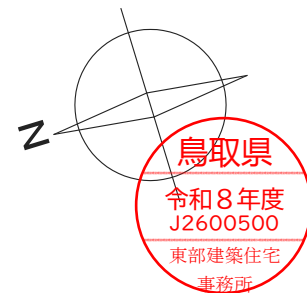
鳥取県
令和8年度
J2600500
東部建築住宅
事務所

(山根設計 山根貴志)

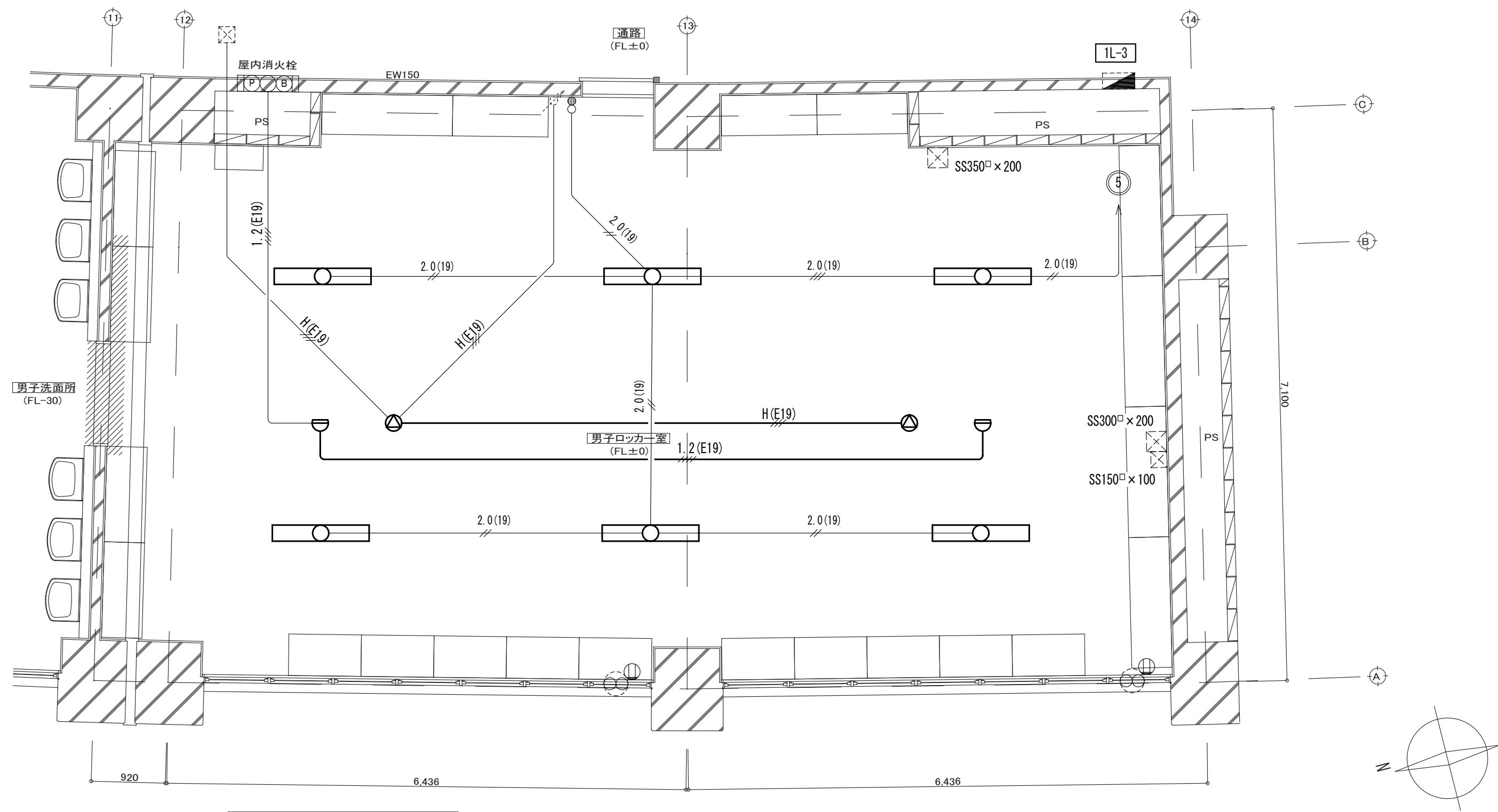
改修後



電灯設備 洗面所・シャワー室・トイレ廻り 改修図(改修後) S=1:50



改修前



男子ロッカー室
直付LED (HF32W-2相当) 6 撤去

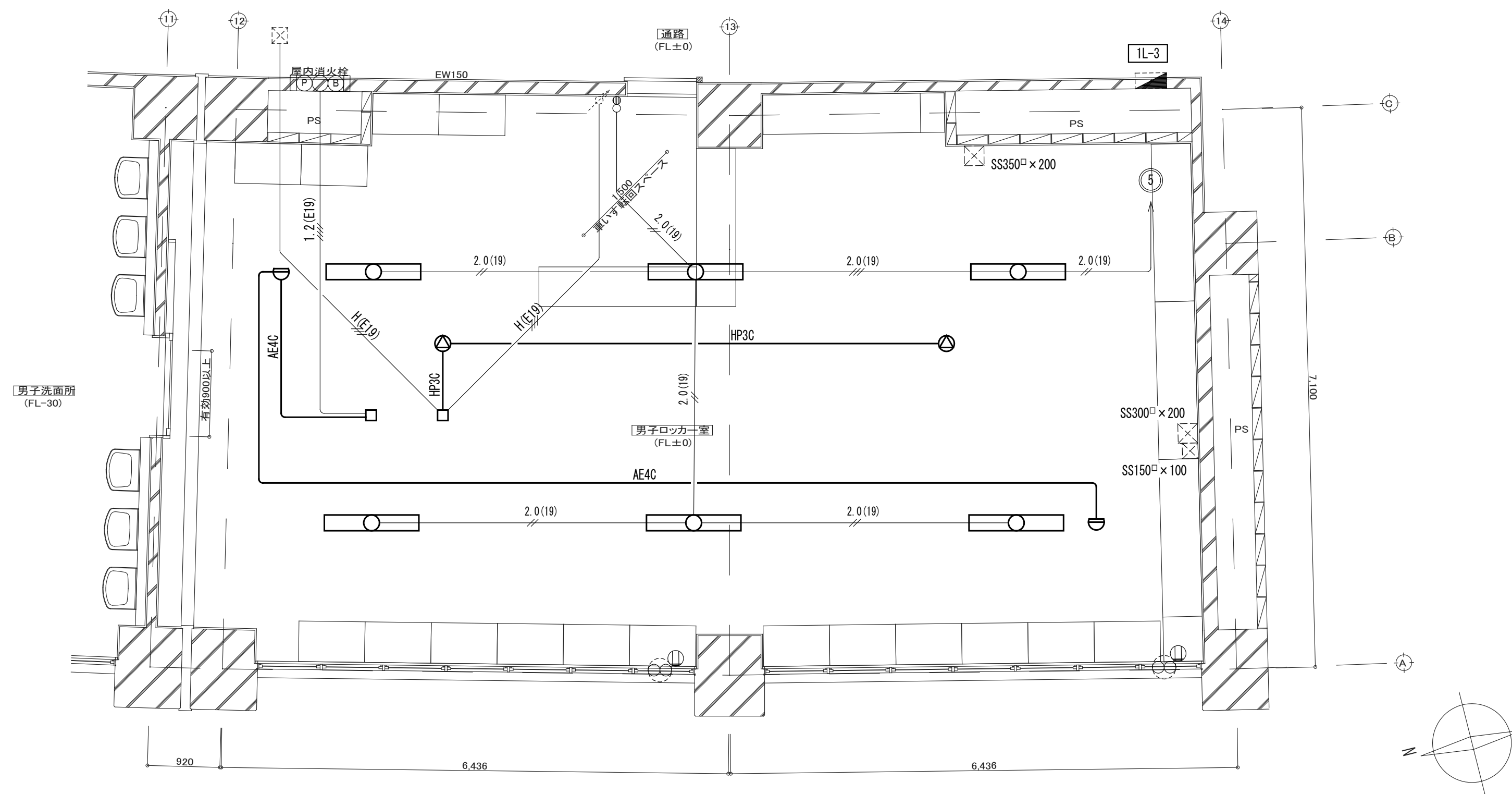
電灯・拡声・火災報知設備 男子ロッカー室 撤去図(改修前) S=1:50

鳥取県
令和8年度
J2600500
東部建築住宅
事務所

有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK DESIGN DRAW PROJECT NO TITLE DRAWING NAME	ヤマタスポーツパーク陸上競技場ロッカー室改修ほか工事 電灯・拡声・火災報知設備 男子ロッカー室 撤去図(改修前)	SCALE 1:50 A3印刷時70.7%縮小	NO E-05
------------	--------------------------	----------------------------------	--	---	-------------------------------	------------

(山根設計 山根貴志)

改修後



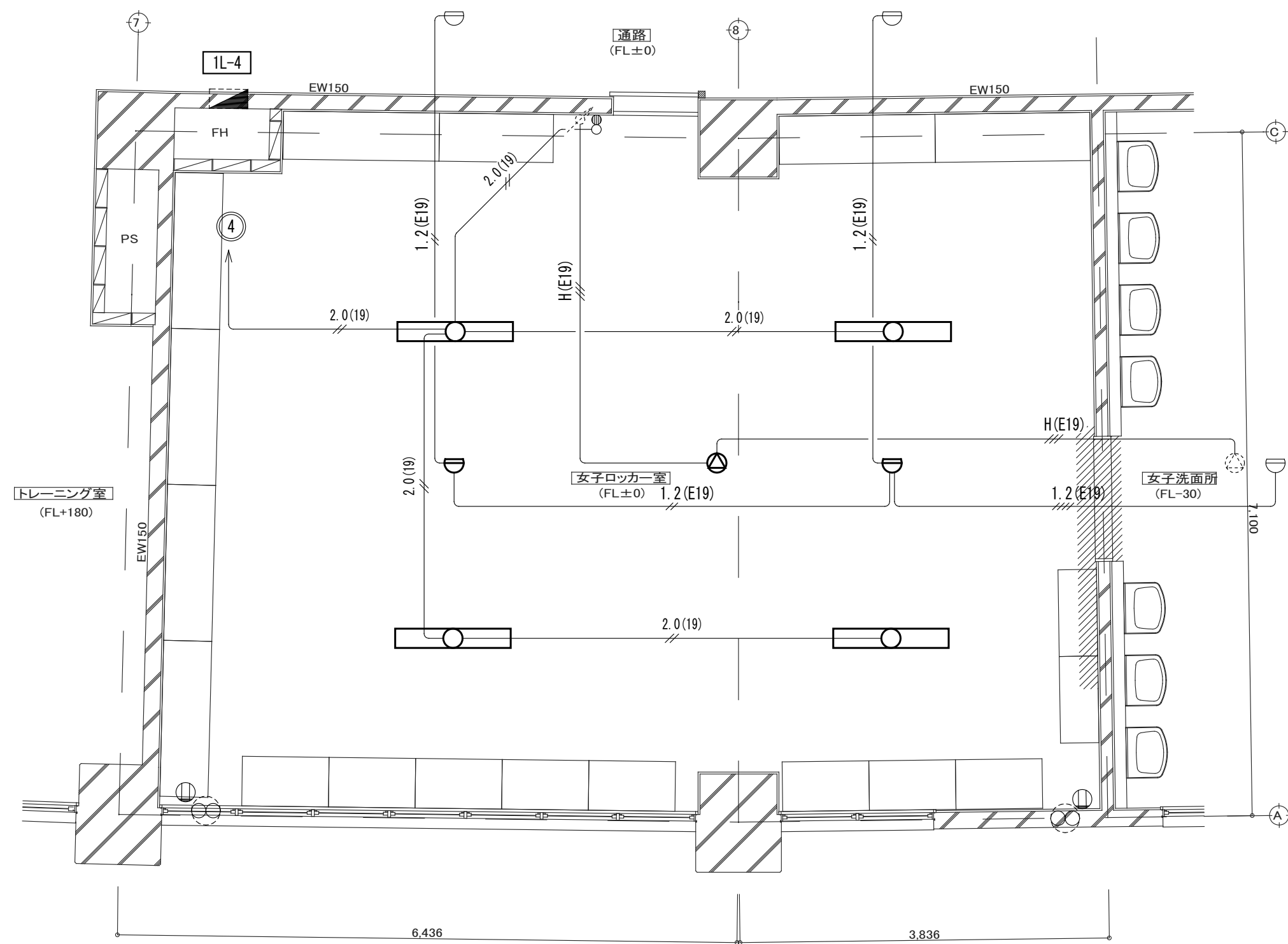
男子ロッカー室		
LSS10-4-65	6	新設

電灯・拡声・火災報知設備 男子ロッカ一室 改修図(改修後) S=1:50

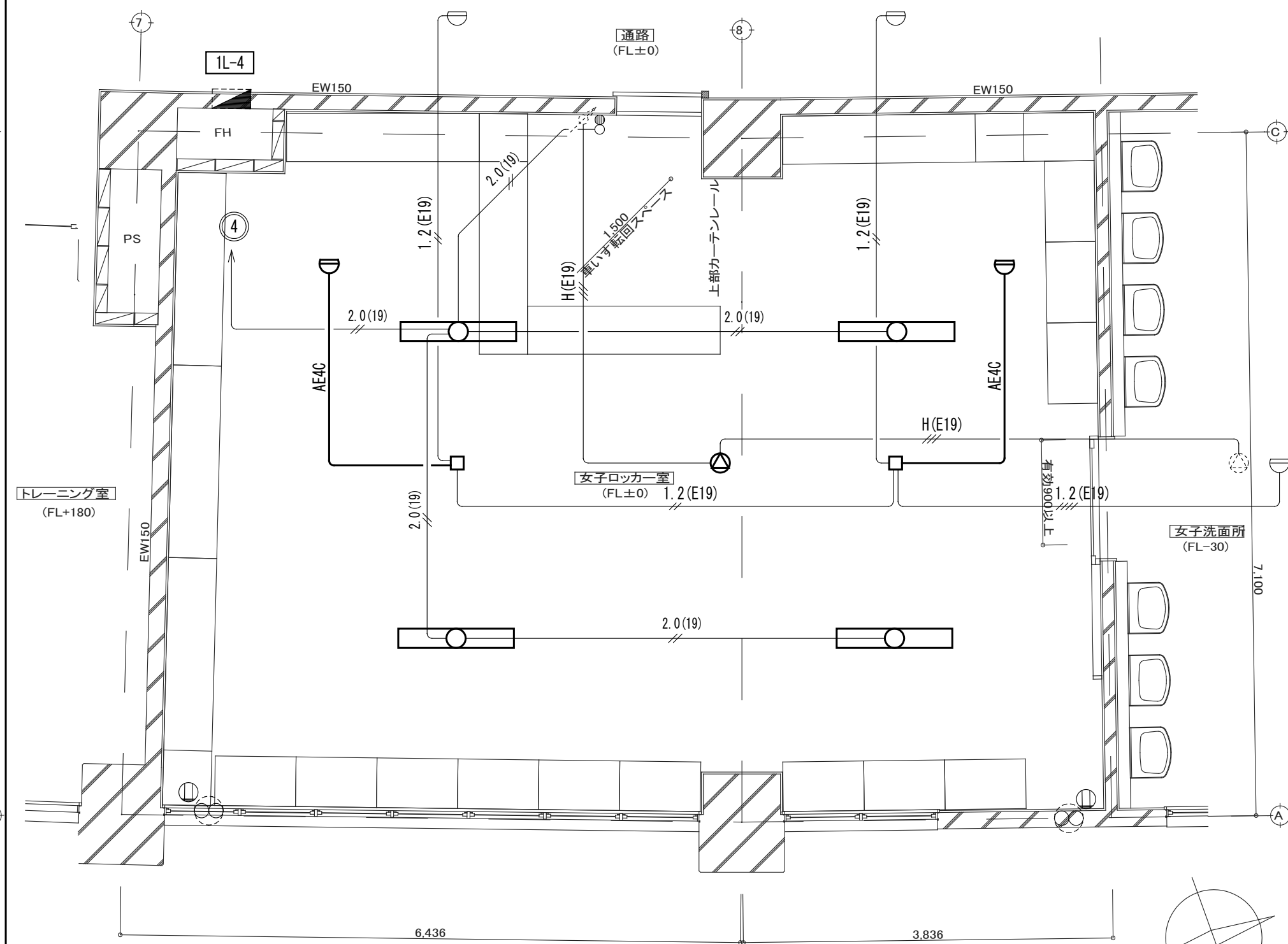


改修前

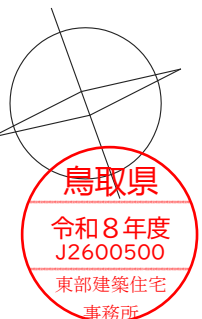
改修後



電灯・拡声・火災報知設備 女子ロッカー室 撤去図(改修前) S=1:50



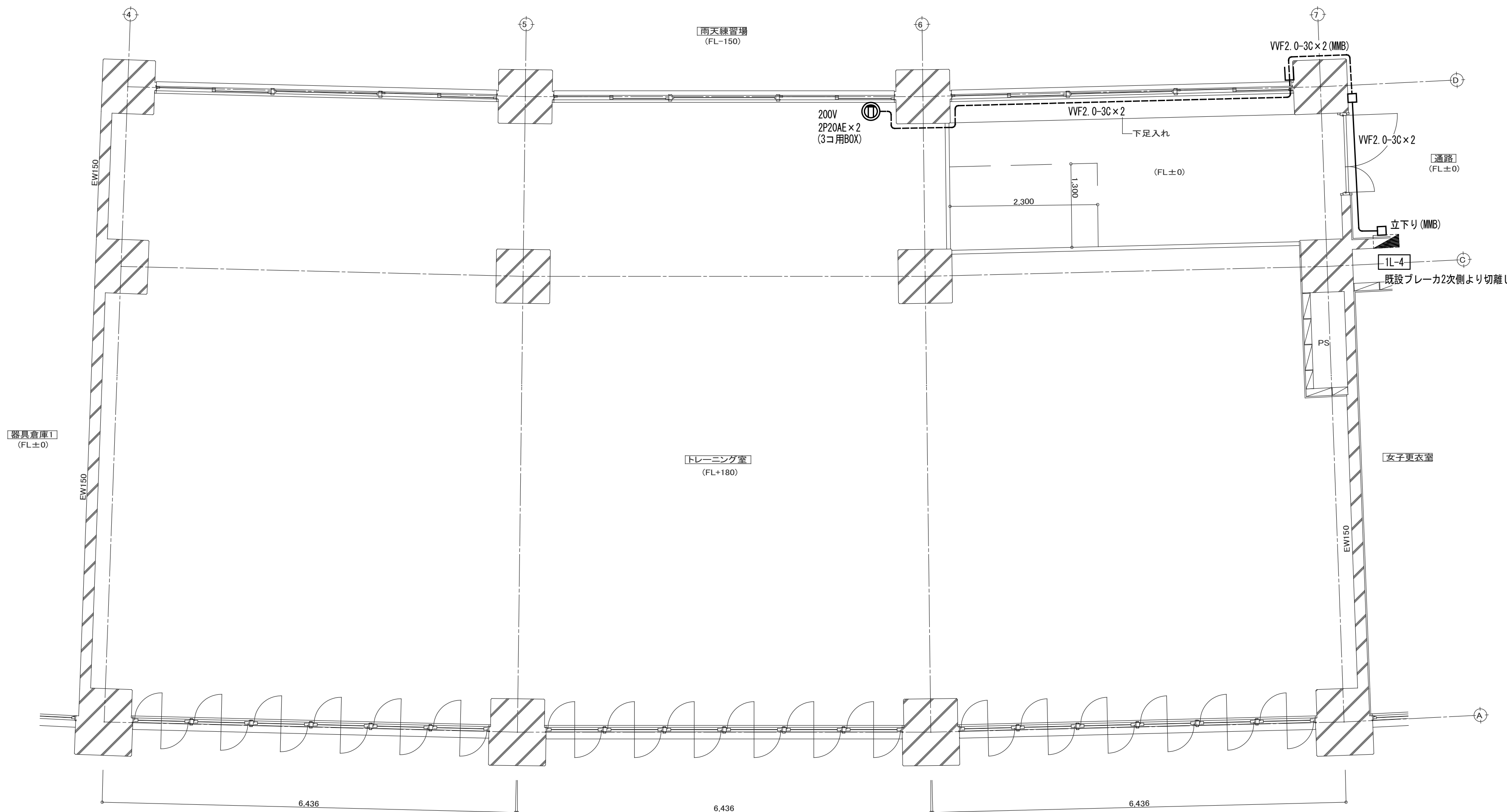
電灯・拡声・火災報知設備 女子ロッカー室 改修図(改修後) S=1:50



改修前後

【特記事項】

- 図中大線を本工事(改修前:撤去)とし、細線は既設のままとする。
- 施工の際は、事前に既設状況を確認すること。
- 図示なき機器及び配線等ある場合は、監督員と協議の上、工事に支障がないよう施工すること。



コンセント設備 トレーニング室 撤去図(改修前後) S=1:50



	有限会社 保木本設計	一級建築士事務所	一級建築士登録 第139287号	CHECK	DESIGN	DRAW	PROJECT NO	TITLE	DRAWING NAME	SCALE	NO
		鳥取県知事登録第883号	管理建築士 保木本 啓一					ヤマタスポーツパーク陸上競技場ロッカー室改修ほか工事	コンセント設備 トレーニング室 撤去図(改修前後)	1:50 A3印刷時70.7%縮小	E-08

(山根設計 山根貴志)

改修後

【特記事項】

1. 図中太線を本工事とし、細線は既設のままとする。
2. 施工の際は、事前に既設状況を確認すること。
3. 図示なき機器及び配線等ある場合は、監督員と協議の上、工事に支障がないよう施工すること。

凡 例

記号	名称	仕様
	コール観聴	機器参考図参照
	非常用押ボタン	機器参考図参照
	ブルボックス	SS150 [□] ×100
	壁貫通補修	
	壁貫通・防火区画貫通処理	国土交通省認定品
	天井点検口	□450

図中、特記なき配管及び配線は下記による。

AE2C	EM-AE0.9-2C	(天井隠ぺい配線)
AE2C×2	EM-AE0.9-2C×2	(天井隠ぺい配線)

機器参考姿図

コール親器（2回路）

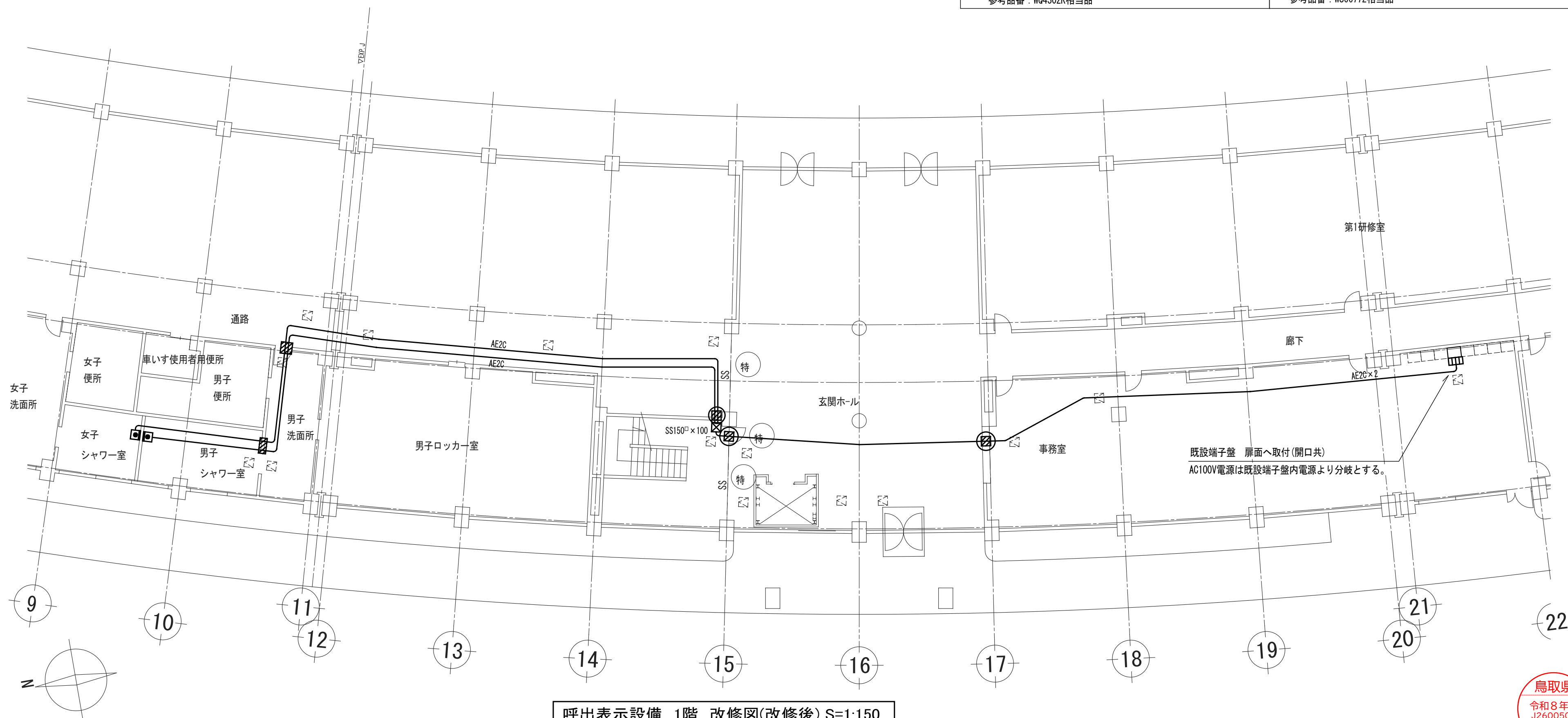
埋込プラスチック付押釦スイッチ（ON保持・微小電流対応形）
（パイロットランプ・防沫形プレート・リード線付）

定格	電源電圧 AC100V 50/60Hz
	消費電力 待機時：3W以下 最大時：5.5W以下
形状	埋込型（適合ボックス 2個用スイッチボックス（深型））

参考品番：WQ4302K相当品

定 格	微小電流形（30mA 12V）
-----	-----------------

参考品番：WS66772相当品



呼出表示設備 1階 改修図(改修後) S=1:150



機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

I. 工事概要

1 工事場所 鳥取市布勢

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	陸上競技場	RC一部S造	3	7,658.38	(1) 項	改修
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
● 空 気 調 和 設 備								
● 冷 暖 房 設 備								
● 換 気 設 備								
● 排 煙 設 備								
● 自 動 制 御 設 備								
○ 衛 生 器 具 設 備	○							
○ 給 水 設 備	○							
○ 排 水 設 備	○							
○ 給 湯 設 備	○							
● ガ ス 設 備								
● 浄 化 槽 設 備								
● 消 火 設 備								
● さ く 井 設 備								
● 電 気 設 備 工 事								
● 建 築 工 事								

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

◎ 印の付いたものを適用する。

空気調和 冷暖房設備	項 目	設 備 概 要		
	● 空 気 調 和 設 備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式		
	● 冷 暖 房 設 備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式		
	● 暖 房 設 備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房（ ● 局所式 ● 中央式 ） ● 床暖房		
	● 熱 源	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス		
● 主 要 熱 源 機 器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器			
	● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直置き吸収式冷水機 ● 小形吸収式冷水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ● ヒートポンプパッケージエアコン（ マルチタイプ ● 有 ● 無 ） ● 温風暖房機 ● F F 暖房機 ● その他（ ）			
換 気 設 備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種			
排 煙 設 備	● 機械排煙（ 適用法規 ● 建基法 ● 消防法 ）			
自 動 制 御 設 備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式			
衛 生 設 備	◎ 給 水 設 備	給 水 方 式	● 水道直結方式 ◎ 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式	
		水 源	◎ 水道水 ● 井水	
	◎ 排 水 設 備	排 水 方 式	◎ 自然流下 ● ポンプ排水（ ● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水 ）	
		放 流 先	汚 水	● 公共下水道 ● 浄化槽
			雑 排 水	◎ 公共下水道 ● 浄化槽
			雨 水	● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川
		浄 化 槽	処 理 方 式	● 小規模合併 ● 合併
			処 理 水 放 流 先	● 排水路 ● 側溝 ● 河川
	● 給 湯 設 備	● 局所式（ ● ガス ● 油 ● 電気 ） ● 中央式（ ● 油 ● ガス ● 電気 ）		
	● 消 火 設 備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火（ ● 窒素 ● 窒素系 ● ） ● ハロゲン化物消火		
● ガ ス 設 備	● 都市ガス（ MJ/Nm³ ） ● 液化石油ガス			

Ⅱ. 特記仕様

1 一般事項

- (１) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁の標準仕様書等のうち、
- 印の付いたものによる。
- 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和７年版）以下「標準仕様書」という。）
 - ◎公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和７年版）以下「改修標準仕様書」という。）
 - △公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和７年版）以下「標準図」という。）
- (２) 国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁の「機械設備工事監理指針（令和７年版）」以下「監理指針」という。）を適用する。
- (３) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

- (1) 項目は番号に ○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は ●印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。●印と※印の付いた場合は両方を適用する。
- (3) 一般通事項のうち (1、2、3、11、12、14、15、16、17、18、36) 項は、●建築 ●電気設備 工事特記仕様書による。

一般共通事項

1官公署その他への手続

2電気保安技術者

3工事安全計画書等

4発生材の分析及び処理

5機材等

6機材の品質・性能証明

7機材の承諾図

8図形等の表示

9機器の能力・容量等

10技能士の適用

11施工図等

12完成写真等

特記事項

工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査に必要な資機材、労務等を提供する。
事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、電気主任技術者の業務を補佐する監督職員の指示に従い、当該現場における電気工作物の保安業務を行うものとする。
なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、事業用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。（施設契約電力：kW）
建設工事公災災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
引渡しを要するもの
※無し●有り（）
引渡しを要するもの以外は、横外搬出適切処理とする。
特別管理産業廃棄物
※無し●有り（●石綿含有廃棄物●PCB使用機器●）
●本工事において該当の有無を調査する
アスベスト含有設備資機材（ガasket、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物）は関係法令に従い適切に処理を行う。
PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。
撤去予定機器の微量PCB分析※無し●有り
再生資源化を図るもの
※無し●有り（●コンクリート塊●アスファルトコンクリート塊●）
本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
使用する機材等が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督職員に提出する。
ただし、JIS、JAS又は「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合し、認証機関のマークのある機材を使用する場合及びあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料の提出を省略することができる。
ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。
機械設備工事機材承諾図様式（令和7年版）を参考とするほか、監督職員の指示による。
機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
機器類の能力、容量等は、原則として図面に記載されている値以上とする。
電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。
下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札（下図参考）を常時着用する。
①配管（●1級●2級）●熱絶縁施工（●1級●2級）
●冷凍空調調和機器施工（●1級●2級）●建築板金（●1級●2級）

《技能士名札参考図》

15mm

技 能 士

職 種 配管

作業名 建築配管作業

級 別 1級

氏 名 ○山○夫

勤務先 ○○工務店

自 宅 鳥取市

技能士番号 00-0-000-00-0000

発 行 ○○○○○○○○ 印

写真（30×40程度）

90mm

技能士の職種により色を変えることも可
技能士の種別
技能士の級の別
技能士本人の住所地
名札の発行元

主要事項（職種、作業名、級別、氏名、住所地、技能士番号、発行元、本人写真）が記載してあればレイアウトは問わない。

提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 令和5年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。

区 分	分類・規格	撮影箇所	部 数	電子データの提出
工事写真	カラー	各工程工程毎	※1部●部	※要●不要
完成写真	カラー	監督職員の指示による	※2部●部	※要●不要

一 般 共 通 事 項	⑬ 完 成 図 等
----------------------------	-----------

14 他 工 事 と の 取 合

15 工事用水・電力・その他

16 表 示 板

17 足 場

18 工 事 用 仮 設 物

19 土 工 事

20 保 温 工 事

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区 分	名 称	部 数
※ 完成図 原図	完成図 ● 原紙 ※ C A Dデータ ※ P D Fデータ 施工図 ● 原紙 ※ C A Dデータ ※ P D Fデータ	※ 2部 ● 部
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 ※ 完成図 (縮小版) ● 施工図 ● 施工図 (縮小版)	※ 2部 ● 部
※ 完成図書 ※ 市販ファイル (A 4 版) ● 黒表紙製本 (A 4 版)	※ 完成図 (縮小版) ※ 主要機器図 ※ 試験成績書 ※ 保証書 (写し) ※ 官公署の届出書類 (写し)	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 (A 4 版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 主要機器一覧表 ※ 機器取扱説明書	※ 2部 ● 部
※ 保証書 (原本)		1部
※ 官公署の届出書類 (原本)		1部
※ 原図ケース・製本面目の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。		

他工事との取り合い		建 築	電気設備	機械設備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		※	●	●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くき処理共）			※	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		●	※	●
● 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠	●	※	●
	補 強	※	●	●
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	●	●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 り 込 み	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	●	●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びビット（蓋を含む）		※	●	●
● 天井点検口		※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	●	●	※
	屋 上 設 置	※	●	●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	●	※
● 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		●	●	※

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一括して表示する。)

※ 工事表示板

[illegible]

記入要領

1. 書体は角ゴシックとする。
2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

17 足 場

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

構内に作ることが

(ア) 埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)

- 山砂の類 (

- 真砂土 (

(イ) 建設発生土処分 ● 構外に搬出 ● 構内指定場所に敷ならし ● 構内指定場所に堆積

配管、ダクト類の保温種別等は、下記若しくは図示による。

● 冷水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●

- 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
- 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
 - 保温チューブ (厚さ② t) ●)
- 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
- 空調用ドレン管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ② t) ●)
- 冷媒管 (● 冷媒用断熱被覆鋼管 (JCSA-0009) ●)
- 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ② t) ●)
- 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
- ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●)
- 燃熱熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
- 全熱交換機の機器外気側ダクト (● 給気側 ● 排気側)は保温 (グラスウール25mm厚)以上
- 冷媒管の保温外装
 - 屋内 (● 樹脂化粧化けケース ● 合成樹脂塗装シート ●)
 - 屋外 (● 樹脂化粧化けケース ● SUS鋼板 ●)

鳥取県
令和8年度
02600500
東部建築住宅
事務所

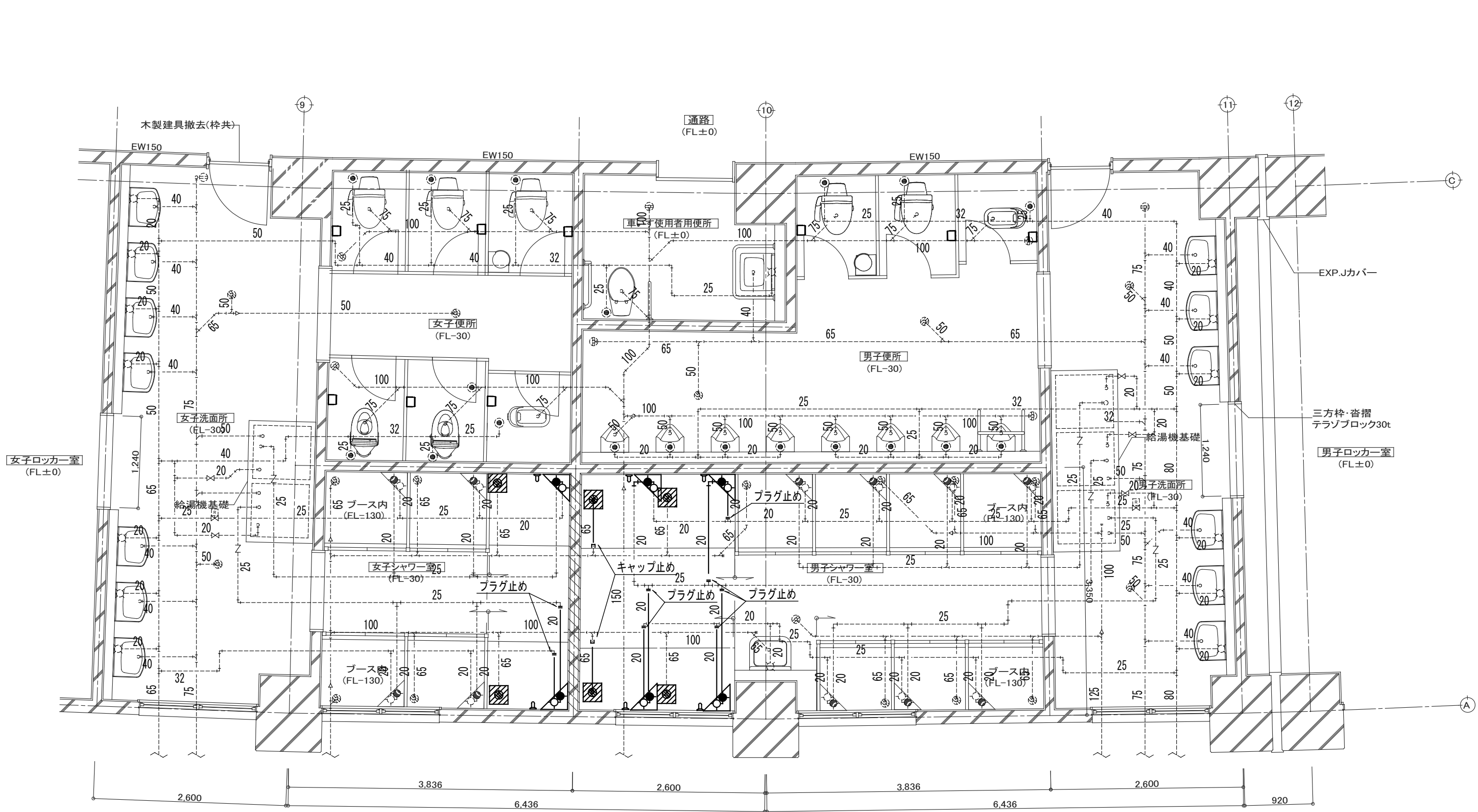


(山根設計 山根貴志)

一般 共通 事項	21 地中埋設鋼管類の防食処置	※ 標準仕様書（ ● ペトロラタム系 ● プチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート）による。 ● 図示による
	22 絶 縁 継 手	● 標準図（施工3） ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン
	23 防 振 継 手	※ 合成ゴム製（球形） ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形（ステンレス製）
	24 伸 縮 管 継 手	※ ペローズ形 ● スリーブ形
	25 塗 装	塗装は標準仕様書第2編3. 2及び図示による。
	26 ステンレス鋼管の接合方法	残りねじ部及びパイプレンチのチェック跡部の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。 上記によらず ● 塗装する部分・箇所（ ガス管 ） ● 塗装しない部分・箇所（ ）
	27 溶 接 配 管 の 検 査	呼び径60 S u以下の継手は、S A S 3 2 2 を満足する（ ※ メカニカル型 ● ）とする。 ● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管
	28 埋 設 表 示	非破壊検査の適用（ ※ 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ● 放射線透過検査 ● 実施しない ） 抜 取 率（ ※ 標準仕様書による ● % ） ● 地中埋設標を標準仕様書によるほか図示する箇所に設ける。 ● 埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ● 屋外給水管 ● ）
	29 支 持 金 物 ・ 固 定 金 具	ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはステンレス（ S U S 3 0 4 ）製とする。屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス（ S U S 3 0 4 ）製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。
	30 総 合 試 運 転 調 整	下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質（ ● 一般飲料水適否検査 ● 残留塩素測定 ） ● その他水質等（ ● 雑用水 ● 空調用流体 ● ）
31 アスベスト含有建材の処理	改修標準仕様書 第4章 撤去及び公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等
32 補 修 な ど	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。	
	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	
	探査方法 ※電磁誘導式または電磁波レーダー法 ●放射線透過検査	
	35 室内空気中の化学物質の濃度測定	実施する。
	36 火 災 保 険 等	工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 （保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）
	37 グ リ ー ン 購 入	グリーン購入は次のものとする。 ● 空調用機器（ ） ● 衛生器具（ ） ● 断熱材（ ） ● 配管材（ ●再生硬質ポリ塩化ビニル管 ） ●その他（ ）
	38 鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事
	39 建 築 物 省 エ ネ 法	対象工事
	40 耐 震 施 工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1 k N以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 （1）機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）〔k N〕に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度
	41 アンカーボルトの引張試験	
42 空気調和設備	1 設 計 用 温 湿 度 条 件	
	2 冷 却 水 管	
	3 冷 水 ・ 温 水 ・ 冷 温 水 管	
	4 膨 張 ・ 空 気 抜 ・ 補 給 水 管	
	5 蒸 気 給 気 管	
	6 蒸 気 還 水 管	
	7 油 ・ 油 用 通 気 管	
	8 冷 媒 管	
	9 空 調 用 給 水 管	
	10 空 調 用 ド レ ン 管	
43 冷暖房設備	11 井 類	
	12 ファンコイルユニット	
	13 ダ ン パ ー	
	14 ダ ク ト	
	15 吹 出 口 ・ 吸 込 口	
	16 チ ャ ン パ ー 等	
	17 消 音 内 貼 り	
	18 瞬間流量計及び流量測定口	
	19 定 風 量 ・ 変 風 量 ユ ニ ッ ト	
	20 温 度 計	
44 換気設備	21 冷 温 水 管 の 空 気 抜 き	
	22 空 調 機 用 ト ラ ッ プ	
	23 銅 板 製 煙 道	
	24 オイルサービスタンク	
	25 地 下 オイルタンク	
	26 油 面 制 御 装 置	
	27 フィルター等付属品	
	28 パッケージ空調機的能力表示	
	29 防振吊り及び支持金物	
	30 機器の配線・遮断機仕様等	
45 排水設備	1 ダ ク ト	
	2 排 煙 口	
	3 排 煙 口 開 放 及 び 復 帰 方 式	
	4 排 煙 風 量 測 定	
	5 中 央 監 視 制 御 盤 装 置	
	6 電 源 装 置	
	7 温 度 調 節 器 等	
	8 計 装 工 事 の 配 線	
	9 自動制御設備	
46 衛生器具設備	① 衛生器具の参考型番	
	2 小 便 器 用 節 水 装 置	
	3 自 動 水 栓	
	4 大 便 器 洗 淨 弁	
	5 温 水 洗 淨 便 座	
	⑥ 衛生器具の取付高さ	
	7 器 具 と 排 水 管 接 続	
	⑦ 1 量 水 器	
	⑧ 2 配 管 材 料	
	3 弁 類	
47 給水設備	4 水 槽 の マ ン ホ ー ル	
	① 配 管 材 料	
	② 配 管 材 料	
	2 滴 水 試 験 継 手	
	3 バイパスファット内配管の保温	
	4 煙 試 験	
	⑨ 1 配 管 材 料	
	2 弁 類	
	10 1 配 管 材 料	
	2 弁 類	
48 消火設備	3 保 温	
	4 屋 内 消 火 栓	
	5 ガス系消火剤の種類	
	6 ガス系消火の起動方式	
	11 1 都 市 ガス 設 備	
	2 配 管 材 料	
	3 ガ ス メ ー タ	
	4 バ ル ク 貯 槽	
	5 容 器 廻 り の 配 管	
	6 容 器 転 倒 防 止	
7 ガ ス 漏 れ 警 報 器		
49 ガス設備	1 都 市 ガス 設 備	
	2 配 管 材 料	
	3 ガ ス メ ー タ	
	4 バ ル ク 貯 槽	
	5 容 器 廻 り の 配 管	
	6 容 器 転 倒 防 止	
	7 ガ ス 漏 れ 警 報 器	
	12 1 処 理 種 別 及 び 方 式	
	2 型 式	
	3 処 理 能 力	
4 放 流 水 の 水 質		
5 排 水 方 式		
6 埋 戻 し 土		
7 土 留 め 工 事		
8 マ ン ホ ー ル ふ た		
9 消 毒 薬		
50 浄化槽設備	1 処 理 種 別 及 び 方 式	
	2 型 式	
	3 処 理 能 力	
	4 放 流 水 の 水 質	
	5 排 水 方 式	
	6 埋 戻 し 土	
	7 土 留 め 工 事	
	8 マ ン ホ ー ル ふ た	
	9 消 毒 薬	
	51 鳥取県	令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県
令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県		
令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県		
令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県		
令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県		
令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県		
令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県		
令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県		
令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県		
令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県 令和8年度 J2600500 鳥取県		

改修前

- 特記事項
1. 図中太線を本工事とし、細線・破線は既設のままとする。
 2. 施工の際は、事前に既設取付状況を照査し改修範囲を確認すること。
 3. 図示なき機器のうち、工事に支障がある場合は監督員と協議し対応すること。



衛生器具設備 シャワー室・トイレ廻り 撤去図(改修前) S=1:50

凡例 (撤去)		
----	給水管撤去	屋内一般 SGP-VB
----		ピット内 SGP-VB
-----	排水管撤去	屋内一般 VP

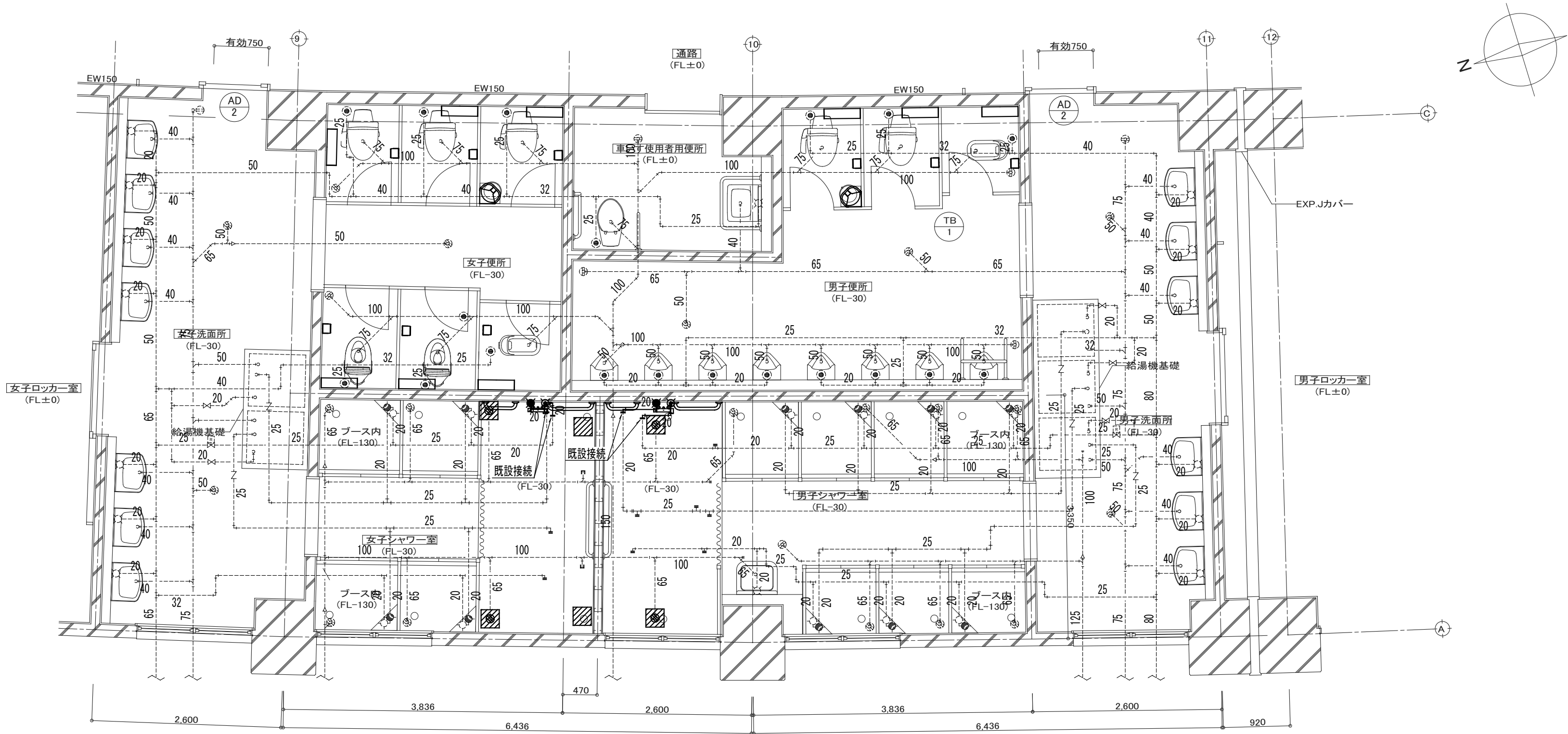
-----	給湯管撤去	屋内一般 HTLP

-----	既設管	※既設のまま
-----	既設管	※撤去
▨	スラブコンクリートはつり範囲	

衛生器具表 (撤去)						
器具名称	器具仕様	男子シャワー室	女子シャワー室	男子便所	女子便所	合計
コイン式シャワーユニット	シングル	4	2			6
1型手すり	ステンレス製、L=800	4	2			6
紙巻器				3	6	9
排水金物	65A、トラップ付き	4	2			6

改修後

- 特記事項
1. 図中太線を本工事とし、細線・破線は既設のままとする。
 2. 図示なき機器のうち、工事に支障がある場合は監督員と協議し対応すること。



衛生器具設備 シャワー室・トイレ廻り 改修図(改修後) S=1:50

凡例			
	給水管	屋内一般	SGP-VB
		ピット内	SGP-VB
	排水管	屋内一般	VP
	給湯管	屋内一般	HTLP
	既設管	※既設のまま	
	新設管	※既設管接続	
	スラブコンクリート復旧範囲		

衛生器具表					※衛生器具の設置位置はJIS S 0026によること。				
器具名称	品番 <参考:TOTO>	器具仕様 (参考品番)	男子シャワー室	女子シャワー室	男子便所	女子便所	合計		
サーモスタットシャワー水栓	TBV03418J1	TS135GY12RR(スライドバー)、T110D28(固定金具)、THD95(断熱脚カバー)	1	1			2		
I型手すり	T112C6	樹脂被覆タイプ L=600、T110D3R(固定金具)	1	1			2		
I型手すり	T112C4	樹脂被覆タイプ L=400、T110D3R(固定金具)	1	1			2		
ベビーチェア	YKA16S	YPH62017W2(アンカーボルト)、T110D28(固定金具)			1	1	2		
紙巻器	YH51R	シングル			3	6	9		
棚	YKH401	ステンレス製			3	6	9		
排水金物		65A、トラップ付き	2	2			4		